

南国暮らしの会

2007年 秋季号



平成19年10月27日



NPO法人 南国暮らしの会

南国暮らしの会

会報2007年秋季号

目次

(敬称略)

ページ

東海支部特集

東海支部 紹介	No. 94	高橋 昭	1
愛知全地区 紹介	No. 94	高橋 昭	1
岐阜地区 紹介	No. 554	笠井 幸司	2
三重地区 紹介	No. 563	松井 忠市	2
浜松地区 紹介	No. 988	永井 禮造	3
ニュージーランドクライストチャーチ市 滞在報告	No. 554	笠井 幸司	4
一人旅の気ままな行動と、心細さと、不安	No. 530	浅野 光利	10
初めてのチェンマイロングステイ36日間	No. 208	小林 明広	12
夫婦のささやかな3つの楽しみ	No. 571	西口 加代子	14
バリ島・ウブドでのんびりしてきました	No. 843	土井 研一・和子	16
L.S下見ツアーの計画と1泊バス旅行	No. 840	岩田 彬	17
沖縄 下地島冬季滞在記録(ペット同伴)	No. 779	中田 宏	19
チェンマイへロングステイするまで	No. 963	末永 穰・照子	22
米・西海岸ドライブ	No. 570	山田 善一	23
タイ語 日常会話とっさの一言	No. 487	横井 保夫	30

一般投稿

イギリス滞在記	No. 625	工藤 俊一	32
キャメロン・ハイランドについて	No.1081	川本 雄二	34
バリ島ロングステイに於いて現地人と文化交流を果たす	No. 858	竹内 昭	39
フィリピンロングステイビザSRRVの取得について	No.1200	山崎 薫	40
マレーシア・ロングステイ(その2)実現編	No. 749	山本 義典	42
ペナンでドリアン	No. 876	深井 弘雄	48
初心者ダイバー「器材購入」体験談	No. 304	関本 好則	52
ハワイで格安ゴルフ	No. 959	皆本 茂夫	54
「バギオで暮らす」	No. 227	斎木 一	55

友好団体紹介コーナー

58

お役立ち情報

外国語学習編	No. 465	橋本 慧	59
ペナンの英語学校	No.1012	木村 まゆみ	59
ペナンの英語学校体験談	No.1012	木村 まゆみ	60

支部便り

九州支部	No. 851	稲田 聡	62
関西支部	No. 754	松本 都志重	62

部会伝言板

64

編集後記

65

裁判関連のご報告

No. 163	宮崎 哲郎	66
---------	-------	----

東海支部特集

東海支部紹介

東海支部長 No.94 高橋 昭

思えば名古屋駅前「ナナちゃん人形」の下に有志数人が集まり、支部設立を相談、その後数回の集まりを経て2003年4月、横井前支部長を中心に設立総会を開いたのが未だ昨日のように甦ってきます。

その後会員も順調に増え、東海地方の産業と同様元気な支部として活動しています。

ただ贅沢な悩みではありますが、海外へ出かける会員が多く、特に役員が不在となることが少なく、現役の会員には迷惑をかけていることに申し訳なく思っているところです。

今年から始まった団塊の世代と言われる人達の定年が始まり、潜在的なロングステイヤーをどのように掘り起こしてゆくか、有料セミナーを開催するための会場探し、また参加募集の呼びかけ方法を検討しているところです。

最近高山線や東海北陸道の整備が進んでおり、北陸の会員や南信地方の皆さんで東海支部の方が便利と言う事であれば快くお迎えできるようお手伝いしたいと思っています。

ところで東海支部は各地区に地区役員を配し、会員との連絡の要として活躍して頂いております。その地区委員に、地区の特徴や会員の動向を紹介してもらいました、もし東海地方を訪れる機会があれば参考の一助として頂きたいと思っております。

愛知全地区紹介

(代)東海支部長 No.94 高橋 昭

愛知県は尾張地方と三河地方で構成され、嘗て織田信長、豊臣秀吉、徳川家康を輩出した地として有名です。

また八代將軍吉宗の進める享保の改革に反対

し、「行き過ぎた儉約はかえって庶民を苦しめる結果になる」「規制を増やしても違反者を増やすのみ」などの主張を掲げ、質素儉約を基本方針とする吉宗が推進する享保の改革に反対し、名古屋城下に芝居小屋や遊郭を誘致するなど開放政策を採り繁栄を極める、これによって名古屋が今日の大都会になったといわれています。

「あいち」の地名は、万葉集巻三の高市黒人の歌「桜田へ鶴鳴き渡る年魚市潟（あゆちがた）潮干にけらし鶴鳴き渡る」に詠まれている「年魚市潟（あゆちがた）」に由来するといわれ、「あゆち」が「あいち」に転じ、愛智（郡）の郡名もここから生まれたと言われています。

廃藩置県後、県庁が愛知郡の名古屋城内に置かれたところから県名に採用されました。

ただ岐阜県の世界遺産白川合掌集落や山岳国立公園、三重県の伊勢志摩国立公園といった観光地は有りませんが、「名も知らぬ 遠き島より 流れ寄る椰子の実一つ」と謳われた渥美半島、アメリカズカップの基地蒲郡など地味ではありますが隠れた四つの国定公園、六つの県立自然公園が心を和ませてくれます。

此の地は岐阜、三重、静岡、長野に隣接し、その中核として最も多くの会員を擁する地でもあります、そのため名古屋市内を名南、名北の2区、それ以外を愛知区の3区で構成し、情報交換会の会場や懇親会の場所等、情報を一手に引き受けています。

此の地区担当者は現在海外に出かけており、代筆での紹介記事となっておりますので、至らぬところもありますがご容赦願います。

愛知県は世界のトヨタを中心に航空宇宙、電子、電気、窯業等、産業の要として東海地方をリードし、今日本で最も元気な地方と言われています。

その名誉に恥じないよう愛知地区としても東海支部の中核として協力してゆくつもりです。

岐阜地区紹介

岐阜地区長 No.554 笠井 幸司

はじめに

「2007年秋季号」で東海支部特集の機会を得たので岐阜地区の紹介をさせていただくことにしました。

地区会員動向について

支部会員150余名の内、約10%の17名が当地区の会員です。

現・高橋支部長を擁し、特徴的でしょうか女性会員が過半数の9名、そして、海外勤務中および、すでにLS中、そして活発に各地を視察訪問またはシーズンステイされるなど、加えて「LS先での活動」と日本語教師免許資格取得に鋭意取り組み中のご婦人など多彩な活動を実践している。

地域紹介

では、以下【岐阜県庁H・P記事】を抜粋・引用して紹介します。

岐阜の「岐」は、中国の「岐山」にちなんで付けられ、周の文王はこの山で立ち上がり、八百年の太平の基を築く。岐阜の「阜」は、中国の「曲阜(きょくふ)」にちなんで付けられた。曲阜は、学問の祖、孔子の生誕地。太平と学問の地「岐阜」であれという熱い願い。織田信長は、その説を生かして城下の井之口村を岐阜町と改め、天下統一の拠点として全国にその名を広めた。なお、「岐阜」という地名は信長が名づける以前から使われていたとも言われており、その由来には諸説がある。

地形・気候

岐阜県北部の飛騨地域は、御嶽山、乗鞍岳、奥穂高岳など、標高3000mを超える山々が連なっています。一方、南部の美濃地域は濃尾平野に木曾三川(木曾川、長良川、揖斐川)が流れ、特に長良川中流域は「日本の名水百選」に選ばれるほど美しい清流で「鵜飼い」が有名。

このように、自然に恵まれている岐阜県は、古くから「飛騨の山、美濃の水」という意味で

「飛山濃水」の地と呼ばれてきた。

岐阜県は海拔0mの平野から3000メートルを超える飛騨山脈など標高の差が激しいため、岐阜市の平年気温が15.5、北部の高山市の平年気温は10.6というように、気候も地域によって大きく差がある。

このような複雑な地形や気候の影響を受けて、県内にはさまざまな種類の動物や植物が生息しています。【岐阜県庁H・Pより】

次の紹介は、登山好きの筆者が「霊峰・白山」の登山・下山路、立ち寄る県下で誇れる地区として「世界文化遺産登録」の「白川郷」を、その訪問体験から手短かに紹介しましょう。

県最北部の白山スーパー林道の起・終点で[霊峰白山の麓]、庄川上流に合掌造の里として位置し、古き良き日本の山里の原風景が静かに、そして現在数多くの住居として残存し、その存在感には圧倒されます。

平成7年にユネスコの世界遺産に登録、合掌造とは、茅葺き、切り妻造りの大屋根で、3~4階からなり、積雪を防ぐためおおよそ60度の急勾配の屋根を持ち、40~50年ごとの村人の共同作業の葺き替え風景は壮観。内部は釘・鋸などを使わず、荒縄と榑木で結合されている。最古の現存家屋は300年の歴史があり、国の重要文化財に指定。

建物とともに人々の生活を偲びつつ各種の体験(そば打ち、機織り、民泊体験)もできる。

近年、観光客が増加し、田畑や庭に無断で立ち入り、室内を覗くなど住人に迷惑をかける観光客も多いと聞く。村人が生活している家屋であり、無礼な行動は慎みたい。

三重地区紹介

三重地区長 No.563 松井 忠市

三重県では、昨年の暮れから5名入会され現在15名の方が会員です。関西圏に隣接し名古屋のサロン会に出るよりも大阪会場の方が時間は掛からない方もいます。

三重の会員は小人数の割には、積極的にLS行動している方が多く、月2回あるサロン会でも活発に発表されています。

三重県は、皆様をご存知のように南北に細長い県です。太平洋に面した沿岸部は温暖で過し易く「伊勢のナ～言葉」の様に温和でのんびりとした県民性です。

三重の見所・食べ所を簡単に紹介させていただきます。昔から二見の夫婦岩と内宮、外宮を有する壮大で荘厳な二千年の杜、伊勢神宮が日本人の心の古里になっています。

県下には沢山の温泉もあり、特に有名なのはその昔、枕草子にも歌われている「清少納言ゆかりの名湯」榊原温泉郷がいまでも豊富な出湯を誇っています。

お肉と言えば「松阪牛」とすぐ頭に浮かびますが、これも三重県です。きめ細かい霜降りと箸で切れる柔らかな肉質は感動ものです。特にすき焼きの松阪流しょうゆと、砂糖を使った味付けは肉との相性が抜群です。松阪駅そばに有名なお店がありますので、こちらに来られた時には是非お試し下さい。少々お値段が張るのが辛いところですが…。

安くて美味しい食べ物には「伊勢うどん」があります。太くて腰の無い独特の緬、黒く濃厚でお椀の底に少々汁、薬味に海草とねぎが上に乗っています。初めての方は、たぶん、驚かれますと思います。最近はドライブインや高速SAなどにもありますが、伊勢に行かれたら是非とも本場をお試しあれ。伊勢駅の周辺で沢山の専門店がそれぞれに味を競っています。

新しい見所では「熊野古道」です。平成16年7月7日に、世界遺産リストに登録されました。

今は昔、お伊勢参りの後この道を使って熊野三所権現に多くの庶民が向かう様子は「蟻の熊野詣で」と例えられた賑いだったそうです。

今回の登録では、自然と人との深い関わりが現在まで良好な形で伝えられていることが高く評価されています。寂れていた古道も世界遺産指定で、沢山のハイカーが、名物のさば寿司、

目はり寿司を楽しみながら行きかっています。

三重には、四日市に石油コンビナート群、鈴鹿にホンダの自動車工場があります。その関連会社等を含めると沢山の皆さんが勤務されています。

今後、団塊の世代のリタイヤーで、セカンドライフに於いて「南国暮らしの会」に多くの皆さんが関心を持たれる事を希望しています。

浜松地区紹介

浜松地区長 No.988 永井 禮造

私の住む静岡県浜松市は、今年政令指定都市の仲間入りをしました。

オートバイのホンダ、スズキ、ヤマハをはじめ楽器のヤマハ、カワイ、ローランド、光関係のホトニクスや数多くの企業が活躍し、駅前の整備も行われて久しぶりに来られた方はその変貌に驚かれます。

浜松地区の会員の方々はそれぞれ個人的に仲間とコンタクトをとりながら、情報交換をしています。又、メールと会報は大きな情報源として、楽しみにしております。

私個人としては、いつも皆様の、「海外に行きます」と言うメールを羨ましく見ておりますが、まだ会社勤めをしている為に、夢のような計画のみは作成しても、まだロングステイの実現は先の事になります。

以前駐在したフィリピンしか目標に入れていないのですが、最近はフィリピンに関するメールも、斎木様と渡辺様くらいで、他の国に比較すると少ないので寂しいです。

会の中でフィリピンロングステイを考えている方々と情報交換できる、ミニグループでも作ってくれるとありがたいと思っています。

沢山のホームページを見ている方々も多数おられると思いますし、現実に安くロングステイを実行されている方もおられると思います。これらの情報も共有出来るとありがたいと思っています。

ニュージーランド クライストチャーチ市 滞在報告 東海支部 554 笠井幸司

はじめに

今回、NZで1月初旬から3月中旬の2ヶ月あまりのすばらしい滞在ができたことは鈴木憲介会員とご家族の金銭では代えがたい現地での支援があってこそその結果でした。

フラットのリサーチ（訪問の半年前）から仮契約、前渡し金、契約の協議～決定。

空港ピックアップ、両替、訪問や電話による適宜の滞在の様子確認、フラット・オーナーとコミュニケーションの橋渡し、滞在中の国内観光地の案内～予約～同行。

ご自宅への招待、ご家族との手作り食事会などのホスピタリティ。

その他、生活全般へのサポート体制。

私達夫婦が安全に、無駄なく、楽しく暮らせたこのような親切なサポートは、単に会員としての好意をはるかに超えたNZにお住まいのご家族のお心遣いなくして語れるものではありません。

報 告

住居について

ヨット、ボート、カヤック、サーファーなどが往来し、1日2回の潮の干満時、色が変化する眼前のビーチ、バイカー（自転車）やハイカー、ランナーが多い背後の丘陵地、海鳥が窓すれすれに飛び交うなど自然に恵まれた最高のロケーションで終日眺めていても飽きないリゾート気分を満喫できた。

今回借りたフラットはフラット・オーナーが1～2階に住む大邸宅でその3階の1LDKをレンタルしたが新築で私達夫婦が始めての入居者でしたが、このフラット・オーナーが短期でかつ日本人に貸してくれた理由は、鈴木会員の尽力はもとより、後で判ったことであるがクライストチャーチ市（以下CHCHと記述）と日本の

倉敷市、南島北部のネルソン市と京都府宮津市との友好都市締結に尽力された大の親日家であったことが幸いした。

私達と同年齢女性フラット・オーナーのホスピタリティは最高で、よくドライブに誘ってくれ、友人（ネルソン市議会女性議員）とのティータイムや食事会、ドライブもたびたび誘われホームステイさながらの状態であった。

：**通常の賃貸期間**は、6ヶ月間単位程度の契約が標準の様である。

：**フラットの面積**は、4坪の居間+4坪のダイニング・キッチン +4坪の寝室+2坪の洗面トイレとシャワールーム（大型ガスボイラーで湯温・湯量に制限がなかったことが嬉しい）加えて、フラット・オーナーの好意で、オーナーが外出中であってもその居室はいつもオープンで必要なら使える。車庫や洗濯室、物干し場は自由に使用できる。

大型バスタブ付きのバスルーム2室の内、1室を自由に使用するよう勧められたが遠慮した。

日本人的感覚からすると、オーナー居室は鍵付きドアで閉めてほしいところ。

この習慣は英国滞在時のB&Bでも同様であったことからこのオーナーだけの考えでないことだけはすぐに理解できた。

：**レンタル料金は**、週300NZドル（前渡し金の時期75円～最終週88円/NZドルと大幅に上昇）

光熱費、家具・什器・電話が含まれている。

水道料金はCHCH市の水道料金・市内電話料金は無料。

面積比で日本より20%程度高いようだ。価格は全国的に上昇中。都市部及び観光地で現地の夏季にレンタルする場合、早めの手配が肝要です。

：**場所**は、地名レッド・クリフ

市中心地からバスで15～20分程度の郊外

丘陵地で富裕層の大邸宅が多い所。

社会について

短観であるが特筆すべきは、他国の政策に左右されないしっかりした自国のポリシーを持ち、「自立しつづけようとする社会」を感じさせた。（嫌米国、ユニオンジャックからの自立）

例：英語+NZ英語、諸外国からの投機目的の大規模不動産購入不可

一方、ご多分に漏れず、韓国人、特に華人の流入が近年の大幅増加によって物価と人件費の低下による「キウイ（NZ人の愛称）」の職場の縮小と収入減少への困惑がある = 技術者や若者の海外流出 移民政策で専門職や技術者を補おうする事との功罪のギャップがありそう。

日本食レストランであっても日本人経営は少なくとりわけ寿司店の多くは韓国人経営で「キウイ」に大人気、持ち帰り用パック寿司は夕方には売り切れてしまう。

アジア各国との連携強化政策 = 直近ではタイ国、タイ・レストラン増加

白人系と原住民マオリの人との協定があるが、白人系に加えて諸外国からの移民との住み分け、同化への悩みを内包している。

：**すさまじい住宅バブル**で郊外に豪華な住宅の建設ラッシュ、5年前の3倍の高騰。一般国民は住居確保に難渋
外国人でも土地も含めて不動産の購入可能（土地は投機目的排除のため面積制限・審査有り）

：**国の財政**は数年間黒字、英国より早くかつ充実した福祉政策を確立し失業者、子育て、老後の福祉及び医療政策は世界で超一級の福祉及び弱者対策先進国である。

公共施設やインフラは整っているが、日本のように過剰な予算配分はなく、効果的な税の投入が感じられるがゆえの福祉充実型社会が築かれているようだ。（政策に詳しい人との対談によって）

：**リスク** = 金利上昇の歯止めがかからない（国内資金の海外流出防止策としての政策金利が上昇）

黒字財政 法人税などの減税圧力、海外からの投資家（投機筋）への対応 米国系の攻勢 = 土地価格上昇と住宅バブル（バブル経済崩壊間近の様相）

この記事作成中の8月、急激な為替変動が生じたので文中の各価格は参考値としてください）

：**銀行口座開設**は外国人でも簡単に口座開設可能で交渉により定期預金金利 8.5 % は容易（多くの日本人ワーキングホリデー渡航者はこれでフラット代をまかなっている）
国債の金利は 4 ~ 5 %

：**観光地以外**では都市の繁華街でも 18 時になると閉店、めっきり人が居なくなる。土日は閉店。

：**この時期**、市街地も郊外住宅地も花花。
各家庭では、フラワーコンテストに向けてガーデニングに余念がない。
コンテスト入賞宅を巡るツアーがあり、オーナーの説明や苦心の話が聞け、美しい花とともに楽しいひと時が持てる。
花栽培の殆どは種子からとのことで、その花の多さからは信じられないくらいである。
ガーデニングに興味があれば、2月のNZが最高である。現地の種子を購入し、帰国後栽培しているが、数ヶ月たってもひ弱い2枚葉のみである。

人々について 日本の 70 % 程度の国土面積で総人口 420 万人程度（横浜市人口程度）
CHCH市は国内3番目の都市であるが人口 40 万人程度（ゴルフ場は1箇所 / 1万人）
「キウイ」は、シャイであるが親切です。自分と他人ははっきり区別するが、自分と他人の関係は大事にしていると感じた。この点、

日本人に蔓延している「あんたには関係ないだろう」の無責任な言動や心情は感じ取れなかった。しかし、徐々に変化している模様。いきすぎた資本主義、競争原理至上主義を非常に嫌う 前述の嫌米国。

：高価な衣装や装飾品を身につけて自慢することへの嫌悪と羞恥心を持っている。

事実、フラット・オーナー夫人も資産家で実業家であるが、身なりは質素で私達と接する時や外出時も、メイドインチャイナの安価なハンドバッグとジョギングシューズ、綿のパンツルックである。

自家用車もさしずめ日本なら「レクサス最上級車」が似合う人であるが、日本車の古い小型車である。

「キウイ」は若者に限らずかなりの人が裸足で街を闊歩したり、男の上半身裸などは日常的で華人、韓国人、日本人などの豪華な身なりを見て嘲笑している場面が多い。

物を廃棄せず再使用の文化が根付いており、あらゆる衣料・家具・日用品があちこちの大型店舗で安価に手に入る。また同店で売ることも可能で老若男女に大人気で私達も大いに活用させてもらった。訪問時多くの衣服を持参せず現地の気候に合わせてこの種の衣服入手が効果的。事実、現地での服装を日本で考え持参することが難しい。

電気製品などのMade in Japan は人気あり。

：アウトドアスポーツを愉しむ人が非常に多く羨ましく思う。バイク、ジョギング、ヨット、キャンプ、スイミング、などいずれもファミリーやグループで行動している。

特に、郊外にモーター併設の施設の充実した環境のよいキャンプサイトが数多くあり、週末はファミリーで大変な賑わいである。

驚きは小型乗用車で牽引されたキャビンに馬2頭を乗せ、乗馬クラブへ向かう者もたびたび見かけた。

バイカー（自転車乗り）は老若男女差を感じさせず夜明けから颯爽と走っている。バイ

ク通勤姿もレーサーさながらのウエアとアイテムに身を包み実に格好良い。（マウンテンバイク 20 万円程度と高級車多い、いたるところで開催されるバイク競技トレーニングを兼ねて使用しているレーシング・バイクは数倍もするものに乗っている）

：牧場経営が一番で次にクルージング・ヨットを持つことがステイタスと聞いた。

：勤務と自由時間の使い分けは勤め人、経営者、店主など就業定時に一齐に退社・閉店し帰宅、30 分後には自宅でファミリーや友人達でBBQ やプール、海釣り、バイク、ガーデニングなどで愉しんでいる。

子供が多い。（4 人の子持ちは珍しくない）この時間帯から、私達フラット周辺でも子供と親の遊ぶ姿や歓声が絶えない。

水道代無料にてプールがある自宅が多い。20 時 30 分ごろまで日照があるのでゆったりとした時間を過ごしている。

夫婦で過ごす時間が多い反面、離婚が多いと聞く、しかし家族ぐるみの交際が主なので、離婚すると单身と家族の付き合いは無くなるそうで孤独を嫌い再婚も多いそう。

一方、犬を飼っている人が多い、猫は見かけなかった。

野犬はいないし、放し飼いの犬も見かけない、動物を監視する警官の制度があるそうで、放し飼いやベランダにくくりつけて飼うことが動物愛護の観点から厳しく制限され、この警官の巡回が住宅地で頻繁に実施され違反が見つかると罰金か犬の没収と聞いた。飼い犬はいずれもよく訓練されていて危害を加えられる様子は無かった。

ある日、買い物帰りに付近の小型犬が手綱を切っておとなしく私達についてきたが、飼い主が血相かえて追いかけてきて私達に何度も「Sorry」を繰り返す姿はかえって奇異に感じたが通報すれば前述の罰となることでこの飼い主の行動が理解できる。

気候について 曇り日で終日 16 ~ 18 、日照時は 25 前後であるが日陰では寒く感じた。

今年は 60 年ぶりの冷夏とのこと。3 月 13 日に周辺の山で冠雪、4 月 1 日に 30 を観測するなど異常気象の様子。日射は強烈！

1 日の間に 4 季があると言うが、4 季の寒暖の差が日本より少ない。

開花期間が長く花や樹木がよく育っている、同種でも日本より花も背丈もかなり大きいとその理由は不明でした。

西海岸では多雨で樹木は大きく育ち、密林状態であるが、東海岸では、少雨のせいかな樹木はめっきり少なく、一面牧草地帯でその景観はまるで別の国のようである。

自然について 日本と全く異なる大自然を感じる。(郊外では人、民家、建造物が少ないせいもある)

ロードオブザリングやその他同種映画のロケ地もうなずける。

動物(ネズミ、ウサギ、テン)と花き(例:ルピナス)の外来種撲滅に国策として取り組んでいる。いたるところで増殖したテン、ウサギなどが轢死、ルピナスの繁殖が目立つ。

この雄大な大自然の景観は筆舌や写真では伝えることはできない。

: サザンアルプス (3 千 M 級) は夏でも残雪多い、Mt. Cook は富士山と同じ高山であるが、緯度が高く南極やヒマラヤ登山訓練として利用、高度 7 千 m の環境とのこと、2 月に日本人 3 人が滑落 2 人死亡の直後に私達も氷河観光やハイキングに訪れたが、遭難救助の余韻が残っていた。

アルプスの景観は上から残雪の白、中間の岩または砂礫の灰色、そして鮮やかな緑色の草原や深緑の樹木は見事なコントラストである。

私達はこの見事な景観に 3 回も足を運んだ。

: 秋冬の枯れた牧草による花粉症の罹患がある。

: 大規模公園 が市街地、郊外に多く存在する。

C H C H 市街中心地に 4 km 四方の大公園があり、ゴルフ場が中に併設され楽しげにプレーに興じているすぐ横(柵も危険表示もない)をウォーキングコースがあり平気な姿の両者であるが危険回避は自己責任であろうか、ゴルフボールがいつ当たっても不思議でない状況に私達は不思議を感じた。

: 海洋では カイコウラでは鯨・イルカなどほとんどの海洋動物、オアマル近郊ではイエローアイペンギンやアザラシ、アカロアでは最小と言われる体長 50 cm 程度のイルカも難なく観察可能である。

: 漁業権 は原住民マオリのもの。

事件・事故 凶悪事件や政治的事件は地政学的な立地によって少ない。一般的な事件はそこそこに多いと聞く。しかし海外逃亡が困難ですぐつかまるそう。

近年、この地政学的有利さからテロまたはその情報にさいなまれる米国人がこの地に居を構えるべく投資が増加している。

交通事情 郊外は殆ど制限時速 100km、人口が少ないので事故件数は少ないが率は不明。殆ど日本車、小型車が多く日本のような(前述での見栄がない?)高級乗用車は見当たらないが、豪華な大型キャンピングカーが個人宅で多く見かける。

モーターバイクは少なく、キャンピングカーやカヤック、ヨットなどの牽引車、バイク搭載車などのミニバン車も多い。

: 交通網 バス輸送網発達、鉄道輸送網貧弱で旧式、タクシーは、手をあげて乗車できる習慣は無く、ターミナルやタクシースタンドに行って利用となる。電話で呼ぶことは可能。

シテイ間長距離バス網が発達、予約制。

: 横断歩道 道路に日本同様白ペイントで縞マークと両サイドに黄色のポールが設置されていてその地点に立つと無視して通り過ぎる車両は皆無, マナーが素晴らしい。

生活事情 フラット代以外の生活費は日本と同じと考えてよい。

ゆえに訪問・滞在する各自の日本での生活感や生活レベル同等の費用が必要と理解すればよい。

つまり、「どれだけの費用をかけることができるか」で滞在の楽しみが変わります。国内旅行費も同様に日帰り旅行で1万円/人くらいは必要です。

: 食品、酒類、嗜好品は、日本価格同等、美味しい。自然味で日本の農業製品に無い食材本来の香り、色、味、硬さなどを賞味できる。
例：青くさい香りと皮がやや厚いトマト、自然の甘さと酸味で硬い果実のりんご、みずみずしく厚い葉物野菜など。大型店ではオーガニックコーナーがあり安心、肉類では特にこの地ではドイツ輸出用の鹿を放牧、この鹿肉の食感はすばらしい。

白ワインがGood! 南島の北部マールポロの白ワインが絶品、帰国後名古屋市内で調達、現地価格の約2倍...高い~。

日本食材は少ないが調達できる。華人経営のアジアン食材店での調達は農薬・化学肥料などの健康面で不安、日本人用は高価でもありお奨めしない。

魚介類は市内専門店種類は少ないが少量でも新鮮なものの入手可能。

: 生活に車が必需 小型レンタカーは保険類フルカバレッジで2.5 NZドル/日・3~5日単位から。

しかし、車は古くオートマチックと半々。滞在の楽しみは車の有無で大きく変わります。

私達は、夫婦とも国際免許を携行したが、事故時の対応が不安なので、車を諦めた。そ

のせいで行動範囲が狭くなったことは事実である。

フラットの背後が標高500Mの丘陵地なので、3時間コース、5時間コース、7時間コース、逆にビーチウオーキングと毎日のように歩き、雄大な景観に心奪われながら、地元ハイカーやバイカーと会話を楽しむなど、健康的な生活であった。このことによりダイエットができ、体重74kgが62kgとなり、思わぬ効果で大喜び。

ちなみにこの国には野犬はおろか、蛇、熊などの有害動物はいないので、終日安心して行動できる。コースは、「Foot Pass」の公式標識が多くあり迷うことはない。

: コミュニケーション 英会話力が滞在中の楽しさに大きく影響、特にリスニング力必須。

会話力不足では、この国での楽しい生活は望めないでしょう。観光ガイドブックなどで紹介されているNZ造語やマオリ語の挨拶ですぐ打ち解けてくれます。

観光に主眼を置くなら日本からのバックツアーで愉しむほうがベター。(現地でも日本人ガイドツアーはあるが高価)

産 業

鉱工業・重工業産業は少なくこれらの製品は輸入である。主に農業系産業国であり、自動車製造産業もない。

ただ特筆すべきは、クルージング及びレーシング・ヨットの製造技術は世界1であり、アメリカズカップを筆頭に世界各地で争われる。カップ用のレーシング・ヨットは殆どこの国で製造され受注は絶えることがない。これらの造船場は北島オークランド市周辺に集中している。

植林と木材輸出についてふれとくと、昔、この国への入植者たちは、牧場作りと家作りのために多くの樹木を伐採し、広大な放牧地を作り羊を放牧し、生きる糧とした、そのた

め行けども行けども放牧地で樹木がない丘陵地が延々と続く、自然環境保全の現在の観点から褒められないが、反面この景観が雄大な大自然をかもし出すことが不思議である。

一方、方々の谷あいや平地では、植林が盛んでその多くはパイン（松系）であるが、杉のように真っ直ぐ育っている。驚くことに、15年～20年で径30cm以上に育ち、伐採しては植林するサイクルが保たれ、これらの多くは日本に輸出されている。

私達フラットの裏山を越えたところの大型船用港からはこの木材の日本への船積みがあった。

この港は、石油運搬船の棧橋が有り、山越えのパイプラインでCHCHへ運ばれている、ある日この港に日本から大型クルージング客船「飛鳥」が寄航していたことも驚きである。

さらに、この港の突端岬に海に向かって大砲が2門設置された跡があり発電用小屋が現存している。

太平洋戦争中、豪シドニーに日本軍が侵入したことで、きっとNZにも攻めて来るとの判断からこれを迎え撃つべく設置されたと聞き、たいへん驚いたものである。

フラット・オーナーが感じた日本人の私達

：英語コミュニケーション能力については、私が話す英語は聞き直すことなく理解してくれた。

（失敗事例）問題は私のリスニング能力不足にあり、滞在5日目、「私は英語が余り上手でなく、特にヒヤリングに問題があります、ゆっくり、易しい表現でお願いします」と伝えた直後からオーナー夫人との会話がなくなり、メモによる意思伝達が多くなった。

笑い話の様であるが、私が「ヒヤリング」と表現したことを彼女は「耳が聞こえにくい」と理解し、メモ対談にしたことが判明した。この場合「リスニング」と言わないと正しく伝わらないことを数日後に知り、赤面。

判っているようで誤使用が多い「ヒヤリング」と「リスニング」に気を付けたい。

：良識（マナー）については、滞在当初からオーナーと共用のスペースを使用した都度、清掃・拭き掃除を当然のこととしていたが、ある日その行為を見て「それはオーナーの私の仕事、今後はしないで」と言われたが続いていた。休日のガーデニング、飼い犬へのちょっとした心配り、

これらのなんでもない行動に大層感激したようで、私達が親族の都合で契約より急遽、2週間早く帰国を余儀なくされたが日割りで清算、部屋も「信用しているから」と退出時の確認もなし。

そして饞別として私の登山の趣味からNZアルプスの高価な写真集をプレゼントされた。

そして、オーナーのお別れの言葉に感激した。

「最初の入居者があなたたち夫婦でそしてやはり日本人でハッピー」

これからも、どの国でお世話になる時でもこの「良識」を忘れない。

渡航・帰航での注意すべき点として、エアチケットは、現地で日程変更を含み直近の帰路チケットの確保は至難、特に、東南アジアハブ空港経由のチケットの場合、この地域にはパイロットが極めて不足状態で、機体数に見合っていないとのこと。

私達の場合、シンガポール・エアで変更申請後10日以上先の日程がやっと確保できた。この地での急用での帰国には、注意したい。

おわりに

本報告は、「2007年 夏季号」で関西支部の鈴木通弘氏がNZについて詳細に記述されているので、なるべく内容が重複しないよう配慮した。

そして、日記的や紀行文的な記述を少なく、

切り口の大部分をこの国、この町の社会・文化・歴史・生活・習慣・人々の感情を中心に記述した。

これらは現地有識者（ネルソン市女性市議含む）との面談や推薦書籍などで情報入手したほか、私個人の感受性、または一事象の情報もある。自分に見合った情報にする為には是非、当地訪問（滞在生活）をお勧めします。

私達は、毎年、日本の冬にシーズンステイしたい。そして、既報（夏季号）にもあるようにグループ滞在でコストダウンが有効です。

一人旅の気ままな行動と、心細さと、不安

東海支部 No.530 浅野 光利

{ 出発 } 平成19年2月7日

中部国際空港に大きなトランクをゴロゴロ転がして旅行社へ航空チケットを受け取りに行った。

廻りには誰も知人はいない。海外への一人旅が始まらんとしています。チケットを受け取り、内容に誤りは無いか、ドキドキしながら覗きこみ、一文字、一文字の確認作業に入った。

チケットは全部横文字、Yes, No, OK, Thank youは、しっかり覚えているから大したものだ。それ以外は、まったく駄目、何でも聞く事が出来、何でも喋れる、なんとも行っても中部国際空港の中だ。トランクを預け、出国をして、機内に乗り込んだ。これでよし。どんなもんだ。なんて思って一安心これで先ずはマニラまでは間違いなく到着できる。ルンルンである。しかし、目的地はダバオなのだ。マニラで乗り換えなければならない。いつもの旅は仲間と同行のため、機内に入ると直ぐに寝てしまうのが得意技。今回はとても寝る気分ではない。機内で出入国カード、税関申告書を書かなければならない。これが、また厄介なことだ。何とか無事入国が出来た。一汗かいた。クーラーなんて自分には、と

ても効いてないのと同じだ。さて、今度は、国内線へ乗り継ぐのだが、何処をどういったらいいか、皆目解らない。よしままよ！空港職員に日本語で尋ねる。誰に聞いても理解できない。英語を並べ立て誰か耳に留めてくれれば、旨くいくかも。フィリピン人も私の英語が理解？無理だった。「チケットをみせろ」という。出して見せたら簡単だ。なんてことはない。ヤレヤレ到着できた。

{ 到着 }

ダバオに到着。思わずニンマリ。自分も結構、国際人かも？ 空港に迎えに来てくださったのが、東海支部 589 岸 祥介ご夫妻でした。

平野さんも同行にて来ていただきました。マルコポーロホテルに到着し、チェックインでヤレヤレでした。

{ 目的 }

ダバオへ出掛けたのは目的がありました。一つには、日比ボランティア協会の方々と会う事と、ミンダナオ国際大学の学生さんと会う事でした。学生さんの里親になっているので、里子の学生さんとの交流をすることでした。

とても格好のいい事を言っていますが、実は楽しみにしていたスキューバダイビングとゴルフをしに出掛けたのが実態です。今回のダバオは色々な経験ができました。記憶力、抜群？なので、日付は覚えていませんが、スキューバダイビングに出掛けた時のことです。天気も良く、波も静かで、絶好のダイビング日和に、ワクワクしました。ナンと、私一人が客でした。かなり大きな船で出掛けていきました。

インストラクターと私の2人で海に入り、中小の魚などの遊泳を見て楽しんでいました。突然、私の前でものすごい泡が吹き出しました。あまり激しいのでびっくりしました。前の状況が解らなかったのも僅かの時間でした。直ぐに事情が飲み込めました。インストラクターのエアゲージのホースがパンクして一瞬にして、

エアがなくなっていたのでした。私は急いで、彼のところに行きセカンドステージを渡そうとするのですが、彼は、慌てて私のファーストステージを取りに来て、大変でした。

無事にセカンドステージを渡す事が出来、ヤレヤレと思いきや、また大変、彼が急浮上し始めるのでびっくり。私は、ゆっくり、慌てないで、と指示して、何とか治まったものの、若し後ろにいた私がこの事故にあったら、彼は気がついてくれたであろうか？ ソツとしたダイビングでした。死と隣り合わせの体験でした。

{ハブニング}

次の朝、ホテルの朝食の時、私はテーブルに案内されましたので、手荷物を椅子の上において好物の野菜サラダを皿に大盛りに盛ってテーブルにもどって来たら、知らない鞆が置いてあります。「ナンだ？」と思いながら立ったまましていると、しばらくして、2人の東洋人が戻ってきて、怪訝な顔で相手も立ったまま。「ここは、私の席です」と得意の日本語でいうと相手も「いや、私達もここに案内された席です」。日本語が返ってきたので、ホットして「じゃ、ご一緒しましょう」と同じテーブルに着き、私はサラダをぱくついて、2人の会話を聞くとはなしに勝手に耳に入ってきました。話の内容が私の好奇心を掻き立てるのに十分な内容でした。

一人は、フィリピン人女性と結婚し、ダバオに住んで、事業をしている内容。もう一人は、岐阜県人で、ダバオに遊びにきている様子の内容でした。私が興味を持ったのは、フィリピン在住の方が、今日、自分の採掘している金鉱山へドライブがてら、出掛けるとの内容に、ダバオに金鉱があるのか？という好奇心でした。ダバオから3時間ドライブして行くという話に思わず話に割り込んで「あの、若しお差支えが無かったら、私も同行させて頂けませんか？」随分ずうずうしい話だと、自分も思ったが、即答はもらえなかったが、OKの返事が電話で届いた。早速、ロビーに下りて、ホテル前に駐車し

ている、立派な四輪駆動車のパジェロに乗り込んだ。車中は、私一人分の座席が空席だった。ふと、後ろを見ると、現地のフィリピン人が二人、座席の無い荷台に座っている。申し訳ない気持ちになり「済みません」と頭を下げた。ダバオの街をスタートして、約2時間は、コンクリート舗装された道路で快適なドライブが続いていく。ダバオからPanabo、tagomを通り過ぎ、急にハンドルが左に切られた。ここからは、山道に入り、未舗装の凸凹道だ。段々道路幅も狭くなり、轍がきつくなってきた。その頃には、道路の左側が200～300mの深い谷、落ちたら一巻の終わり。

悪路に車は、ガタガタと揺れる。後ろの荷台のフィリピン人は、悲鳴を上げて、ふらふらになってしまい、私達の座席に割り込んできた。とつても窮屈。窓が開いているから、空気は旨い。自分が好きでつい来たのだから我慢するか？ ドンドン奥地に入っていく。反対の山々の所々に鉱山の入り口らしきものが、多数見えてきた。いよいよ目的地が近いなと直感し、鉱山の入り口と景色を堪能していた。突然、ドライバーが「窓を閉めて下さい」と。

ナンで、こんな綺麗な山々が見えるのに。埃もないのに。少し不満な口調で「どうして閉めるんですか？」と問いただすと、運転手は、「ここからは山賊が出ますので、スモークガラスで車中が見えないから、そうしてくれ」と言う。「どうしてなのか？」と更に問いただすと「山々から双眼鏡で見ている、日本人が乗っていると身代金誘拐があるので、閉めて下さい」私は、急いでスモークガラスの窓を閉めた。

間もなく、目的地の金鉱の入り口に到着した。入り口まで行ったけれど、いつ崩れても可笑しくない穴の補強に、びっくりし、直ぐに逃げ出した。あれ以来、金がどうなったか、聞いていないので、今度ダバオに行ったら、訪ねてみたい。旅は、楽しくていいもんだ。

初めてのチェンマイロングステイ36日間

東海支部 No208 小林 明広

1. はじめに

私は昨年早期退職し、チェンマイで初めての36日間ロングステイ(以後LSと略記)を体験した。当地の一般的な情報は会報等に何度か出ているのでなるべく省略し、3、4項で自分の体験、役立ち情報を中心に報告するが、なにせLS初心者のため、入門編ということでご容赦願いたい。

2. 住居、日常生活

住居：最初の4日はアマリリンカムホテル（KKトラベルで事前予約）、残りの1ヶ月はヒルサイドコンド4(ヒルサイドで事前予約)を利用した。

日常生活（1B(バーツ)は約3.3円）

ゴルフ：現地滞在の方のお世話で週2回ほどプレイした。交通費・チップ込みで800～1300B(ゲスト)だった。ビジターだと2000～2500B位。



グリーンバレー：今野様ご夫妻と、右端が私

マッサージ：週6回ほど通った。場所により値段は異なるが1時間150+50B(チップ)位。

タイ語の学習：KKトラベルの紹介でラチャパット大学日本語科卒業生に個人教授してもらった。週1回、2時間で200Bと格安だった。

名所見物：ドイタノ、ドイステープ、お寺巡り、ゴールデン三角形、動物園など、詳細は省略。

食事：朝食はコンビニ買い置き、昼食は近くの食堂やゴルフ場で40～60B位。夕食は南の会の人との食事が主で、値段は場所の違い80～300B位。

*けっこう食べたのにLSのあと体重が2.5kg減っていた。タイ料理、生活の変化のためか？

3. トピックス

花博（2006.11月～2007.1月）

規模は愛知万博にはとても及ばないが、花の展示はそれなりに立派で綺麗だった。特にタイ国のブース(全体の1/3)は良く出来ていた。友人の案内を含めて4回行った。入場券200B



花博：Royal Pavilion Zone

ビザ無しでの滞在延長

タイのノービザ滞在は30日以内だが、今回はこれを越えるので、ゴールドエンタライアングルツアーでタイからミャンマーに出入国し、滞在期限を延ばしてもらった。ツアー料金は1000B、出入国は20分で済んだ。

バンコク銀行の口座開設

06年4月より条件が厳しくなったが、タイ人の保証人があれば口座開設は可能で、私はコンドを借りた業者に依頼して口座開設ができた。

4. 生活費に関して

タイパーツの入手方法の比較

センタンのバンコク銀行にて、日本円の両替、クレジットカードでのキャッシング、キャッシュカードの3つの方法を同時に実施して手数料を比較した。表手数料の右欄より、日本円(現金)の両替の手

手数料が 1.8 % と一番有利で、クレジットカードでのキャッシング（ATMを使う）が 2.2 % で 2 番目、キャッシュカードで引出し（ATMを使う）は手数料が 3.6 %、4.6 % と高く不利との結果が出た。キャッシュカードの手数料には為替レート + 銀行手数料 + 引出手数料が入っており、この銀行手数料が 1.5 ~ 3 % 取られるので不利になったと思われる。クレジットカードでのキャッシングの年利は通常 18 % で高いように思われるが、1ヶ月で返済してしまうので金利は 1.5 % しかかからない。

が 1200B/件で、為替レートの手数料が 2.3 % 程度あるのでこれ以下には下がらない。送金は多額のお金が必要な場合に安全な方法と思われる。クレジットカードをそのまま使う方法は、欧米で活用されており、身分証明、旅行保険の機能もあるので私は必ず 1 枚携帯するが、タイで使う場合は 3 ~ 4 % の手数料を取られるので不利である。トラベラーズチェックは紛失や盗難にあっても再発行可能、両替レートが有利など良いところもあるが、私の場合は入手が面倒なので使ったことがない。

表 手数料 (円/B/3.23 - 1) × 100 = 手数料%
為替レートは TTM = 3.23 円/B

日本円の両替	6080B	20000円	1.8%
クレジットカードキャッシング	10000B	33001円	2.2%
キャッシュカード A	10000B	33458円	3.6%
キャッシュカード B	10000B	33779円	4.6%
バンコク銀行に送金 (07.9月TTM=3.5)	26733B	102500円	9.5%
	278130B	1002500円	3.0%

お金の支払い方法は他にもある。日本からバンコクの銀行に送金する方法は 07.9 月に試してみた。タイバンクからバンコク銀行の場合、表の下 2 段にあるように、10 万円の送金で手数料は 9.5 %、100 万円では 3.0 % と金額が増えるほど安くなるが、日本円の両替より手数料がかかる。送金手数料の内訳は為替レートが 0.08 円/B + タイバンクが 2500 円/件 + バンコク銀行

今回の生活費と改善案

表に LS の費用 (単位: 万円) を記載した。

今回は単身の滞在で、36 日間の実費は合計 35.3 万円と結構高くなった。そこで次回の LS でもっと安く生活する方法を考えた。航空券代・宿泊費は長く滞在した方がベターであり、今回は 3ヶ月の LS で試算した。これで航空券 + 日本の交通費はほぼ 1/3 になる。宿泊費はコンドミニアムの種類、取扱い業者の手数料、借用期間でずいぶんコストや中身が違う。今回の 1/3 の家賃で同レベルの部屋を見つけたので、今回はそこを使う。生活費はゴルフやマッサージ、食事代は減らしたくないのでそのままにし、安い市場や、安くておいしい店を探せば 2 割は減らせると試算できる。これらを LS の試算に反映した結果、改善後の 1ヶ月の費用は約 16.3 万円となり、数年後の年金生活でも何とかやっていける目処がついた。ただし、最近の為替レートの変化が心配だが……。

5. チェンマイの良い所・悪い所、課題など

良い所は、物価が安い、ゴルフ場が安く近い、

表 LS の費用 (単位: 万円) 36 日間の実費

航空券+日本の交通費	10.5+0.4 = 10.9
宿泊費 (コト 1月+ホテル4泊)	6.0+1.0 = 7.0
生活費	16.2
今回だけの費用 (携帯、口座)	1.2
合計	35.3

次回3ヶ月LSの試算

費用/1ヶ月

× 1/3 × 30/36	3.0
コト 1/3、ホテル 1/2	2.5
× 0.8 × 30/36 (市場を活用)	10.8
今後は不要	0
改善後の1ヶ月の費用	16.3

マッサージが安い、安全、人が優しい、日本人もたくさんいるなど。

悪い所は、車が増え排気ガスで空気が汚染されている（特に冬）、道路が渡りにくい、細い路地に犬が多い、歩道は木や車などで歩きにくい等。

課題は、南の会の人との付き合いが多くなり、タイ語が上達しにくい（話す相手はキャディさん位）。今後タイの人との交流機会を増やしたい。

6. 終わりに

今回のLSでは、南の会の方々にお世話になった。チェンマイ在住・滞在の皆様、さらにタイ人の方々に深く感謝すると共に、今後各地でLSする際のご協力をお願いして筆を置きます。

夫婦のささやかな3つの楽しみ

東海支部 No.571 西口 加代子

私たち夫婦には、ささやかな共通する三つの楽しみがあります。

- 第1は、寒さが嫌いな為、日本の冬に暖かい異国で、ロングステイをする事
- 第2は、野球観戦に出掛ける事
- 第3は、猫を、こよなく可愛がる事

楽しみ1については、今年は、ニュージーランド北島のオークランドへ1月27日より14日間、ファンガレイ7日間、ロトルア2日間と、行ってきました。行くきっかけは、主人がたまたま参加した同窓会で、学生時代のクラブ仲間の1人が、ニュージーランドでゴルフ三昧の悠々自適の生活を送っている人がいると聞きつけて、早速連絡を入れたところ、11月末に、大阪和泉に戻っておられる事がわかり、大阪まで会いに行き、N.Zの様子を聞き、行く決心をしました。それから、おもむろにホテル等探し始めましたが見つける事がなかなか出来ず、結局、東海JRツアーズの”オークランド7日間ステイ”のプランを、最大限に延長してもらい、ホテルを確保しました。

ファンガレイはオークランドよりバスで、3時間半ほど北へ行った所であり、人口5万人位の町で、気候も温暖で冬でも最低温度が5度以下にはならない、過ごし易い処だと聞きました。

主人の友人は、パートナーのN.Z人とゴルフが縁で知り合い、その為生活の9割がゴルフで占めており、滞在7日間で4回程一緒にプレイしました。

ゴルフフィーは、日本円で4,000円、キャデー無し、カートは自前又はレンタルです。

友人が、是非とも見せたいと言って、連れて行ってくれたのは、ワイポウアカオリ森林保護区にある最大のカオリツリーで高さ50メートル、幹の周り約30メートルもある巨木でした。

この木は、上に伸びるに連れ、下の枝を、木自身で切り落としていく不思議な習性があるとの事、凜とそそり立つ様は神々しい感じがしました。



オークランドは、別名帆の町と言われる様に、ワイテマタ湾沿いにあるインフォメーションには多くのクルージングツアーがあることは言うに及ばず、市内には、赤色の料金フリーのバスと料金1.6ドルの青色のリンクバスが市内のメインスポットを、各10分間隔で巡回しています。また滞在先のメルキュールホテル近くのブリトマート駅からは、ウエストライン、イーストライン、サウスラインとこの駅を基点に列車が走っており、とても便利で、バス同様に何度

も利用しました。又、遠方へのバスは、町のシンボルスカイタワーの袂から出ていて、ファンガレイへもこのバスで行きました。



ロトルアへは、飛行機でファンガレイから50分足らずで着きました。

飛行場からはシャトルバス乗り合いで、ドアードアーサービスつき1人20ドルで、テルメリゾートまで行きました。

日本人オーナー自慢の露天風呂があるモーターで、オーナー曰く、ロトルア市内にも露天風呂はあるけれど、採掘が25メートルと浅くイオウ臭がきつい、でもここの風呂は地下125メートルより湯をくみ出しているの、臭みが無く入浴出来るとの事、その言葉に偽りも無く久しぶりの空を仰ぎながらの入浴に満足でした。

このN.Zステイを終え気づいた事を下記にまとめてみました。

お金のチェンジ場所は至る所にあり便利、でも必ず、手数料フリーのサインがあるか確認する。(ロトルアでレートが高いと思ひ替えたらず手数料込みではなく失敗)

(ちなみに、ドルレートは手数料フリーのところは85.7~88.6、フリーでないところは92.2、カード使用の場合の日本での決済レートは83.0でした。)

日本より持ち出しの食品、アウトドア用品は検疫がとても厳しいので、今回事前に持ち出しのリストを作成しその用紙を見せたら、スムーズに出られました。

トイレ事情がよく、至る所にありしかも綺麗でした。(無料)

国内線の飛行機チケット代は、曜日、時間等によって随分差がありました。

たとえばファンガレイ~ロトルア行きで言えば、金曜日は一番高く、日曜日は安くてその差は半額に近かった。上手に利用せねばと思いました。

モーター利用にあたっては、クオリティー“10 point”マークがある所を選べば全く問題なく泊まれる由、友人より教えてもらいました。2度ほど体験しましたが、その通りでした。

さて第二の楽しみ野球観戦は、殆ど毎回の様にナゴヤドームに出掛ける事は言うに及ばず、高校野球観戦に、春、夏と甲子園に出掛けます。

約20年前から続けて観戦に行っています。2年前に次男が、親の野球好きを思っか、甲子園球場の南、徒歩で15分位のところに住居を持ちましたので、2泊位の予定でかけております。

屋根のある席のチケットを求め、早朝6時には、長蛇の列に並び、一旦家に帰り再度、球場に足を運び、1日4試合を観戦してきました。

屋根つきの席とはいえ、今年の夏の暑さは格別で甲子園名物の勝ち割り氷を、首、頭に、載せての観戦となりました。

戦前の特待生問題も何のその、全くそれには関係のない公立高校の優勝で幕を閉じ、これには、拍手、喝采でした。

さて最後の楽しみ猫の件は、私も主人も根っからの猫好きで、1日に1度は、話題に乗せ、夫婦間のコミュニケーションを計ってくれる猫に感謝していましたが、残念ながら2匹のうちの一匹が、獣医の手当ての甲斐もなく8月の半ばに18年目のわかれとなりました。たかが猫されど猫、涙、涙の別れでした。

これからも、これ等3つの楽しみを持ちつつ、又新しいロングステイ先を、南の会の皆様より情報を得ながら楽しめたら、と思っています。

バリ島・ウブドでのんびりしてきました

東海支部 NO.843 土井 研一・和子

インドネシア・バリ島の高原にある芸術家の町ウブドで、20日間のんびり、ゆっくりしてきました。行った時はちょうど新年の祭の時期で、オダラン、ケチャダンスやレゴンダンスなど楽しんできました。

今回は関東支部・石川ご夫妻が毎年バリに行かれるということを知りつけて押しかけました。

私達のほかに田中ご夫妻（関西支部）、国武ご夫妻（九州支部）も一緒でした。

ウブドは気候も温暖で、日本人も多く住んでおり、物価も安く、こじんまりしたとても過ごしやすい町でした。

1. 日程

2007年7月1日（日）11:30に名古屋・セントレアを出発し、グアム島経由、デンバサール21:20着。

帰りは7月19日（木）22:05にデンバサール発で、グアム島経由、セントレア20日10:30着でした。グアムでは出入国の審査が厳しくノートパソコンの電源部に粘着テープを貼りつけて細菌の検査らしい事もされました。

名古屋からの直行便は昨年10月に運行中止し、現在はありませんでしたが、早く復活してくれるとありがたいのですが…。

2. 費用

航空券が83,260円×2人。

入国時：Tourist Visa（現地購入）

25USドル×2人。

出国時：10万ルピア×2人。

空港送迎費：15万ルピア×2回。

宿泊費（朝食付き）は22万ルピア×18泊
= 396万ルピア（約5万4千円）。

食費、生活費、買い物、マッサージ代などで約5,000円/日。その他を含め今回の全費用は合計 約33万円でした。

3. 宿泊先

宿泊先はプリ・ダラム・コテージで石川ご夫妻の7年来の定宿です。

近くに24時間オープンコンビニ、割合にレートが良い両替店、インターネットカフェ、レストラン「カフェテガル」、和食の「影武者」や「ウブドラヤ」があり、とても便利。

ホテルはこざっぱりしていて、バスタブ、エアコン、テレビ/NHKワールド、広いベランダ付きで気持ちよく過ごせました。

ホテルオーナーや従業員も家族的でフレンドリーな感じがとても良かった。ホテルは全面改装中で、建物を塗り直し、新しいプールもでき、プールバーを建築中でした。

4. 食事

レストランはインドネシア料理の他に、和食の店もあり、現地の日本人や我々のあいだでは、和食店人気No.1は影武者。No.2はウブドラヤ。No.3は漁師でした。

影武者のママは愛知県の出身で、名古屋風手羽先や味噌カツもあり、うれしい。

ウブドラヤのママとしこさんも日本人で味もおいしかった。店には日本の小説など本が沢山置いてあり、貸し出し自由で多めに利用させてもらった。週末には現地在住の日本人が集まり、情報交換をしているようでした。

ピザ店「ピザ・バグス」、台湾人経営のバリ料理「Kita」、ネカ美術館前のスペアリブの店もおいしかった。

5. インターネットカフェ

300ルピア/分（外国人向け価格）。スカイプもできる。なじみになるとまけてくれる。

6. 観光など

バリの宗教はヒンズー教で「オダラン」とよばれるお祭があり、我々もホテルオーナーのご好意で民族服に着替えて参加した。厳粛な雰囲気の中にも、大勢の人が参加しておりにぎやかで印象に残る祭でした。

たまたま「葬式」があり見学したが、葬式は火葬で観光化されていて観光客も多かった。

他には、有名なウブド王宮、ウブド市場やネカ美術館などを見学した。

「Neka美術館」では、元々は2つの絵を並べて展示して、1枚の絵のように見える絵が印象に残りました。

買い物はウブド市場のほかに通りの専門店で良い品が安く買えました。

バリ式マッサージは体に優しいマッサージで気持ちよかったし、散髪もスチームマッサージ付で安くて気持ちよかった。

今回はウブド以外にも繁華街のあるクタ地区や海のきれいなヌサドゥア地区やサヌール地区も駆け足で見学した。いずれも魅力的な町で、機会があればステイしてみたい。

「ヌサドゥア」はリゾートホテルが集中しており、大きなショッピングモールもある。

「サヌール」も大型ホテルの他にロングステイ用のコンドミニアムやショッピングモールあり、日本人も多く住んでいる。

クタ地区はマリンスポーツのさかんな海岸やソゴウなどのショッピングで若い人へ人気。

7. さいごに

今回は石川ご夫妻のおかげで楽しいひと時を過ごすことができました。また田中ご夫妻、国武ご夫妻もチェンマイから来られ、一緒に行動できて、あっと言う間の滞在でした。

どうもありがとうございました。

(編集：写真は裏表紙に掲載しました)

LS下見ツアーの計画と1泊バス旅行

東海支部 No840 岩田 彬

海外LS下見ツアーの計画について

19年度の東海支部年間行事の一つに、「海外LSの下見ツアー」を何年ぶりかで、実施することとしました。

これは、最近、新しい会員が増えたこともあり、その新入会員の大多数がLSを目指しておられることから、参考になれば、という理由で企画したものです。

勿論、毎月1回のサロン会でも、LSから帰られた先輩会員から詳細報告が、毎月必ずと言って良いほどなされていますので、十分海外各地の情報は得られていますので、あとは、いかに時間をやりくりして行動に移すかだけです。

そうは言うものの、やはり「百聞は一見にしかず」と言われるように、自分の目で少しの時間でも見てくれば、行動に移しやすいのではと、思われます。

そこで、企画募集に先立ち、東海支部の会員に行き先の希望について、アンケート調査しましたところ、フィリッピンとハワイが同数となり、どちらも甲乙つけがたいものがありました。が、催事担当の独断で、今年はフィリッピンとしました。

つぎは、参加者の募集であります。欲張って、ダバオとバギオの対照的な2都市を訪問することとして、それぞれ海の町と高原の町を比較することとした。

参加者の募集は9月中旬に〆切しましたが、その間、バギオの斎木支部長から多大な現地情報を頂き、またエールも頂きましたので、催事担当といたしましては、あまり少ないと申し訳ないし、あまり多くても纏めるのに大変だなと言う気持ちで、どちらに転ぶのか複雑な気持ちで、〆切まで、落ち着かないものがありました。

最終的に参加者は16名となり、予想を若干上回る希望者で、企画担当としましては、ホットしたところです。

基本日程は11泊12日のツアーですが、10名が基本日程どおりで、残る6名の方は一

部同行組、あるいは延泊組、そのままLS突入組とさまざまです。

あとは、いかにLSに参考になるツアーに出るか、またいかに楽しいツアーに出るかで

す。
これらにつきましては、今後参加予定者のみなさまのご意向を出来るだけ取り入れるとともに現地の斎木支部長のお力添えを頂きながら、いい結果が出るようなツアーに育て上げてゆき、来年も会員のみなさまから下見ツアーの要望が出来るようなことになれば幸いです。

東海支部1泊バス旅行について

東海支部の19年度の行事予定に、初めて会員の懇親を兼ねて、1泊バス旅行を企画してみました。

この19年度の企画の日程を少し繰り上げて、19年3月25(日)～26(月)に実施しま

した。行き先は、岐阜県の名湯・下呂温泉で、16名以上の場合は、専用バスで名古屋駅まで迎えに来てくれるとのこと、16名集まらない場合は混載となるとのこと。

この条件を満たすため、催事担当・総務担当の皆様へ努力頂き、なんとか16名を集め、我々だけの専用バスを確保、13時30分名古屋発で16時30頃、下呂温泉到着。

温泉に浸かり、定刻に座敷で宴会開始、宴もたけなわになり皆さん打ち解けた頃には、オキマリのカラオケが出てきて、飲めや歌えやの大騒ぎ。

部屋は、男性2部屋、女性1部屋で、男性陣はお疲れのせいから早めに全員就寝。

女性陣は、お若いせいから朝までトーク。話題は何だったか興味のあるところですが…それは「ヒミツ」とのこと。

帰りのバスの中、専用バスなので、マイクで

我々一人ずつ何でもよいから、おしゃべりしてゆこうと言うことになり、最初にマイクを持ったのが、幹事役のA嬢、今とても文章に出来ないような大胆発言があり、皆あっけにとられ、車中は一気に和やかな雰囲気になった。

それに続いて、現在の奥さんとの出会い、あるいは初恋物語やら失恋物語がつぎつぎと出てきて、A嬢の作戦は、見事、大成功。

アットという間の帰路の3時間で、それでももの足らず、丁度昼時に差し掛かったところで、バスを降りて平日サロン会に切り替えて、その続きを中華料理店で実施と相成った。



沖縄 下地島冬季滞在記録(ペット同伴)

東海支部 No.779 中田 宏

寒さを逃れて南国でロングステイがしたい。この目標を実現すべく各地を比較検討したが、我が家のお嬢様(ミニチュアダックスフント)を差し置いて我々夫婦のみ逃げ出して、不慣れた海外より日本語の通じる国内にと、昨年1月に訪れた西表島、石垣島なども候補に入れ、又、昨年同じ時期に宮古、八重山地区を詳しく調査されたNo.554 笠井さんの報告書にあった、下地島のことを知り検討を開始しました。

自然は多いが退屈するんじゃないの? と、笠井さんの意見があったが、自己責任とばかりに決心し、ペット同伴ステイをスタートしました。

期間 平成19年1月8日～4月10日

場所 宮古島市下地島

『オーシャンハウスinさしば』

<http://www.safirabu.com/index.htm>

交通 中部国際空港ANA - 那覇空港ANA - 宮古空港 タクシー - 平良港 高速船 - 伊良部島 佐良浜港 車 - 下地島の宿 自宅から8時間。ワンコも小さな檻に入れられ大変でした。この先西側には石垣島、与那国島をはさんで台湾です。



下地島は周囲10kmの隆起石灰岩からなる平な島で、伊良部島を含めて自転車で半日で1周出来るほどの小さな島です。砂糖キビ、カボチャ、タバコなどの栽培をしている。



	面積平方*	人口
宮古島市 宮古島	159.11	48,197 人
伊良部島	29.05	6,755 人
下地島	9.54	67 人

滞在した部屋

6畳洋室 + 6畳キッチン + バス+WCの1Kを借り、シングルベットを2台押し込み少々狭いが3ヶ月暮らしました。

使用料	部屋代	6.3万
	ペット代	1.5万
	調理器具借用	0.5万
	計	8.3万/月



1階中央の部屋を借りました。敷地が広くペットの散歩も好都合です。

食事

施設内にレストランがあり、1品料理、定食等を自由に注文できる。

1日3食で1名1,300円位掛かるが、今回は全て『自炊』で過しました。

今後は1K内では自炊禁止との事でした。自炊希望者には施設内に2LDKのコテージが有るが、借用料が12.6万/月と少々高く、多人数の場合は良いが??



ある日の献立

食材は地元スーパーが有り、普通の食材は調達可能です。しかし、都会の喧騒と、日頃の食材が恋しくなり、2週間に1回自転車で、船を乗り継ぎ宮古島に買出しに6回出掛けた。往復5時間良い運動（帰りの坂道がきつい！）

気候、楽しみ等

気温は最低10度、最高25度の範囲でしたがこの時期は少し雨が多い。

島内の自然満喫のサイクリング、魚釣り、海草取り、野草採集（食用）、又、施設内に農園を借りて野菜栽培も可能です。

魚釣りは磯、浜、岸壁と揃っているが、安全な岸壁から釣っていましたが、アイゴ、ガーラ、etc、日頃のおかずの足しに成るほど良く釣れました。好きな人は磯、船釣りで大物を狙うそうです。

ダイビングは宮古島周辺と共に絶好のポイントが有り、我々もダイビング体験をし、海中の様子を垣間見ました。病み付きに成りそうで楽しかった。（9,500円/人）

シーカヤックは干潮前後の潮の動きの少ない時間を狙って出発、と言っても、伊良部島と下地島との狭い海峡で、川を遡っている感覚。兩岸に迫る林を見ながら約3時間、風に吹かれて気持ちよく漕ぎ回った。ところが4時間後日焼け大根が4本出来た、向う脛出しっぱなしの報い、曇っていても南の島は紫外線が強い。皆様も注意して下さい。（4,000円/回2人）

宿舎の敷地は広くゴルフ練習ケージがあり、芝生の広場は150ヤード程度の打ち放しも可能です。我が家のワンコは大張り切り。

飽き足らない人は、徒歩10分の所に9ホー

ルの『さしばリンクス伊良部』があり運動不足解消に楽しめます。（1,800円/1Rセルフ）

<http://www.safirabu.com/sashibarink.htm>

島には航空機乗員の訓練用下地島飛行場があり、発着訓練を直下で見られます。迫力満点のタッチアンドゴーはマニアがカメラを担いで撮影していました。



又、宿舎屋上にアンテナ設置許可を貰い、自室にアマチュア無線局を開局し、日本全国のみならず海外局との交信を楽しみました。

コールサインは『JR0BHL/JR6』
南国の会のどなたかと交信出来たかな？



都会を離れ豊かな自然の中で過したい人向きです。スタッフも親切で会社の寮に入った感じでした。

総費用

往復の交通費を除くと、15万円/月で暮らしました。（ペット費用は除く）

しかし今回の1Kの部屋は、次回からは自炊が出来なくなった為、この施設での15万円/月の暮らしは難しくなります。

ペットの宿泊費が当初は2万/月、それを交渉した結果1.5万/月、2人分の宿泊費と比較して高いですね。

沖縄冬季滞在費用 集計表		
下地島滞在3ヶ月間		
通信交通費	ANA片道1.9万	133,226
食費		110,126
宿泊他		207,260
教養 娯楽		59,337
土産他雑費		58,999
小計		568,948
1ヶ月当り		189,649
ペット関係	宿泊1.5万/月 ANA片道 6千	77,275
計		646,223
1ヶ月当り		215,408

他の宿泊施設

A 民宿キャンプ村(下地島)

コテージが5棟有り、テントサイトもある。
『さしば』の前面道路の向かい側に料金4.5万/月+光熱費 ミニキッチン、ユニットバス
『さしば』の食堂利用可
連絡先TEL:0980-78-6008 さくかわ



B 沖縄本島 北谷町ワンルーム
(7.5畳にシングルベット2台+ミニキッチン+ユニットバス)、ベランダ付き、オーシャンビュー(アラハビーチ)
(有)オークプロジェクト TEL:098-936-2337
8万/月(光熱水道費、駐車場共)



北谷町は嘉手納基地の住宅街であり、アメリカナイズされた町、生活、ショッピング、遊びにと良い環境だが賃貸料も高い。

外国人向けの4LDK 3.5万/月の部屋も見たが余りにも豪華、一寸我が家には?

沖縄本島にはマンスリーマンションが多数あるが、ペット同伴OKの物件はほとんど無い状況です。同伴の希望者が多くなってきているためもっと受け入れてほしいと思っているのは、我が家だけではないと思いますが。

来年の越冬地を何処にするか計画中です。

海外で暮らす生活を選べば、我が家のお姫様と3ヶ月会えなくなり、人もワンコもどちらも寂しくて。沖縄本島離島には連れて行けるが、海外と比べて費用がかさむ。どうするものかと思案中です。



チェンマイへロングステイするまで

東海支部 No.963 末永 穰・照子

6, 7年程前から、定年後の生き方を考える様になり、季刊誌Long Stayを購読。また、新聞社主催のセミナーに参加し、マレーシアなどを下見、観光客として何度か訪れる。

2年前、夫の早期退社に伴い、当時話題になっていたチェンマイを訪れる。以来3回の短期滞在を経て、今年6月29日より長期滞在に至るまでを、簡単に述べて見ようと思う。

一回目は2年前の雨季6月下旬から1月間の滞在。前チェンマイ支部長の伊沢氏より、チェンマイ滞在の方々のコンドー訪問等、ご案内頂く。又、前東海支部長の横井氏及び支部の方々と合流、食事等ご同行頂き、入会したばかりの新米会員には有難い事だった。

二回目は3ヵ月半後の乾季11月上旬から3ヶ月間の滞在。夕方から早朝にかけ、肌寒く上掛けが無いと眠れない日があった。山歩きが趣味の私達は、ドイインタノンへのトレッキングを数回体験。山の子供達との交流を楽しむ。

山の生活は、5、60年前の日本の原風景である、懐かしい気持ちになる。世界遺産のスコータイへも足を伸ばす。相変わらず連日街を歩き廻り、飛び込みのコンドー探し。希望通りの部屋は見付からない。60日間の観光ビザで入国のため、メーサイへ延長スタンプを貰いに行く。3泊4日の日程でチェンライ周辺観光もする。

三回目は、昨年10月20日から、今年4月20日まで、6ヶ月間滞在。タイ王国のビザの方針変更により、まずビザ取得のことを第一に行動、情報も交錯しており、ペナンで取得出来るという事で、着いて間もなくペナンへ行く。ところがペナンのタイ領事館では、シングルの観光ビザのみの発給とわかり、茫然とチェンマイへ戻る。数日後、結局、チェンマイイミグレで無事取得。前半3ヶ月間、国際園芸博の開

催もあり、日本からの見学者の方々と会ったり、花博会場へ出掛けたりが多忙な毎日。後半3ヶ月間は、タイ人の方からタイ語を習う。

発音と声調で頭を悩ます。3ヶ月間で幼稚園児位まで行かない。

一月下旬から煙害とスモッグで大気が悪化。いつもはベランダから見えるドイステーブが見えない日が多くなる。雨は殆ど降らず、空気が澱んで外を歩くにも喉がイガイガ。目はチカチカ状態。道路は車優先で歩行者が青信号でもスピードを緩めず、走り去る。歩いていても、直ぐ脇を猛スピードで通る。時々身の危険さえ感じる。

ノンカイ(ベトナム料理店)でソクランも体験。住居も何とか帰国する前、チェンマイ大学東門近くに見付かり、年間契約を済ませ、一時帰国。用事と長期留守の手続きを出来るだけ早く終え、6月29日、再びチェンマイへ戻る。

日本と較べれば、まだまだ発展途上でもあり、日常生活も日本と同じようにはいかない。しかし、ここでの生活は、自己が開放され、自己責任において自由に行動できる気がする。又、日本国内では経験出来ない国際交流もあり、新たな出会い、発見があり退屈しない。現在、夫はYMCAタイ語教室に通い、ボランティアで週2回、自宅でチェンマイ大学生2人に日本語を教えている。わたくしは、CLLのタイ語と、ヨガ教室へ通い、充実した毎日を送っている。

幸い、このコンドーは環境に恵まれ、鳥の鳴き声で目覚め、大学構内を一時間散歩するのが日課の一つとなる。食事もチェンマイ大学農学部で無農薬野菜を買い、日本にいる時と変わらない生活が出来ている。嫌になったらいつでも日本へ帰れる様、自宅は其のままにして来たが、いつそうなるのか、今のところ見当もつかない。二人の呑気な性格が、ここの生活に合っているのだろう。当分は、チェンマイでのんびり生活が続きそうだ。

流れ行く、時が、呑気二人組みを日々ゆっくりと運んでくれる。

米・西海岸ドライブ

東海支部 No.570 山田 善一

5月23日(水) 12:35 名古屋発のNW A機で西海岸のPortland へ向かいました。同行者は、20年来の親友、加藤ご夫妻と、私達夫婦の4人です。加藤ご夫妻とは、これまで数えられないほど、一緒に旅をしています。

私は、1929年生まれで、77歳、妻は、1936年生まれで70歳、東海支部の最年長者です。

妻は南国に住むことを嫌っていますので、この会に入っても、私は、カーチャンピザが取れないので、南国へ出掛けられません。但し、先進国なら、尻尾を振ってついてくるので、今回の西海岸行きも、二つ返事でOKでした。

ある事情で、航空会社(NWA)から、\$500のボーナスがもらえることになり、今回の旅がスタートしました。お陰で、旅費は、大変助かりました。旅費の会計報告をしますと、つぎの通りです。(4人分)

名古屋 - Portland(往復)	¥ 66,000x 4=264,000
燃料サーチャージ	22,000x 4= 88,000
アメリカ入国税	6,850x 4= 27,400
中部国際空港使用料	2,500x 4= 10,000
合計	¥ 389,400
NWAからのボーナス (\$500x4)	- 231,200
差し引き	¥ 158,200

私達4人は、これまで何回も西海岸をドライブして、田舎の良さを知っているので、今回も田舎廻りをする事にしました。田舎の人は、日本だけでなく、アメリカでも非常に親切です。やさしい人柄です。

2週間の旅の間に、出来れば、私の3人の知人を訪ねて、再会することが願いでした。結局3人のうちの2人と再会することが出来ました。自由気ままな、アメリカドライブは、私の年齢のせいもあり、「これが、恐らく、最後のドライブ旅行になるのではないかと妻が言いますが、私は、まだまだ、これからも、無理しなければ出来ると思っています。

Portland空港には、その日の午前8時10分に到着しました。夜行便のため、どうしても熟睡することが出来ませんでした。空港到着後、早速、レンタカーHertzの窓口に向かいました。日本で予約していないので、窓口で、信頼の置けるトヨタ車、カムリに決めました。数年前に借りたときに比べて、高いのに驚きました。(2週間借りて1日あたり@¥12,249) これでもトヨタカードを使用して、10%offの値段です。

レンタカー代の会計報告です。

2週間のレンタカー代	\$552.50
保険料(フルカバーレジ)	594.16
税金、ほか	247.49
合計	\$1,394.15
	(= ¥ 171,480)

睡眠不足で、頭がぼんやりしているので、今日のドライブは、なるべく近くまでの移動に留めることにする。まずは、Portlandから、ハイウェイ84号線を東に向かう。このハイウェイは、カナディアンロッキーに源を発する大河、コロンビア河に沿っているので快適なドライブが楽しめる。100マイルほどでThe Dallesの町に入る。お昼を過ぎたところだ。ここで、モデル探しをする。適当と思われるComfort Innに入って値段を聞くと\$132/部屋という。ちょっと高すぎるけれども、リゾート地だから「まあいいか!」と決めた。結局、今回の旅で一番高い宿になった。近くにはコロンビア河が流れていて、静かなところだ。キャンプサイト



コロンビア川 (Dalles)

が近くにあり、沢山のキャンパー達が駐車していた。ここは、水道、電気、ガス等が完備されていて、さすがアメリカだ。料金を聞くのを忘れてしまった。

翌朝は、ぐっすり睡眠をとったので、全員快調そのもの。ホテルには、無料の朝食の用意がされている。パン、ワッフル、ドーナツ、コーンフレーク、コーヒー、紅茶、ミルク、ジュース、果物等がある。ワッフルは、セルフで焼く。数年前までは、ワッフルを提供することはなかったが、今は、どこのホテルも用意されている。大きなペーパーカップにワッフル用のどろどろの食材が入れて、並べてある。電気ワッフル焼き機の上に、流し込み、蓋をして上下を反対にして、タイマーの知らせを待つ。約3分で出来上がりだ。ふわふわの熱々のワッフルを紙皿に載せ、バターと、メープルシロップをつけて食べる。おいしかった。出発までの時間を、ホテルの周囲を散歩する。沢山のバラの花が咲いていて、きれいだった。

車は、ハイウェイ84号線を更に東へBiggsを左折し、コロンビア河を横断して、97号線にはいる。今回は、加藤様に運転を一手に引き受けてもらった。

私は、ナビゲーターで、地図を片手に、道路標識を見て、進行方向を指示する。運転する事に比べれば、楽な仕事だが、簡単で、難しい。

97号線の入り口で道を間違えてしまった。北上することになるので、河とは、さよならする筈が、いつまでも河が左に見える。どうもおかしい。30分程走ったところで、尋ねたら、やはり間違っていた。「これはナビゲーターの責任だ」といわれて、ステーキをご馳走する羽目になった。翌日の夕食のとき、ステーキ代金、4人分で\$46を払った。日本でご馳走するなら、大散財になるところだった。

ハイウェイ97号線は、素晴らしいドライブだった。100キロ先には、山頂に雪を頂いた山が左右に2つ見える。天気は最高だった。

澄み切った青空、大平原は、緑一色、アメリカでも田舎に来て本当に良かったと話し合った。97号線を更に北上すると、ハイウェイ82号線と合流する。Yakima市を過ぎたところで12号線に入り、西に向かう。そろそろホテルを見つけて、今日の宿に落ち着こうと思っていても、山岳地帯に入り、ホテルどころか、ガソリンスタンドも、店もない。アメリカは、広大な土地なので、ガソリンと食べ物には、気を使った。リゾート地の小さな村、Packwoodに到着した。ここは、4,320mのレイニアー山の麓にあり、キャンピングサイトがあちこちにあった。この村は、旅人以外は誰も住んでいない感じがした。ホテルも3軒程あったので、この中の比較的きれいなホテルに決めた。Crest Trail Lodgeと言う名前。(1部屋\$77×2=\$154)車の走行は、222マイル(355km)だった。

この日の夕食は、テイクアウトのピザを食べる。Lサイズを注文したら、直径50cm程の特大で、4人では、とても食べきれなかった。(\$6) キャンピングサイトの近くにガラクタ市があったので、覗いて見た。日本で言えば、ごみとしか思えないようなものばかりだった。中古のスパナ、ハンマー、スコップのこぎり、古着、陶器の人形、食器類など。

Packwoodから、12号線を更に、西へ、Mortonを右折して、7号線に入って北上、Seattle市に入る。加藤夫人がJC PennysとかSearsのデパートで買い物をしたいとの事でハイウェイ沿いのモールに立ち寄る。

明日は、知人のKenneth Johnsonご夫妻を訪ねることとする。このため、5号線を南下、Centraliaの町で、インターを降り、ホテル探し。近くのTravel Inn Expressに決めた。(1部屋\$77×2=\$154)車の走行は、159マイル(254km)だった。

5号線を20分程南下、12号を東進、Mortonの村を左折、7号線を北上し、Mineralの村に到着。ここは、小さな村だった。Johnsonさ

ん宅はこの村の中にある。彼らと知り合ったのは、20年前に、たまたま私の息子が、夏休み中、彼らの家にホームステイした時に遡る。

その翌年、今度は、彼らの息子が、私宅にホームステイした。ギブ&テイクのホームステイだった。その後、数年前に、家内と私はJohnsonさん宅を訪問した。そのときは、1泊、お世話になった。彼らの息子Brianは、成長して30歳を超えていた。20年振りの再会だった。がっしりとした体格で、口髭を生やし、私宅にホームステイしていた時の面影は、全くなかった。それもその筈で、当時は13歳の可愛い紅顔の美少年だった。

私達も1人息子、彼らも1人息子で、お互いに大事な息子達だった。

3年前、Johnsonさんから、突然E-Mailが届いた。それは、残酷な、悲しい知らせだった。息子のBrianが交通事故死を知らせる内容だった。突然の、あまりにも悲しい不幸な出来事だった。なんとお慰めしたらいいのか、言葉がなかった。Brianは独身だった。これから、結婚して、幸せな家庭を築いてゆくその寸前に亡くなってしまった。ご両親の悲しみと失望がどれほどだったのかに、思いを致すとき、涙があふれてきて止まらなかった。

我が家の息子は、結婚して、2児にめぐまれ、幸せに暮らしているというのに……。直ぐにも飛んで行って慰めのハグキングがしたかった。そして、今回、ようやく、彼らを訪ねる機会がやってきた。

前日の電話で、私達の訪問を知らせてあったので、私達を待っていてくれた。5年ぶりの再会を喜び合った。ご主人は、ショッピングで外出中だった。Johnson宅の敷地は、3エーカー(12,141 m²)あり、ほかに15エーカー(60,705 m²)の山があるという。家族は、夫婦と馬3頭、犬と猫を1匹ずつ飼っている。2階建ての母屋の延べ坪は、80坪を超える。仕事部屋と呼ぶ、コンピューターのある小屋は30坪位。馬小屋が30坪。ガレージが30坪。敷地に、

馬の運動場が用意されその周囲には、電流を流したフェンスがある。

程なくして、ご主人も帰宅し、私達4人とご夫婦で、賑やかな大集団になった。加藤夫妻もBrianが日本に滞在中は、彼に何度も会っていました。彼が、帰国する前のサヨナラパーティは、加藤宅で開かれました。

今でも心に大きな空洞があり、悲しみが去る事はない、といているJohnson夫人を慰める為Brianの話題の時は、なるべく、明るく話すように努めました。Brianのメモリーを今も、形に残すため、宅地の一角に、美しい草花を植え、追悼の言葉を刻んだ小さな石碑が作られていた。

Johnson宅は、1Fが大きな居間、書斎、次の間、食堂、キッチン、収納庫、ユティリティ、2Fがベッドルーム4、ほかに3部屋。すごく大きな家だ。フローリングは、ご主人が自分で仕上げたとか。木材が近くに豊富にあり、安く入手できるからだろう。日本ではこのような良質の木材を仕入れることさえ、不可能と思う。夫人は、美術(絵、キルティングなど)が得意で、部屋の壁を自分でデザインして、草花の絵をペンキで描いて美しく仕上げている。また、家族の写真を額に入れて壁に掛けて並べてある。両家の祖父母、両親、兄弟のもの。祖母のウェディングドレスが展示され、息子の子供の頃のセーターも飾ってある。70年前の通信販売Searsのカタログも置いてある。年代もののミシン、バスタブ、トイレ、ベッド、ベッドカバー、



Johnson夫妻と

じゅうたんなども展示してある。家の中が博物館のように、きれいに展示されていた。

Johnsonさん宅では、お昼に、ご馳走を頂いた。コールドビーフ、サラダ、スープ、果物、デザート、アイスクリームとコーヒー、紅茶だった。大ご馳走で歓待してくれた。

Johnsonさんがロス郊外にお住まいのときは、警察官だった。私の息子がホームステイしていたとき、勤務中のパトカーに乗せてもらいました。日本だったら、とても許されない事と思います。息子の話によると、その時、緊急出動し、現場に着いたとき、胸にナイフが刺さった被害者が、血を流して、道路に横たわっていたとの事で、息子はすごい体験をしました。

Johnsonさんは、その後、年金をもらえる歳まで勤務して退職した。当時50歳と思う。警察官の年金支給開始年齢は、ほかより若くリタイアしてから、家を売却して、ワシントン州の田舎（Mineral）に引越した。しばらく悠々自適の生活をしていたが、未だ若いので住宅メンテナンスの仕事を始め、商売繁盛で忙しいとのこと。私達も、仕事の邪魔にならない様に、週末に訪問をした。

「泊まっていくか？」と聞かれたが、4人もお世話になるのを遠慮して、夕方、名残を惜しみ再会を約してお別れした。暗くなる前に、ホテルを見つけて落ち着いた。King Oscar Motelは、Centraliaの町にあるキレイな宿だ。ここは、これまで、3回も泊まった事のあるお気に入りのホテルだ。（1部屋\$80x2=\$160）本日の車の走行は、123マイル（197km）だった。

車を使っているのだから、当然ガソリンの補給が必要になる。ガソリンは、5年前に比べてあまりの高くなったので驚いた。あるスタンドでは、1ガロン（4.546L）で、\$3.22だった。これをリッター当たり換算すると\$0.71 = ¥87になる。日本の¥140に比べれば安いけど以前のアメリカに比べたら、5割高だ。レンタカーの費用も高いが、ガソリンも高いので、厳しい！ただ、4人で割るので、1人当たりになれば、

割安だ。

次の目的地は、太平洋岸のOcean Shoresだ。海岸にあるシーフードレストランが目についたので、早速、店に入る。店の中は、海老や蟹の入った大きな水槽があった。皆で食べようということになり、茹で蟹を注文した。すると、店員がやってきて、水槽の中から選べという。やがて、大皿に乗った茹で立ての蟹が運ばれてきた。ここでは、蟹の味噌は食べない習慣なのか、味噌はなかった。やっぱり味噌を食べなきゃ、蟹を食べた気にならない。チップをふくめて、\$77 / 4人だった。

昼食後は、直ぐにホテル探しをはじめた。ここはリゾート地なので、多くのホテルがあった。値段が問題なので、聞いてみると、「空室は、1部屋\$180の部屋しかない」という。次々とホテルホッピングを続けたが、どこも満室で、あっても値段が高い。最後に小さいが、小綺麗なホテルを見つけることが出来た。Oasis Motel（1部屋\$131）と言う。これでも高いが仕方がないので、ここに決める。夕食は、中国料理を食べたが、ボリュームがあるので、満腹した。（\$60 / 4人）今日のドライブは108マイル（173km）だった。



太平洋海岸

この町は、2人目の知人に会うのが目的だ。Merritt Jensenさんと娘さんのJennyannに会いに行く。彼らは、Oregon州のCorvallisと言う小さな町に住んでいるが、たまたま、この時期の2週間をリゾート地のコンドミニアムに滞

在中のため、ここを訪ねた。彼は私の現役時代(1985年当時)のボスでした。職場は名古屋インターナショナルスクールで、彼は校長先生でした。数年前には、私達は、彼と一緒に車で10日間、カナダ旅行をしたことがある。彼は、今年87歳になる。耳は遠いが、すこぶる元気だ。自宅から、このリゾートまで、自分で車を運転して500km以上走行してきた。彼は、非常に優しい人柄で、誰からも好かれる好々爺である。娘さん(と言っても50歳近いが)は、日本で働いた経験がある。20年前からの知人だ。

このコンドミニアムを訪ねたとき、丁度車で出掛けるところで、運転席に座った彼に、ウィンドウをロックして、5年ぶりに再会した。遠方からの友を、彼は、暖かく迎えてくれた。前から、もう一度ロングドライブ旅行に行こうと誘われていたが、お互いに歳なので、これからは無理ではないかと思えます。

お昼に、会食をして(私達はステーキ、彼らは軽い食事)旧交を温めた。一緒に仕事をした名古屋での思い出話で、話が尽きることはなかった。ゆっくり昼食を楽しんで、お互いの健康を感謝し、再会を約した。

次の朝、リゾート地のOcean Shoresをドライブしてから、Long Beachに到着した。午後4時頃、スーパー8ホテル(1部屋\$98.50x2=\$197)にチェックイン。スーパー8ホテルは西部にチェーン店が多くあり、私のお気に入りのホテルの中のひとつだ。これまでこのチェーンには何回も泊まった。今日のドライブは116マイル(186km)

Long Beachから、更に南下、途中で、しゃれたシーフードレストランを見つけて昼食。牡蠣料理があるので、早速注文。時期ではなかったが、とてもおいしかった。(\$60 / 4人)

西海岸を南北に走る101号線を南下した。ワシントン州とオレゴン州の州境をコロンビア河が流れている。私達は、河口に架かる橋を渡った。手元の地図には、有料と書いてあったが無料になっていた。河口近くの川幅はすごく広かっ

た。木曾川と比べても3~4倍はありそうだ。101号線は、太平洋岸を走っている。西の方7,000km先は、日本があると思うと感慨深い。海岸線は一直線で、凹凸があまりない。遠州灘のような感じ。

しかし、道路が海岸よりも、高い所を走っているので、海岸を見下ろす事になり、見通しが良く、いい展望だ。美しい海岸が続いている。景色のいいところで、休憩し、写真を撮ったりした。

Newportと言う町に到着。かなり大きな町でホテルやレストランが多く見られる。今日の宿は、Newport Days Innと言うホテルにする。スーパー8ホテルよりもランクは下だが、悪くはない。オーナーはメキシコ系の人だった。(1部屋\$61x2=\$122) 今日の走行は190マイル(304km)だった。

Newportからさらに90マイル南下し、Coos Bayの町から101号線に別れを告げ、左折して42号線に入った。これまでの海岸線とは違い、山岳地帯に入る。車の通行は多くない。右側通行のアメリカでのドライブは、田舎で、通行量の少ない道路では、そんなに難しくない。今回は、運転を加藤さんに引き受けてもらったが、彼は、アメリカドライブは、何千マイルの経験があり、安心して乗っておられる。

アメリカは自動車の先進国である。運転マナーも素晴らしいの一言。日本のマナーがあまりにもひどすぎる。日本では、赤信号なのに平気で突っ込んでくる。うっかり間違えたのではなく、承知の上で信号無視する。嘆かわしい次第である。一旦停止の標識があるのに確実に止まるドライバーは、100人のうちで5人もいない。急に車線変更したりもする。

アメリカでは、このような事は、めったに無い。日本と比べて、運転がしやすい。どうしてアメリカの様に、みなでマナーを守らないのだろう。無理な運転をしなければ、交通事故も少なくなる。一人でも、交通法規を確実に守って、素晴らしい国にしようではありませんか。

やがて、ハイウェイ5号線（通称アイファイブと呼ぶ。）と交差する。「Interstate highway 5」を略して、最初のIと最後の5を縮めた通称です。しばらく5号線を北上し、次に138号線へ左折し、東進する。昼食を済ませ、ガソリンを入れて一休み。このあたりから、山のなかに入ってきた。このままでは、ホテルが見つからないかも知れない、と心配になる。戻って5号線沿線で探した方がベターかも。ここで救いの神が現れた。ホテルが見つかった。小さなホテルで、外観も良くないが、この先、無いかも知れない。もう選択の余地はない。ここに泊まる事にする。

Idleyld Park Dogwood Resort Motelという。（1部屋\$60.50x2=\$121）走行は202マイル（313km）。山の中のホテルに決めたのはいいが、近くに食堂はないという。オーナーに聞くと食堂は、15マイル先、5マイル戻れば小さな雑貨屋という。仕方なく、戻って雑貨屋でハンバーガーをテイクアウト、夕食にした。

ホテルの裏に回ると、池があり、緋鯉が20匹くらい泳いでいる。オーナーは、これらの鯉が自慢で、「私は、鯉の審査員をしている」「日本にも何回か出掛けたことがある」という。「この中の1匹は、過去に優勝したことがある」とか。50歳代のオーナーは、独身のように山中の小さなホテルを一人で経営している。近くに住む人はいないので、静かな環境で、自然の中で長生きしそうだが、私達には、1週間住むだけで根を上げそうだ。

夕食後、シャワーを浴びようとしたら、冷水しか出ない。仕方なくシャワーは諦めた。

翌朝、朝食が無いので、15マイル先の食堂に向かう。ところが、行けども、行けども、食堂がない。60マイル以上走ったが、山の中を走るだけだった。もう少しで、以前訪れた事がある、クレーターレーク国立公園のロッジに着くので、そこを目指すことにした。

この日は5月31日だった。クレーターレークは、1,850mの山の上にあるので、道路の雪が心配だった。幸いなことに、道路の除雪が済

んだところで、大丈夫だった。

一面雪景色の中を車は進んだ。ロッジの食堂は、幸いにもオープンしていた。遅い朝食を午前10時頃とった。空腹だったのでとてもおいしかった。食後のコーヒーも格別だった。

クレーターレーク国立公園は、これで、3度目になる。初めて訪れたときは、湖の美しさに思わず歓声を上げた。今回の雪の湖も捨て難い。道路がオープンしたばかりで、観光客の数が少なかった。何度来てもいいところだ。機会があれば、また来たい。



クレーターレーク国立公園（湖）

クレーターレークにサヨナラし、138号線から97号線に入り、北上する。南北に走る、このハイウェイは、道幅も広く、非常に走り易い。先ほどまでの138号線とは、雲泥の差である。大平原の中をスイスイと快適なドライブができた。広大な大地を気ままにドライブして、生きている幸せを、五感のすべてで感じとった。相当の距離のあるBend市までも、予想より早く到着した。Bend市から左折して126号線に入るつもりだったが、気づかぬ内に次の市Redmondに到着した。今日の宿はBest Western Rama Innに決める。（1部屋\$106.70x2=\$213.40）200マイル（320km）の走行。

Redmondから、126号線に入り、更に、20号線を西に向かう。大きな樹木の森林地帯を抜けて、西へ、西へ。Sweet Home市を抜けてHolleyの町に近づいたとき、車を運転していた加藤さんが、赤い警告ランプに気がついた。

早速、車を停車し、確認すると、要メンテナンス (Maintenance required) と書いてある。このまま近くの営業所まで走ってもいいのか、とHertzに電話する。「今どこにいる?」「5号線の216インターの近く」と答える。「これから返車するまで、500マイル以上走るか?」「あと5日あるが、300マイルも走らない」と答える。

「では、そのまま乗り続けてもかまわない」「返車のとき、その旨、申し出てください。こちらからも連絡しておく」との話で、やれやれと一安心する。以前、フォードのトールスに乗ったとき、オーバーヒートしてしまい、それ以来、心配だった。そのときの車は新車に近いのに故障してしまった。私の乗ったアメ車が、たまたま不運だったかもしれない。以後は、アメリカでは、日本車に乗ることにしている。

今日は、Eugene市で宿を取ることにし、5号線を南下し、South EugeneのMotel 6に決めた。(1部屋\$61.60x2=\$123.20) 走行は、162マイル(259km) このホテルは、ハイウェイの直ぐそばで、車の騒音がひどかった。フロントの若い女性も無愛想で、2度と泊まりたくない。夕食は、ホテルの隣にあるデニーズで、フライものを食べた。ここのウェイトレスは、愛想が良かった。(\$40 / 4人)

Eugene から5号線で、Portlandに向かうと、面白みに欠けるので、これと平行に走る、99号線Wを北上することにした。この線は、期待した通り、変化に富んだ道だった。平原の中をはしり、牧草地が多かった。大規模のスプリンクラーが作動し、移動しながら給水しているのを、あちこちで見かけた。また放牧されている牛や羊が多くいた。田舎町には、立派な建物の教会があり、ローカル空港もある。

Corvallis, Albany, Monmouthなどの小都市を通過し、今日の宿となるMcMinnvilleに到着する。Best Western Vineyard Innにチェックインする。(1部屋\$105x2=\$210) 今日の走行は129マイル(206km)

McMinnvilleは、Portlandの衛星都市である。後、100kmも走ればPortlandに着く。Delta航空が、以前は、名古屋との間を運航していたので、Portlandは懐かしい都市である。

後2泊で帰国になるので、そろそろ、お土産のショッピングが必要だ。Portland市に入り百貨店も多くあるロイドセンターのモールに駐車して、買い物する。この近くにあるダブルツリーホテルは、これまで、何回も宿泊しているホテルなので、今回もと思って、値段を聞いてみた。一室\$180だった。私達には、一寸高すぎるので、諦めた。今日の宿は、空港近くのホリディインに決めた。(1室\$110x2=\$220) 走行は66マイル(106km)

翌日は、Portland市内観光をして、スーパー8ホテルに宿泊(\$85.50x2=\$171) 走行6マイル(10km)

最終日は、Portland 発 14:40のNWA機で帰国した。

ある事情で、ノースウエスト航空から、\$500のボーナスを入手した、と書きました。この話をお伝えしましょう。それは、昨年11月にNW便で、ラスベガスに旅をしたときのことで、ベガスの滞在を終え、空港からロス乗り換え、成田行き便に乗り、滑走路に向け走りだしました。ところが、途中で、止まってしまいました。約30分経った頃、アナウンスがあり、「コンピューターの故障で、飛びたてない。乗り継ぎ便には、連絡してあるので大丈夫だ。」とのこと。その後も、一向に動く気配はなく、そのまま、機内に約2時間閉じ込められたままでした。(まもなく修理が終わるので、テイクオフします)のアナウンスがあった時は、3時間を過ぎていました。

待ちくたびれた後の飛行だったので、「やれやれ」とほっとしました。3時間以上も遅れたロス空港に、乗り継ぎ便が待っている幸運は無く、乗客は、チケットカウンターに向かう。ここで、受けた説明は「本日、成田行きのすべての便は、出発した後であり、明日の飛行機を用意します。但し、ロスから成田行きの直行便はすべて満席

のためPortlandで乗り継ぎになるので、了承して欲しい」「本日は、空港近くのヒルトンホテルを予約し、夕食も用意しました」「勿論、無料です」「明日の朝、ホテルから空港行きのバスを用意するので、このバスに乗車して欲しい」「大変ご迷惑をお掛けしましたが、お詫びとして、お一人\$500のクーポン券をお渡ししますので、1年以内にクーポンをご利用下さい」

この日は、こうして、NWAの用意したバスに乗りホテルまで送ってもらいました。

以上が、\$500のクーポンチケットをもらった理由です。何回も、海外旅行は、していますが、このような経験は一度もありません。どうせ、暇のある私達なので、文句もありません。でも、本当に忙しい人だったら大変なことになるでしょう！

これまで、20数回訪問したアメリカだが、又機会があれば、是非戻ってきたい。

タイ語 日常会話とっさの一言

東海支部 No.487 横井 保夫

タイ(バンコック、チェンマイ、プーケットなど)が南の会で人気のあるロングステイ地です。タイ語を少しでも話せれば楽しさが違ってくると思います。すでに経験を積んで、この程度なら知っている方は読まないでください。あくまでこれからタイに行くことを考えておられる方にどうぞ、と思って書いています。

さて、“タイ語の日常会話でとっさの一言”をあげよと言うなら私の場合、“マイペンライ”を除いて他にありません。タイ人はこの言葉を日常本当に色々なケースに使います。

この言葉は英語で言えば“Never mind”ですが、“I never mind”であると同時に、“You never mind”ということで、“私は気にしないからあなたも気にしないでね”と、いった具合でここから色々な使い方に派生してゆきます。

“すみません(コートルー)”に対して“どうい

たしまして”、“お元気ですか(サバイデーマイ)”に対して“大丈夫、なんでもありません”(本当は体調あまり良くななくても)でも“マイペンライ”と言ってしまいます。

自動車をぶつけても お互いに“マイペンライ”を交わせば、和気藹々交通事故も一挙に和解。つまり、人間関係を波立たせないように気を使う優しいタイ人の言葉であります。

“AboutでOKなら 100%OK”なんです。便利な言葉ですので大いに使ってください。これと同じような言葉は、インドネシアでは、“ティダ アパアパ”、マレー語では“タ アパアパ”。日本にもありました、関西弁“カメヘンカメヘン”名古屋弁ではさてなんと言うのでしょうか。

“マイペンライ”の次に上げられるタイ語とっさのひとことは、タイ人が好む“3S”です。

SAWADEE = サワデイ (こんにちは)

SAVAIDEE = サバイデー(気持ちが良い)

SUWAEE = スウィー(美しい)これを女性に言いますと、顔を赤らめて“コックン カア”が返ってきます。

次に言われるとっさの一言は、“アロイ = 美味しい”です。

アロイ マイ? 美味しいですか?

マイ アロイ = 美味しくない(まずい)

食堂に行ったら先に来て食べている他の人のものが美味しそうに見えたら遠慮せずに“アロイ マイ?”。決してタイ人おこりません。

次に言われるとっさの一言は“ローン = 暑い”(常夏の国です)。

反対の涼しい = ジェーン

気候だけでなく、“チャイ ローン”心が熱い、すなわち気持ちが“短気で怒りやすい”。

“チャイ ジェーン”気持ちが落ち着いている状態。試合の応援に“チャイジェーンジェーン!” ついでに

“チャイ デイー”良い心、つまり“親切”と

か“優しい”

“チャイ ダム”心が黒い、つまり“腹黒い”
があります。

喫茶店で 暖かいコーヒーは“カフェローン”
冷たいコーヒーは“カフェジェーン”

次に言われるとっさの一言は“コートー = ごめ
んなさい”です。

これを一番よく使うのは おそらく日本人でしょ
う。日本人は、“すみません、ごめんなさい”
を連発しますが、タイの人は日本人ほど“コー
トー”を使いません。

なぜなら、この言葉の後には“責任をとります
よ”が隠されているからです。

次に、とっさの一言ではありませんが基本的
なことを理解しておいてください

(1) タイ語は全ての単語は5音調があること、
すなわち、高い、中くらい、低い、上から下
へ、下から上に

(2) 男はサワディー クラップ、女はサワデ
イー カアというように、丁寧な言葉の最後
には男がしゃべった後に クラップ(実際には
カップに聞こえる) 女がしゃべった後に
カア(からすの鳴き声と同じ)

(3) 動詞には英語のような時制は無いが未来
/意志にはチャを前につける“チャ パイ”
WILL GO = 行くだらう。現在完了と過去に
は後ろにリャーオをつける“パイ リャ
オ”行ってしまった。過去の経験(したこと
がある)は前にコーイをつける“コーイパ
イ バンコク”(バンコクに行ったことがあ
る)

(4) 数字を覚えよう(買い物、値段交渉に必
要)

0 = スン 1 = ヌン 2 = ソン 3 = サーム
4 = シー 5 = ハー 6 = ホック 7 = チェ
8 = ペッ 9 = カウ 10 = シップ 11 =
シップ エッ 12 = シップ ソン
13 = シップ サーム

以下シップの後にシー、ハー、ホック、チェ
ペッ カウとって 20 = ジーシップ。

30 = サームシップ 40 = シーシップ

100 = ヌンロイ

1000 = ヌンパン

10,000 = ヌンムン

100,000 = ヌンセン

1,000,000 = ヌンラーン

となります。

たとえば357,500パーツは、

サムセン ハームン チェッパン ハーロイ
パーツ となります。

(5) 場所(ここ、あそこ、あっち)を覚えよう
ここ = ニー、あそこ = ナー 遠くの方 = ノー
ン

(6) 今日は何月 何日 何曜日

“ワンニー ドウアンアライ ワンアライ
アティットアライ”

(7) 基本挨拶言葉

こんにちは“サワデイ”

ご機嫌いかが(お元気ですか)“サバイディー
マイ?”

ハイ元気です“サバイディー”

又合いましょう“ポップガン マイ”

ごきげんよう“チョーク デイー”

(8) YES “チャイ” NO “マイチャイ”

(9) 買い物で、

これいくら“ニー タオライ”

高い“ペーン” 安い“マイペーン”

又は“トウク”

まけてください“ロップ ダイマイ?”

(10) ゴルフ場で、

ナイスショット“スワイ マーク!”

(very beautiful の意)

グリーン上で、

右“クア”

左“サーイ”

登る“クン”

下がる“ローン”

チョロを打ったとき“オットットット”(これ
は冗談)

以上、マイペンライの文章になりました。

でもマイペンライですよ。 終わり。

イギリス滞在記

北海道支部 No.625 工藤 俊一

若い頃から一度は訪れてみたい国だったイギリスに行く機会がありました。

本会では、南国でもないし、ロングステイ適地の話題に上っている国でもないの、あえて書く意味もないと思いつつ、僅か2週間でしたが、滞在する機会がありましたので、何かの参考になればと思い、気づいたことを書き綴って見たいと思います。

実は、縁があって長女がイギリス人と結婚したのが2006年9月。式はハワイで挙げたので、その

ときはイギリスに行くことはなかった。

向こうの両親と



は、数度お会いしたが、いずれも日本訪問時でしたので、こちらからはイギリスへは一度も出かけたことはありませんでした。まもなく一年が経とうとしているのに、向こうの両親の家も、場所もよく知らないし、この度機会を作ってご挨拶方々、新居も見ながら、ロンドン見物をしようということで、計画を立てた次第です。

さて、旅程は2007/5/24 出発の6/9 帰国の予定でインターネット検索、条件に合致したキャセイパシフィック航空で行くことにした。

この旅程にそって、エイチ.アイ.エスに見積もりをしてもらい費用は次のように決まった。チケット代金(札幌-香港-ロンドンのヒースロ)往復 109,000 円、航空保険料・燃料サーチャージ等 16,920 円、イギリス出入国税等 27,600 円。

結局一人 139,720 円になりました。札幌出発香港経由は、成田、関空経由より時間がかかりますが、費用の点からこちらを選択しました。

それにしても飛行時間トータル約15時間オーバーは、結構苦痛でした。

さてホテルはどうしたかという、ロンドンのホテルは日本円で2万位では、日本のビジネスホテルより良くないという娘の助言で、今回はすべて娘の住居と、ご両親の住居にお世話になることにして、出発しました。

へとへとになってロンドンヒースローへ到着。娘夫妻の車で新居へ。

娘夫婦は、ロンドン中心部より僅か北の郊外のハムステッドという街の背後に豊かな自然を残した美しい住宅地に住んでいる。地下鉄の駅を中心に何本もの通りが緩やかな起伏の中に広がり詩人キーツにゆかりの通りや建物、18世紀のタウンハウスが整然と並んでいる静かな街である。その一角のアパートに娘たちの新居があり、ここで、当分お宿をお願いすることにした。

彼らの住居はワンルームの一室、庭付きと言いながら家族4人が寝泊りするには、かなり窮屈な感じである。結局その狭い部屋の、ロフト(屋根裏部分)に娘夫婦、われわれは、下の折りたたみベッドとソファでなんとか寝ることにした。貧乏性の私たちには高額な料金でのホテル住まいは、考えなかったのである。さてこの程度の広さの一室の一ヶ月の家賃が日本円で20万と聞いて、こちらの物価の高さにびっくりさせられました。地区によってはまだ安いところもあるよう

ですが、職場から遠くなるか居住区域の治安に不安があるなど、



なかなか希望通りの物件が見つからないのが、こちらの住宅事情のようです。一軒家を買おうとすると数十年のリフォーム住宅で5,6千万円が相場とか？ またまたびっくりしてしまいました。

家内はロンドンの例年の気温を予想して、ほぼ日本の東京並みの服装しか用意してなかったので、この時期の毎日降る霧雨と気温の低さにはほとんど閉口しました。日本から持っていった風邪も良くなるどころか、毎日せきとくしゃみの連発でとうとう家内、娘にまで風邪をうつしてしまうことになった。彼らは、寒さと霧雨の中、毎日のように車、地下鉄、バス等の交通機関を使って、市内の主なところをいろいろ案内してくれました。観光の先々で感じたことは、さすが7つの海を支配した国ということをつくづく思い知らされることばかりでした。

大英博物館一つにしても、到底一日で見る事が出来ない規模の大きさと、展示の豊富さ、ロンドン名物のダブルデッカー（2階建てバス）にも乗って市内観光をしたが、見たいところが沢山ありすぎて、到底短期間の滞在では無理であるとの印象を受けた。従ってわれわれは、ほんのスポットしか見られませんでした。

交通機関は、バス、地下鉄、タクシー等の陸の交通網も然りながら、テムズ河を運行する定期便も多数ある。ウエストミンスター、チャリングクロスといった市内の船着場から対岸のサザークやロンドン塔などの観光地へ定期船が運航している。話の種？ではないがクラシックなタクシー、通称ブラック・キャブにも乗ってみた。料金は日本並み。初乗り料金は日本より安いですが、短い区間でメーターがどんどん上がり、目的地が遠ければ結局は結構な料金になるようだ。日本と違ってオートドアではなく、後ろ3人、対面して2つの補助椅子が折りたたんであり、5人乗れる。強盗よけなのか、運転手と客室は硬質プラスチックで仕切ってあり、お金をやり取りする手の入らない皿状の物が仕切りの間にあり、そこから料金お支払い、つり銭の受領を行う。防犯上必要な仕掛けなのだろうが、あまりいい気持ちにはなれない。

物価についての印象は、税金が高いせいもあり、当時1ポンド（ユーロ圏であるが、通貨はポンド）が243円くらいということもあったせいか、すべてが日本より高いという印象を受けた。品物は日本食を含め何でもあり、手に入る。また各国の料理店が多数ある。何かの記念日、又はおいしい料理が食べたくなったら、好きな国の好みの料理を手軽に楽しむことができるようだ。但し、味が一流なら料金も一流と覚悟した方がいい値段の店が多い。ここまで来て、寿司を食べに行くのもどうかと思っただけ日本料理店で寿司を食べたことがある。おいしいと評判だと案内してくれた彼には悪いが、2度と食べに行きたくない寿司だった。料金だけは一流に取られた。寿司を握っていたのは確かに日本人だったが…。

私はタバコを吸わないが、タバコ一箱が5ポンドには仰天した。朝食も高いサンドイッチとハム、コーヒーで5ポンド。そのあたりの軽食堂での値段である。風邪の状態がひどくならないようにということで、彼の両親の住むサンドイッチという街まで、車で移動したが、途中軽油（ジゼル車）を入れてまた驚いた。一リットル日本円で200円。ガソリンだともっと高い。彼の話だとロンドン是世界一ガソリンが高いと聞いていたが、本当だろう。彼の両親の歓待を受け広い一部屋を提供してもらったお陰で風邪も良くなった。

歴史と伝統の国、桁外れな大きな公園、英国皇室の開放性、そして数百年は建っている建造物や住宅。

日本の木の文化とは違った、レンガ、石の文化と民族構成、どれも



が私の興味を引くものばかりであるが、この国の物価高と、春から夏にかけての気候の悪さでは、私の中では、長期滞在の地としては、相当後ろの順番になるのは明白である。

キャメロン・ハイランドについて (チェンマイと比較しながら)

関東支部 No.1081 川本 雄二

私は一昨年に早期退職し、念願のロング・ステイを家内と始めています。15年くらい前から、こういう生活をするを念頭において、世界各国を見て回った結果、当面のステイ地をチェンマイとキャメロン・ハイランドに決めました。総合的にはチェンマイの方が好きですが、チェンマイの暑期の暑さや煙害を避け、日本の寒さと花粉症から逃げるために2月から4月はキャメロン・ハイランドにステイしています。チェンマイには6月から8月と、10月から12月にステイします。残り3ヶ月は日本に帰国という渡り鳥生活です。

さて、キャメロン・ハイランドを紹介するにあたっては、南の会の多くの方に人気のチェンマイと、両地を比較しながら書いてみます。

【概要】

キャメロン・ハイランドはマレーシアの首都クアラルンプルの北方200kmに位置し、標高1400mの高原リゾートです。赤道に近い土地ですが、気温は年間を通して15 から25度であり、ちょうど過ごしやすい気候に恵まれています。原生林(ジャングル)に囲まれて、おいしい空気がなによりのご馳走です。逆に言うと、小さな村のため、日本食レストランも1軒のみ、ゴルフ場も1箇所のみ、ネオンすら無い品行方正な土地柄のため、男性一人旅よりも夫婦のシーズン・ステイヤーが圧倒的に多く、そのあたりがチェンマイの状況とは大きく異なります。夫婦で避暑避寒を兼ねて、ゴルフ合宿のノリでゴルフ三昧すると割り切れば、なかなか良い土地なのかも知れません。年に9ヶ月以上、滞在している本当のロング・ステイヤーはたった20名程度で、日本の夏と冬の2 - 3ヶ月間のシーズン・ステイヤーが大半で、かつその大

半は夫婦でゴルフ三昧です。

長期滞在している日本人の中で領事館に在留届を提出している人だけでも、2500名もいるチェンマイとは比較になりません。キャメロンはロング・ステイ地というよりも、避暑避寒のためのシーズン・ステイ地というのが実態です。

当地は、マレーシアがイギリスの植民地だった頃、イギリス人によって開発された高原リゾートで、現在は、バック・パッカー向けのゲスト・ハウスから5つ星ホテルまでの施設を擁し、近くは国内やシンガポールから、遠くは欧米諸国から多くの旅行者を引き付けています。日本からも1月 2月および7月 - 8月は300名くらいのシーズン・ステイヤーが避寒、避暑を兼ねて押し寄せます。野鳥や蝶の愛好家にも人気があり、野生の花々は四季の花が同時に咲いているという珍しい土地でもあります。例えば、ユリ、コスモス、ブーゲンビリア、蘭、ポインセチア、日光キスゲ、などなどです。



ジム・トンプソン失踪の地、月光荘

また、タイのシルク王であり、米国CIAのスパイでもあったジム・トンプソンが謎の失踪をした地でもあり、これを題材にして松本清張が『熱い絹』を著しました。

ここは、いい気候です。さわやかです。空気がおいしいです。でも、村です。



野生の蘭

【民族、言語、宗教】

チェンマイの主要民族はタイ人ですが、少数山岳民族や欧米人や日本人／中国人などのアジア人からなるコスモポリタンの雰囲気を持ちます。主要言語はタイ語ですが、英語もそこそこ通じます。ただし、キャディーやマッサージ嬢、市場の売り子やドライバーなどにはなかなか英語は通じません。こういう方々と会話したいと思っている日本人は比較的熱心に、タイ語を学ばれているようです。

キャメロンにはマレー人と中国人とインド人とが共存しています。日本の冬や夏のシーズンには日本人も目立ちますが、1年を通して相当数の欧米人旅行者が訪れます。ここも、ミニ・コスモポリタンです。

マレー人同士はマレー語、中国人同士は広東語、インド人同士はタミール語で会話しますが、民族間をまたがった会話は英語です。ただし、当地の英語はかなりブロークンなため、片言の英語でも努力すれば通じます。

タイは仏教国のため、チェンマイも同様に日本人には馴染み深いです。でも、少数ですが、キリスト教徒やイスラム教徒がいます。

キャメロンは民族毎に宗教が異なります。マ

レー人はイスラム教、インド人はヒンズー教、中国人は仏教、道教です。そのため、こんな小さな村の中にモスク、ヒンズー寺院、仏教寺院、道教寺院、キリスト教会があります。皆さん信心深いです。マレーシアはイスラム教国家ですが、信教の自由は認めています。また、キャメロンには未だにジャングルの中で生活するオラン・アスリ（アスリ族）と呼ばれる原住民が存在し、政府は彼らの定住化促進政策を進めています。ゴルフ場のキャディーは全員がオラン・アスリの男の子たちです。

【住宅事情(コンドミニアム)】

チェンマイとキャメロンの住宅事情はかなり異なります。

チェンマイの主な特徴は

- ・ワンルーム・タイプが多く、1 LKや2 LKの物件が少ない。
- ・外食文化のため、台所付物件が少ない。(DKは皆無に近い。あってもLの中に小台所がある)
- ・バスタブ無しのシャワールームが多い。
- ・家電、調理器具、食器などを完備している所は少ない。
- ・2 - 3ヶ月の短期契約は歓迎されない。

一方、キャメロンの特徴は

- ・3 LDKが基本構造。つまり、3ベッドルーム、2バスルーム、リビング、ダイニングキッチン。
- ・旧正月やスクール・ホリデイの時に、家族郎党引き連れた10人以上の避暑客にも対応している。
- ・1週間単位の契約も受け付ける。2 - 3ヶ月は大歓迎。
- ・フル・ファーニッシュ。家具、家電、調理器具、食器などは普通完備されている。
- ・バスタブ無しのシャワールームが多い。

さて、お値段ですが、

チェンマイの場合、もちろんピン・キリです。ワンルームであれば、15,000円/月もだ

せばかなりいい物件があります。1LKは20,000円くらいでもありますが、最近、新築されている物件は4-50,000円と、高騰気味です。2LKは30,000円くらいでもありますが、100,000円を超える物件もあります。家具、家電、調理器具、食器などを完備している部屋は当然高めです。上記値段には、光熱費やケーブルTV価格は含まれていません。

キャメロンの場合は、

上記、3LDKの場合で、40,000円から60,000円/月くらいです。この値段には光熱費やケーブルTVの価格が含まれています。この値段は残念ながら日本人価格です。地元の方の価格の2-3倍が相場として定着してしまっています。

【レストラン、食事、食材】

これは、文句無く、チェンマイに軍配が上がります。チェンマイのレストランは多彩でおいしくて安いです。タイ料理、中華、ベトナム料理、イタリア料理、フランス料理、ドイツ料理、インド料理、日本料理など世界中の料理を楽しめます。日本料理屋は50店以上あり、競争が激しく、我々ユーザーは比較的リーズナブルな値段でまずまずの和食が食べられます。無論、美味しくて安いタイ料理は、いたるところで食べられます。食材も豊富で、安くておいしいです。

野菜やくだものは多彩です。キュウリ、ホウレン草などタイ産の日本の野菜も売っています。米もタイ産の日本米がとってもおいしくて安いです。食肉は牛、豚、鳥とあり、大変安く手に入ります。生魚は近郊で養殖されている淡水魚の中に鯛に似た魚があり、口にありました。カニは、大変おいしいですが、高いです。エビもおいしいです。冷凍魚はサーモンやウナギがおいしいです。高いですが。マグロ、サーモンなどの冷凍ものを解凍すれば、サシミもいけます。日本食材は大変豊富で何でも揃いますが、輸入品は高く、タイ産の日本食材は安いです。レストランが安いので、輸入食材を使って自炊する

方がかえって高くつくかもしれません。ビールも安くて美味しいです。ただし、輸入物の洋酒は高いです。

一方、キャメロンですが、はっきり言って、食事はあまりおいしくありません。何よりも、気圧が低いせいで水の沸点が低く、お米がおいしく炊けないハンディーがあります。また、魚は毎朝、海辺から運ばれて市場に入荷しますが、冷蔵冷凍技術の問題なのか、エビとイカ以外の魚でおいしいと思った魚はありません。イスラムの国ですが、中国人が多いため、豚も食べられません。これはマズマズです。野菜は豊富ですが、農地が肥えていないため、日本のような洗練された野菜とは質が違います。日本の市場には決して出荷できないようなレベルの野菜も出回っています。水栽培の高級野菜は地元では消費されず、クアラルンプルのデパートあたりに出荷されます。ただ、ゴボウやレンコンや山芋など、日本人向けの野菜も手に入ります。日本の食材を売っている店は1軒ありますが、調味料関係が中心で、チェンマイの品揃えとは比較にはなりません。冷凍物の魚や鳥など、重宝する食材も少しあります。

レストランの種類は、マレー料理、中華料理、インド料理が主です。日本料理屋も1軒だけありますが、チェンマイとは比較になりません。また、酒飲みにとっての大きな問題はビールの値段の高さです。ベストセラーのタイガー・ビールはスーパーで買っても、缶が170円もしますから、チェンマイの倍(ものによっては倍以上)です。レストランでは缶ビール1杯が350円もする店もあります。レストランでビールを少し飲むと、料理代と同じくらいになってしまいます。キャメロンでは食事は期待しない方がよいと思います。でも、自炊をしている方は限られた食材を活用しながら創意工夫して美味しい食事を作っています。奥様次第ということでしょうか。奥様が海外に来てまで自炊したくないと言うケースや、独身男性の場合は諦めですね。

【気候】

キャメロン高原が与えてくれる最高の贈り物は気候だと思います。食事がまずく、何も無い村ですが、気候だけは素晴らしい。年間を通して、15 から 25 と安定した気温で、雨季と乾季がありますが、日本の夏と冬の季節はちょうど当地は乾季にあたり、雨が降ってもスコールのため、短時間で止みます。寒がりの方にとっては、少し寒いようですが、私にとっては極めて快適な気候です。タクシーやトラックなど古いタイプの車両が走っていますが、台数そのものも少なく、周りが原生林に囲まれているため空気が綺麗です。喘息の方も当地に来ると体調が良くなるそうです。

一方、チェンマイですが、乾期(11月 - 2月)と雨期(6月 - 10月)と暑期(3月 - 5月)があるようです。乾期はベスト・シーズンで気温が下がり、過ごしやすくなり、雨も降りません。寒さから逃れるために来る欧米人などの外国人が増えるため、ホテルなどの料金も値上がりします。韓国からの団体さんがゴルフ場を埋める場合もあるようです。また、雨が全く降らないことが逆に災いして、空気の汚染が進行し、ソントウやトクトクなど、窓ガラスの無い乗り物に乗る時は、汚い空気の洗礼を浴びてしまいます。また今年の暑期は煙害が日本でも報じられるくらいひどい状態だったようです。私はその間はキャメロンにいました。雨期はオフ・シーズンですが、雨期は日本の夏よりも過ごしやすいです。雨は毎日のように降るものの、スコールのため、夕方や夜にザット降るパターンが多く、意外とアウトドア・スポーツができます。私はチェンマイの雨期が好きです。

【交通】

キャメロン・ハイランドへはクアラルンプルからバスかタクシーで移動します。

KLIA (空港) からは 250 km ですが、最後の 1.5 時間の山登り以外は高速道路が利用でき、4 時間足らずで到着します。タクシー代は 10,000 円程度、バス代は 1,000 円程度です。タクシー利用の場合は、ほとんどの

人はキャメロンの運転手を手配します。現地では、タクシーが安く利用できるため交通の不便を感じることはありません。

一方、チェンマイの国際空港は世界でも珍しいくらい、ダウンタウンから至近距離にあります。空港からダウンタウンまではタクシーで数百円で移動できるという便利さです。現地ではトクトクという 3 輪タクシーやソントウと言う乗り合いタクシーが数多く走り回っているため、不便さは感じませんが、ちょっと郊外へ行く時や、ゴルフ場へ行く時は工夫が必要です。

【ゴルフ】

チェンマイには多くの立派なゴルフ場があります。ここではランナー・ゴルフ・クラブを例にとって紹介します。

ランナーはほぼダウンタウンの中にあるため、自家用車を持っていなくても、トクトクや赤ソントウでも行きやすい距離です。メンバーでなければ、グリーン・フィー (ビジター料金) はキャディー・フィー込みで 3,000 円を超えます。(ゲスト料金はもう少し安い) メンバーであれば 1,000 円程度で回れます。ただし、ランナーの会員権の入手は簡単ではないようです。新規発行をしておらず、かつ、外国人は外国人間でしか転売買できません。ランナーの会員権はここ 1 年間で 2 倍以上に値上がりしたようです。今では、30 万バツ以上の価格で売買されていると聞きます。コースは距離がしっかりあって、戦略的で、私にとっては大変難しいコースです。日本の短距離コースとは全然違



ゴルフ場風景

います。しかし、アップ・ダウンがほとんど無く、かつ、キャディー帯同が必須で1対1で付くため、そう言う意味では楽かもしれません。

一方、キャメロン高原にはゴルフ・コースはパブリックがひとつあるだけです。

こちら距離がしっかりあり、かつ、アップ・ダウンが非常に激しく、山登りのようなホールもあります。キャディーをつけるかどうかはオプションです。セルフでバッグを手で引いて回ると、結構いい運動になります。重いカートを引き張りながらトレッキングをするようなものです。グリーン・フィーは900円で回り放題です。ただし、日本人会に入会し、メンバーカードの取得が必要です。これが無いと料金は2倍になります。少しお金を払えば、ゴルフバッグを事務所で預かってくれるため、往復が楽です。ほとんどの日本人は預けっぱなしです。コースはチェンマイに比べると整備の質は劣ります。グリーンが特に、今一歩と言えるでしょう。フェア・ウェイもラフのような所や芝がほとんど無い所も部分的にはあります。キャメロンではゴルフ・コースに歩いていける程、近くのコンドに住んでいる方もいますが、大半は4km離れた町のホテルかコンド住まいで、そこから、バス(30円)かタクシー(130円)で通っています。

【番外編：男と女】

意味深なタイトルですが、おまけとして、マレーシア人とタイ人との男女の特徴を私の印象をベースとして比較してみました。

マレーシア人は男尊女卑です。イスラム教が一夫多妻制を認めていることから想像できると思います。同時に複数の妻を抱えている男性は少ないようですが、夫は一方的に三行半を妻につきつける事ができるため、夫の意思で妻を容易に交換できますし、そうしている男性は珍しくありません。ゴルフやテニスといった遊びも男性達のもので、服装も男性は自由ですが、女性はズボンまたは長いスカートに長袖シャツそしてスカーフで頭を覆わねばならず、顔だけしか露出できません。アラブ女性のように真っ

黒の装束、場合によっては、顔までを黒で覆うほど厳格には規制されていませんが、女性のオシャレ心には制約がかかっています。私はマッサージをしてもらいに、良く美容院に行きますが、美容院で中国人やインド人の婦人の姿は見ますが、マレー婦人は見た事がありません。マレーの女性は気の毒です。ただし、一方的に離婚させられた女性は子供とともに国家が生活の援助をしているようです。いずれにしろ、マレー人男性にとって、マレーシアは男性天国であり、マレー人女性にとって、マレーシアは、外部の人間から見れば、かわいそうな国です。ご本人達が、どう思っているかは定かではありませんが。また、例えば、マレー女性と日本人男性が二人きりで同じ部屋にいたというだけで、宗教警察に逮捕され、犯罪として処罰の対象になるため注意しましょう。キャメロンでも実例があります。このことひとつとっても、マレーシアなんて、いやだいやだと言う男性がいることは想像に難くありません。

一方、タイの女性は遅いと思います。こちらの国も離婚はめずらしくないようです。

ただし、こちらの離婚理由は夫の飲酒と暴力に代表されるような、いわゆるグウタラ亭主が典型的な原因のようです。タイでは、離婚妻やその子供を国家がめんどろをみてくれるような仕組みは無く、従って、彼女たちは遅く働きます。タイに住む日本人男性がタイ女性に手玉に取られて、莫大なお金を貢がせられた例はいくらでもありますね。彼女達は、したたかで遅く、強く生きているように見えます。タイではマレーシアとは逆に、女性の存在感が光ります。特にチェンマイなど北部タイは歴史的に女系家族のため、なおさらなのかもしれません。

両国は国境を挟んだ隣国でありながら、色んなことが、全然違うことには改めて驚いてしまいます。

【まとめ】

キャメロンは夫婦でゴルフ三昧する地としては恵まれています。でも、肝心のゴルフ場が1

箇所しかなく、しかも昨年に比べると、今年は日本人が急増しています。最近もマスコミで、いい面ばかりが偏って紹介されているため、日本人が増える傾向に歯止めがかからないでしょう。コンドミニアムはどんどん建設されているため収容能力に問題はありませんが、ゴルフ場はすでに満杯です。ですから、もしもトップ・

シーズンに滞在されるのであれば、それなりの覚悟でお出かけください。ゴルフを主目的とされないのであれば、大きな問題はないと思います。

私個人的には、チェンマイに、もっと夫婦連れのロング・ステイヤーが増えることを願っています。

バリ島ロングステイに於いて現地人と文化交流を果たす

関東支部 No.858 竹内 昭

平成19年7月11日、自宅をAM 8:00 に出てバリ島に向けて一歩踏み出し、成田空港第二ビルにAM 8:45に到着。

バリ島のデンバサル空港に予定より早く到着、現地時間PM 5:00であった。入国の前に、ビザ取得の為米ドル25ドル支払い入国手続きに長蛇の列、入国手続きにかなり待たされた。ターンテーブルから手荷物を受け取り、次に通関であるが、手荷物3つの内の1つ(ナップザック)が大きく重いためか中の物を調べられた。中に入れていた物は、手打ちうどん用材料(小麦粉、鯉節、昆布、のり、等)小麦粉(4kg)を取り出してこれは何か、何に使用するのか? かなりしつこく質問されたが、日本の手打ちうどんの作り方をバリ人に教えるための材料である事を説明したところ無事通関できた。

表に出るとホテルの人が出迎えに来ていたのでホテルに向けて出発した。

この日から29日間(8月9日まで)サヌールにあるホテル「アリッツ・ビーチ・バンガロ」にお世話になるのである。

自分の部屋は、ツインルームに一人でとまる事になるが、部屋はバンガロー形式なのでそれぞれ独立している。ドアの前は、テーブルと椅子2つがありバルコニーになっており読書するのに最高である。

今回の滞在目的はバリ島で日本の文化を伝え活動している会員番号593 関東支部 小林繁之様より、バリ島民に手打ちうどんの作り方

を教えてもらえないかと依頼を受けていた為、7月18日講習会を開催した。

講習会会場 小林 宅

参加者 Mr.Anak Agung Panji (アナ・アグン・パンジ)、 Mr.Ary Suseno (アリ・スセノ)、他2名

材料 1. 中力粉 500g

2. ミネラル水 225cc

3. 塩 25g

作り方 1. 225ccの水の中に塩25gを入れ食塩水を作る

2. 中力粉500gの粉の中に食塩水25gを全部入れ100回~150回捏ねる

3. 捏ねたらラップに包み30分~1時間寝かす

4. 3を繰り返す

5. 麺棒にて50cm~60cm位伸ばす

6. パスターマシン機で麺きり(時間がない為マシン使用)



1人500gを基準に作って頂き、最後に試食致しましたが参加者全員「ENAK エナツ」“おいしい”の一言でした。又機会があればいつでも教えてあげたいと思っております。

今回の滞在費用は下記の通りです。

航空券（ガルダーインドネシア航空1か月FIX） 66,000円

成田空港使用料 2,040円

燃油サーチャージ料 15,780円

入国ビザ代(\$25,00) 3,000円

ホテル代

ALTS BEACH BUNGALOWS

Sanur Baii

TEL (0361)288567、288560

E-mail : alitblw@indosat.net.id

1ヶ月 朝食付き 60,000円

TAX 6,000円

ロンボク島へ小旅行(2泊3日)

航空券、ホテル代朝食付き

(1,280,000RP) 16,800円

トローリング代(8時間/1日)

\$214 × 2 = \$428

50,000円

食事代、雑費+お土産代 約50,000円

為替レートの関係で変動は当然ありますが、

2007年8月9日現在、1円=76~78

Rpでした。旅行者にとっては食事代が気になり

ますが、地元の人達の食事代は1食2,000

~3,000Rpぐらいですが、私は近くの

レストランで20,000Rp~25,000

Rp(缶ビール350ml 1本含めて330円)

総合計

約270,000円掛かりました。

フィリピンロングステイビザSRRVの取得について

関東支部 No.1200 山崎 薫

フィリピンロングステイのためのビザSRRV (Special Resident Retiree's Visa)の取得に関しては2007年4月に入手した詳細な資料があります。ビザ取得を検討しておられる方の参考に供したいと思えます。詳細資料が必要な方には別途個人的に対応させていただきます。取得に必要な資格・条件と必要書類は以下に示しますが、関連事項全てを会報に掲載することは止め、自分がそれに基づいて本年6月に取得した経緯を紹介させていただきます。

1 資格と条件

外国人、35歳以上（家族として配偶者と21歳未満の子供を同伴できる）他。

一旦取得すると生涯有効（ただしPRAが発行するIDカードは3年ごとに更新の要あり）。

査証取得者は数次入国の特権と非移民の身分にて永住権が認められ、通常必要な出国許可および再入国許可の手続きが免除されますが、退

職者用の専用出国届を毎回PRAに提出（FAX）することが原則的には必要となっています。

2 必要書類

SRRV申請書 現地銀行に用意されておりそこで記入しました。

パスポート

健康診断書 現地銀行の方の同伴で病院に行きその場で取れました。

米ドル定期預金証明書（+送金証明書）

現地銀行で両方用意してもらえます。

無犯罪証明書 現地銀行の方の同伴でその場でもらえます。

写真（1×1、2×2inch各6枚）

結婚証明書または戸籍謄本（配偶者同伴の場合）

出生証明書または戸籍謄本（家族を同伴の場合）

3 スケジュール (1ヶ月FIXの東京～セブ往復チケット)

2007.5.10 木曜 **夕方セブ着**

5.11 金曜 **セブのPRA指定のある銀行にて口座開設**

US\$普通口座 500\$ (最低預金額)

送金受け口用

ペソ普通口座 3000P

(最低預金額キャッシュカードのみで通帳のないタイプ) SRRVのためのUS\$定期預金の利子がペソで振り込まれるために必要。(利子の受け取り方は毎月とか1年とか選べて利子の%がちがう、また利子も各PRA指定銀行がみんな同じでなく銀行によって異なります。たぶんこの利子には税金がかからないといていた気がします。)

5.14 月曜 **送金の手配**

セブでUS\$に換えるのとUS\$に換えてから送るのではセブでUS\$にするには一度ペソに換えてからUS\$にするので不利で、滞在費とかビザ申請代とか余分に送りましたが僕の場合約845US\$くらい差がありました。

5.15 火曜 **送金着確認**

5.17 木曜 **ビザの手配(申請)**

銀行の担当者の都合でこの日になった。銀行に行き、担当者と一緒に銀行の車で健康診断、無犯罪証明書などを取りに回り、銀行で書類を作りマニラのPRA事務所に銀行からパスポートと一緒に送ってくれる。(写真はパソコンのプリンターで作って持って行きました)後はビザがもらえるまで待つだけなのであるが、間に合わないときはマニラまでとりに行くか向こうからPRAの係員に来てもらう(足代9~6000P支払う)

実際にはこの間に21日のビザなし滞りがすぎってしまうので観光ビザ延長の手続きを銀行でPRAに連絡して3220PSでもらい、なかなかビザが下りなく何度も銀行にいった問い合わせをした。

6.8 金曜 **ビザ受け取り**

やっとのことで帰るぎりぎりに受け取ることができた。結局宅配便でマニラから送られて来たのだがそれを3日前に知って宅配便を追いかけて行ってやっとセブの集配場にあるのを見つけた。銀行の雑用係にチップをあげて一緒にタクシーで取りに行きやっと手に入れることが出来た。PRAの係員の面接がこのときあるのだがこれも銀行の担当者が代わりに説明して終わりだった。

6.10 日曜 **セブ発東京着**

今回SRRV取得に要した費用は下記のとおりでした。

銀行、申請費、送料	100P
病院、健康診断書	600P
無犯罪(指紋)	5P
無犯罪証明書	665P
観光ビザ延長代金	2020P
同送金料	50P
観光ビザ代金金額間違え	1150P
同送金代	60P
ビザ代	(送金代)60P
	1500US\$

マニラから宅配便代	150P
同上が間に合わないために近くまでに取りに行ったタクシー代	100P
同上同行人チップ	180P
US\$送金手数料	約¥3000
同入金手数料	32.5US\$

総額約 ¥200,700 + US\$定期20,000 \$年利4.57934% + ペソ普通預金3000P

1P=¥2.7

1US\$=¥120

なお関連情報が記載されているURLは下記のとおりです。参考にして下さい。

<http://www.interq.or.jp/tokyo/ystation/pr.html>

<http://www.pra.gov.ph/main/index.php?pid=6&lang=3>

マレーシア・ロングステイ（その2）実現編

ペナン支部 No.749 山本 義典

2006年12月、私と妻はマレーシア（ペナン）でのロングステイを開始しました。同年3月の早期退職から1年を経ることなく、念願のロングステイ（LS）を実現することができました。退職以降～9月のペナン渡航直前までのあれこれについては、2006年秋季号の記事（「マレーシア・ロングステイ（その1）準備編」）をご参照願います。この期間中に、私はLS計画を策定、各種のスキルアップ、ビザの最新情報を入手、そして海外生活に必要な資金についての検討を重ねました。さて、本編では同年9月のペナン渡航～LS実現に至るまでの実体験をできるだけ詳細に記述したいと思います。その動機は、この体験発表が少しでも後に続く方々の参考になれば、との思いからです。マレーシアでは3ヶ月以内のビザを必要としない滞在が一般的ですが、近年マレーシアマイセカンドホーム（MM2H）ビザを取得して、マレーシアに長期滞在される方が増えています。本編では「ロングステイ」の用語を後者＝「MM2Hビザを取得しての海外移住」の意味に限定して使用しています。

【ペナン渡航】

私と妻は2006年9月24日にペナンへ渡航、2週間ほどの滞在期間中にビザの申請に必要な手続一切を終えました。申請手続のサポートを現地業者（MM2Hエージェント）に委ねましたので面倒は一切なく、スムーズに申請書類をペナン移民局に提出できました。

2006年10月当時は、クアラルンプールの他、ペナン移民局でもビザの申請が可能でした。

銀行口座開設・資金送金

私たちは、CIMB Bankの普通預金口座を開

設、邦銀口座から資金（ビザ取得に必要な15万リンギ相当額）をCIMB Bankに送金、そして普通預金を定期預金に組み替えの一連の作業を（9/25）中に終わることができました。

作業の具体的な手順は以下のとおりです：

- ・あらかじめ、送金に関する権限を親族Aに委任（ペナン渡航前に邦銀Citibankで手続）
- ・私と妻がペナンに飛び、翌日 CIMB Bankで普通預金口座を開設（夫婦OR連名口座）
- ・私 日本の親族Aへ CIMB Bankの口座番号、Swift Code等の情報を伝達（電話&FAX）
- ・CIMB Bank普通預金口座への入金を確認後、定期預金口座へ組み替え 定期預金証書を作成

2006年10月当時は口座を開設するのに移民局の承認書は不要でした。現在は、不正な口座開設を防止するため移民局のビザ承認が下りて後、口座開設が可能、と改められました。

為替相場：1リンギ（RM）＝約33円

他の手続・ペナンの住居探し

- ・ビザ取得に必要な他の手続（医療保険加入、診断書作成など）を済ます（9/26）
- ・ペナン賃貸住宅についての情報収集（住居探し）（9/27～）
- ・ペナンの住居最終決定（仮契約を済ます）
- ・一旦日本へ帰国、移民局からの承認書発行を日本で待つこととしました（10/8）



私たちが住むこととなったペナンの住居（全景）

【マイセカンドホームビザ】

以下に、マレーシアのマイセカンドホーム (MM2H) ビザの概略をまとめました：

マレーシアは観光目的の場合、特別なビザ不要で1度の入国につき3ヶ月まで滞在が許可されていますが、マイセカンドホーム (MM2H) ビザを取得した場合、(3ヶ月を超える) 長期の滞在許可が与えられます。滞在可能な期間は、パスポートの有効期間内にて最長10年間(2006年10月当時は、最長5年間)。更新可能。就労不可。永住権の取得不可。管轄移民局はクアラ Lumpur の入国管理局本部。

サバ州とサラワク州は各州移民局の管轄となります。

2007年6月より個人申請は廃止。認可代理店 (MM2H エージェント) を通じての申請のみに変更されました。

マイセカンドホーム (MM2H) ビザの財務条件は以下のとおりです：

< 50歳以上の条件 >

・月1万リンギの年金受給など定期収入がある人。

給与、家賃、株式等の収入は認められない。

・または、マレーシアの銀行に15万リンギの定期預金をする人。

1年経過後に住居購入・教育・医療目的に限り、9万リンギの引き出し可。2年目以降6万リンギ以上の預金維持が必要。

< 50歳未満の条件 >

・マレーシアの銀行に30万リンギの定期預金をする人。

1年経過後に住居購入・教育・医療目的に限り、24万リンギの引き出し可。2年目以降6万リンギ以上の預金維持が必要。

< 必要書類 >

- ・ Social Visit Pass 申請書 2通
- ・ パスポートコピー (全ページ・カラーコピー)、写真 2枚
- ・ 志望レター (英文・A4用紙に10行程度～)
- ・ 過去10年間の職務経歴書
- ・ マレーシアの銀行の定期預金証明 (リンギ預

金のみ)

- ・ 日本国内の銀行の残高証明書 (英文)
- ・ マレーシアの民間医療保険加入証明
- ・ マレーシアの病院の健康診断書
- ・ 結婚証明書 (配偶者同伴の場合のみ)
- ・ 出生証明書 (18歳未満の子供同伴の場合のみ)
- ・ 月収証明 (50歳以上で月収条件にて申請する人のみ)

< 備考 >

財務条件以外の条件は、国籍、健康状態などですが、一般の日本人にとっては問題の無いレベルです。

財務条件 (50歳未満) について、月収証明によるビザ取得の途はありません、定期預金の方法のみです。規定は以下のとおり：

"Which financial criteria you wish to use; either Fixed Deposit or monthly off-shore income (50 years and above) "

" Fixed Deposit (below the age of 50) "

マレーシアの銀行は旅行者の身分では口座開設できないため、移民局の承認書と旅券を持参して口座を開設します

「日本国内の銀行の残高証明書」については「10年間マレーシアで滞在した場合に必要な生活費相当額が望ましい」とされているが、その額は公表されていない。しかし、口座残高が1,200万円で申請したが金額不足で却下となったケースが最近発生、噂では要求レベルが1,800万円(?)に引き上げとなった、とか。

PassとVisaは全く別物です、つまりPassは滞在を許可する滞在許可証であり、Visaは入国を許可する査証です。MM2Hプログラムの適用者は滞在許可証 (Social Visit Pass) が与えられるとともに、マレーシアから日本を含めた他国との出入国の際に必要な多重回数入国ビザ (Multiple Entry Visa) も一緒に得られるのです。「長期滞在ビザ」が入手できるものではありません。Passについての規定を読み返すと、

"Foreign nationals who wish to visit Malaysia have to obtain a pass at the point of entry besides a visa (where required) which allows them to stay temporarily.

A pass is an endorsement in the passport constituting permission to stay for the approved duration.”

つまり、マレーシア入国する外国人は、ビザとは別に入国地点でパスを得る必要がある。パスとは許可した期間マレーシアに滞在してもよろしい、というJabatan Imigresen（出入国管理庁）の保証です。社交訪問（Social Visit、観光・知人に会うなどの訪問）目的で入国する日本人はそのパスポートにスタンプを押されますが、それはすべてこの Social Visit Passです。

1年経過後の住居購入についてですが、FIC（外国投資委員会）の新基準によると、外国人が住宅用家屋を購入する場合RM250,000以上の物件でないと認可されない、とのこと（マレーシアでの住宅購入の最低価額）。潤沢な外国人の金融資産を不動産市場に呼び込み住宅購入を奨励 供給過剰となっている高級住宅の在庫消化を促したい、との狙いがマレーシア政府にあるようです。

【承認書発行を待つ】

ビザの申請から正式なビザ発給まで約10週間掛かると聞きましたので、移民局から承認書が発行されるのを日本で待つこととしました。

厚生年金の手続

私の妻が2006年10月18日に60歳に到達しましたので、早速社会保険事務所へ出向き、厚生年金の裁定請求手続を済ませました。正確には、誕生日の前日（10/17）から受け付けていただけるそうです。彼女の（年金の）加入期間は極めて短いため、支給される金額も僅かなのですが、海外移住を前提にした場合、日本出国前の今、手続をとっておいたほうが良い、と考えます。海外からの年金請求手続は面倒ですし、うっかり手続をとらず放置した場合、5年を経過すると時効になる（経過分の請求権が消滅する）ためです。

移民局より承認書が下りる

2006年11月29日、「移民局より承認書（条件付承認レター）が下りた」との知らせが認可代理店（MM2Hエージェント）から届きました。早急に再度ペナンに渡り、移民局から正式なビザを発給してもらう必要があります。私は出国期日を2006年12月13日と決め、引越業者にゴーサインを出し、海外引越手続に入りました。因みに、（12/13）は私の59歳の誕生日です。

【日本出国直前の手続】

出国の期日が決まればその日までに完了しなければならない「手続」が多くあります。

転出届

「海外転出届」の手続を行わなければなりません。現住所のある役所で手続を行います。転出先住所は単に国名のみ「マレーシア」と記入し、届け出ます。転出予定日が（12/13）なので、届出日はその日より逆算して2週間以内、とします。転出届に関連した届出や手続が幾つかあります。印鑑登録抹消の届出（登録証返納）が必要ですが、その前に印鑑登録証明書の交付を受けておきます。車のマレーシアへの持込などで証明書が必要になってきますので（抹消した後では交付されません）。自宅を処分することなく出国する場合、土地家屋の固定資産税の納付に筋道をつけておく必要があります。納税管理人として親族Aを指定しそこへ納税通知書を送付してもらうようにします。そして毎年度税金を引き落とし可能な銀行口座を指定し、予めその口座に十分な残高を確保しておきます。当年度の住民税は前納します（私は6月に全期一括納付しました）。必要なら、国民健康保険、国民年金などの手続も忘れないように済ませておきます。

電気の手続

「電気の使用廃止」の連絡は、余裕を持って1～2週間前までに終わらせておけば安心です。電話でも、ネットからでも届出が可能です（「お客様番号」を忘れずに）。引越当日、ブレーカーを切っておきます。料金の精算は現在の指定口座を解約しないでおけば自動で行われます。

ガスの手続

「ガスの使用中止」の手続は電話でも、ネットからでも届出が可能です（「お客様番号」を忘れずに）。ガスメーターが屋外に設置してあれば、作業立ち会いは不要です。

水道の手続

「水道の使用中止」の手続は電話でも、ネットからでも届出が可能です（「お客様番号」を忘れずに）。引越当日、止水栓を右に回しておきます。

固定電話（NTT）の手続

「116」へ電話し、「固定電話（NTT）の解約手続」を行います。

インターネットプロバイダーの手続

手続方法は各プロバイダーによって若干、異なります。Yahooの場合、電話にて「解約」を申し出、10日ぐらい後に確認ハガキが届きます。レンタルモデムは宅配便にて返却します。ドメイン名@ybb.ne.jpは利用できなくなりますが、@yahoo.co.jpは引き続き利用できます。

郵便局へ転居届

郵便局で「転居届（ハガキ）」に転送開始希望日を記入し提出します。本人確認書類（運転免許証など）も忘れずに。これにより、1年間、旧住所あての郵便物を国内転送先住所に無料で転送してもらえます。

金融機関へ転居届

銀行、保険会社、クレジット会社、証券会社などへの届出も忘れないようにします。ここで重要なのは、

下記の『外為法』上の「非居住者」になってしまう場合、証券総合口座が閉鎖される規定の存在です。

- ・ 2年以上外国に滞在する目的で出国し外国に滞在する者
- ・ 本邦出国後外国に2年以上滞在するに至った者
- ・ 上記に掲げる者で、事務連絡、休暇等のため一時帰国し、その滞在期間が6ヶ月未満の者

したがって、私はそれまで取引を続けてきた証券会社に日本出国直前の（12/8）、同月中に出国する旨を報告、口座を閉鎖、預けてあつ

た株式等については全て売却 出金の手続を終えました。

税務署と納税義務

当該年分の所得税は、出国前に税務署で確定申告して税金を納めてしまう（正確）か、代理人として納税管理人を立てて翌年の3月15日までに申告を代行してもらうかを選択します。私の場合、譲渡所得（出国直前まで継続していた株取引）の計算明細書の作成、および証券取引報告書の入手に手間取るため、親族Aを納税管理人として届け出た上で、翌年の2月にあらためて日本に一時帰国 確定申告を行うこととしました。

【LS実現と快適な生活環境の整備】

2006年12月13日、私たちは生活者としての第一歩をペナンに印しました。翌日から、コンドミニアムでの新しい生活が始まり、同時に快適な生活環境の整備に着手、今日までその流れは止まりません。

MM2Hビザの取得

2006年12月19日に私たちに交付されたパスの期限は2011年12月18日となっています（滞在許可 = 5年間）。ビザ申請時点での私たち夫婦のパスポートの有効期間は優に7年余はありましたので、本来なら7年間の滞在が許可されていいはずなのですが... ビザ改定に関してのそもそもは、2005年12月27日に遡ります。この時、マレーシア政府がMM2Hプログラムに関する大幅な改定を発表、改定内容（複数）のうちのひとつが滞在許可期間の延長（5年 10年）だったわけです。その発表中で2006年1月1日以降申請分から新条件を適用する旨、明言したのですが、その明言にも拘らず、実施はなし崩しに延期され、最終的に新条件への移行は2006年4月1日から、とされました。しかし、新条件適用の時期を4月1日と訂正したにも拘らず、ビザの申請および審査の現場（観光局、移民局）では混乱が続き、私がビザを申請した頃（2006年10月はじめ）でさえ（ペナン移民局申請分に

関する限り)滞在許可期間は最長5年間であったこととなります。

インターネット環境の導入

Telekom Malaysia (日本のNTTみたいなもの)の子会社でもあるTMnetはマレーシアの主要なプロバイダーですが、そのTMnetのADSLを使っています。噂ではクアラルンプールのインターネット事情はすばらしい、日本とほぼ同格、と聞きますが、比較してペナンのインターネット事情は悪いと思います。回線が不安定で時々極端にスピードが低下します。光も有るらしいがまだまだ普及は進んでいない。少なくとも、私の住んでいるコンドミニアムには光ファイバー網は届いていない。それでも、とにかくADSLが使えるだけまし、か。私は、ソニーのロケーションフリー技術を使った、日本の民放視聴システムを利用していますが、回線スピードが低下すると(画質を極端に落としても)カクカクした画像しか得られず、とても鑑賞に耐えない。ロケーションフリーはその宿命上回線スピードに大きく依存するため、余り実用的ではないな、と最近感じるようになりました。

マレーシアの運転免許取得

日本の免許証があれば、無試験でマレーシアの免許が取得できます。JPJ(陸運局)にパスポート、日本の免許証の翻訳証明書、および手数料を持参すると即日交付、有効期間は1~5年まで選択できます。私の所持する日本の免許証の有効期限は2007年12月13日なので、マレーシアの免許の申請時点(2006年12月27日)での残余期間は1年未満となる。しかし、手数料を5年分支払うと、あっさり5年間有効の免許証が交付されました。それにしても、マレーシアの免許証は普通紙に印刷したものをラミネート加工しただけ、(品質が)凄く安っぽい。これでは簡単に偽造されそう... 実際、かなりの数の偽造品が出回っているらしい...

日本から自家用車を関税免除で輸入

MM2Hプログラム適用者(セカンドホーム)は、自家用車1台を関税免除で持ち込む、つまり輸入することができます。但し、とても煩雑な手続が必要です。プログラム適用開始(申請が認められた)日から6ヶ月以内に行うことが条件です。いうまでもなく、Jabatan Imigresen(出入国管理庁)は自家用車輸入の手続や申請には一切関わりません。出入国管理庁はこの者がMM2Hプログラムの適用者であるということを証明するだけです。手続として、まず、申請者がMM2Hビザ取得者であるというマレーシア移民局からの証明(ビザ発給時に貰う書類)を含め免税に必要な書類一式をKementerian Kewangan(財務省)に提出、免税申請を行います。

次に、輸入に必要な書類一式および財務省発行の免税認可書をMITI(通産省)に提出しAP(Approved Permit、輸入許可証)を入手します。

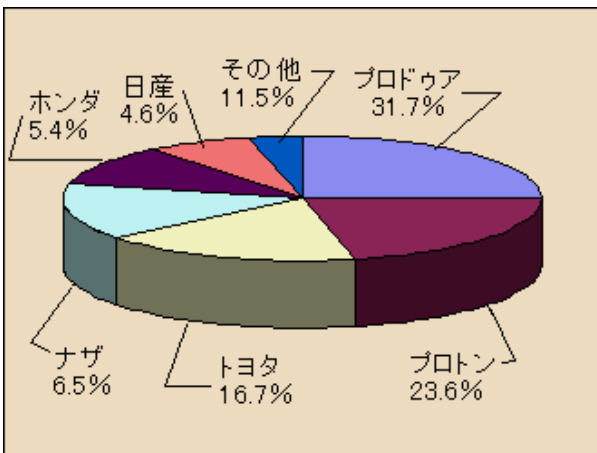
最後に、通関のために税関申告を行います。このとき、輸入許可証を含む、全ての関連書類を添付します。一連の手続にマレー語の知識が必須なのと、煩雑な手順を要するため、代行業者に輸入手続一切を任せるのが普通です。愛車Honda HR-Vを持ち込むのに、私はクアラルンプール(KL)の或る代行業者(日本人です)を利用しました。勿論、セカンドホームの免税特権を使って。

悪質な代行業者の存在について

しかし、上記のKLの業者から私は酷い対応を受けました。営業妨害になってしまうのでここで実名や詳しい経緯を報告することは控えますが、私が最も怒りを感じているのが、この業者の不誠実な対応です。依頼を受けた顧客のために全力で業務にあたるどころか、詐病を理由の業務放棄、不当な過大請求、果ては、運送中に生じた瑕疵(キズ)の対応には知らん顔... 呆れ返りました。平気で嘘をつく、後手後手の対応、都合の悪いことは全部マレーシアの役所のせいにする厚顔さ、など本当に憤りを感じております。ここで私が自らの恥を晒すのは、こうした業者が淘汰もされず被害を拡大している現状に警鐘を鳴らしたいためです。

エンジンナンバーの確認

車を通関業者に預ける前にする大切なこととして、エンジンナンバーの確認が挙げられます。なぜかという、輸出抹消仮登録証は日本の車検証から作られますが、その車検証にはエンジンナンバーの記載がないからです。マレーシアのJPJ（陸運局）で車を登録する前にPuspakom（車検場）で車の検査が行われるのですが、特に輸入された車の場合はエンジンナンバーの確認がメインに行われます。車検場でのエンジンナンバーの記載が、財務省からの免税認可書、通産省からの輸入許可証、それから通関時の書類の記載と違っている場合は全てが最初からやり直しになってしまいます。



国内自動車販売（2006年度）メーカー別シェア

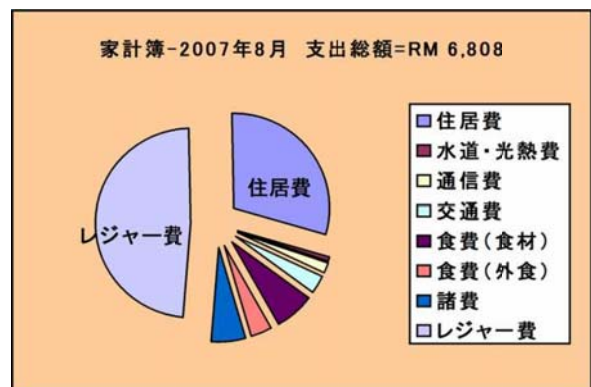
輸入車の関税について

マレーシアではローカル自動車メーカー～プロトン（三菱系合併）とプロドゥア（ダイハツ系合併）～を支援するために輸入車（関税）の価格を高く設定しています（カロラの現地の販売価格が300万円以上）。国産車は歴史が浅く、組立て精度（品質）が劣ります。しかもエンジン技術を他国のメーカーに頼っているため、コスト高 価格競争力でも負けています。もし、関税を完全撤廃したら、ローカルメーカーは日本のメーカーに太刀打ちできず、一溜りもなく潰れてしまうでしょう。しかし、輸入自動車の関税障壁への海外からの批難を無視し続けるわけにもいかず、マレーシア政府は2005年5月2

5日に日本とFTA（自由貿易協定）を締結、自動車関税について以下のような合意に達しました＝「排気量2000cc以下は2015年に関税撤廃」（2015年まで関税維持）。しかし、マレーシア政府がマハティール以来の国民車構想（国産車を通じた自国ブランドの自動車産業育成政策）を破棄するはずがありません。結局、国産車を保護する立場を貫き、協定通り関税を低くする代わりに、その分、物品税など他の税金を引き上げるのではないのでしょうか？

資金管理システムの構築

ペナンでの生活が落ち着いてきた頃、私は新たな銀行口座を香港に開設しました。日本のCitibank、これは（60歳から支給される予定の）年金受取のための口座、マレーシアのCIMB Bank、これは日々の生活資金を管理するための口座、そして新規に開設したのが香港のHSBC、資産運用口座です。当面使う予定のないお金を日本の銀行に預けていても面白くない、香港の銀行でローリスクの資産運用をすることにしました。ネットバンキングのお陰で、Citibank（CIMB、HSBC）、HSBC（Citibank、CIMB）の送金が自在に可能となりました。一方、（買物などの支出、預金の入出金など）日々の現金の出入りをパソコン（エクセル）で管理していますので、手許現金有高、預金残高などを常時把握できます。ネットバンキングとエクセル家計簿の組み合わせにより、資金管理が容易となり、結果、安心快適生活を営んでいます。



家計支出のうち、旅行費用と家賃が大半を占める

ペナンでドリアン

ペナン支部 No.876 深井 弘雄

ペナンにいわゆるロングステイを始めて約2年半になる。果物の王様ドリアンのシーズンは3回経験したことになる。(12月に出回るがこれはいわば陰のシーズン)今年になって初めて、ある程度ドリアンが見えてきたかなという気がする。



高木に稔ったドリアン

果物の王様と言われるドリアンであるが、これほど毀誉褒貶の激しい果物はない。

「あんな臭い物、食べる人の気が知れぬ…」という方がいる一方で、その粒をつまみ上げ、じっくりと眺め、しゃぶりつき、にんまり…「たまらぬこの美味さ、震えが来て、叫び声を挙げて走り出したくなる！」と言う御仁とご一緒したことがある。思わずわが耳を疑い、その姿を確かめた。まさに至福の喜びの姿がそこにある。

果物の女王マンゴスチンは万人に愛され、悪口？を言う人はまずいないと言ってよいだろう。女王たる所以である。まさに納得のいく地位を確立しているといえる。

もっともマンゴスチンよりマンゴーのほうが好きという個性派も無きにしもあらずだが…。それにひきかえ、ドリアンを話題にされることすら嫌う人が居る一方、人の身も心も奪うほどの魅力があり個性豊かなるがゆえにドリアンは

王様と称されるに相応しい。

わが周辺では昨年に比してドリアン理解者が急速に増えつつある。ドリアン嫌いには、いくつかのパターンがある。

まず、体質的にあわないという方もいるであろう。好き嫌いなし、何でも食べるという方にドリアンだけはダメという方に会ったことがない。

すなわち、ドリアン嫌いはほとんどが食べず嫌いと言い切れる。そんなことはない、食べたことがあるが美味しいとは思わなかったという方が、これまた結構おられる。ドリアンは3度食べなければ、その本当の良さが分からないという。

まことに残念ながら美味しいドリアンに遭遇したことないご不幸な方が多いのも事実のようである。

美味しいドリアンとは、

まず、その日の朝に落果した新鮮なもの。(熟すると軸の途中が離れるようになっているので、栽培農家はネットで受けたり、あらかじめ紐をつけておいて、地面を直撃と言うようなことがないようにしている)

次に、割ったらすぐに賞味すること。

美味しい物を選ぶこと。

品物選びは、プロの判断を信用するしかない。ある程度の価格の銘柄を選べば、まず、間違いない。

日ごろの付き合いが、ここでも大切となる。わしは懇意の果物屋に「お前を信用してドリアンを選んでもらうのだから、ベストのを選んで、保障してくれよ！」と言わずもがなのことを呟くことにしている。

山元でドリアンが山積みしてある中で、銘柄ものを家の中に大切に保管しておもむろに出し

て来るのを目撃した。屑物に比して10倍は稼げるから当然のことではある。

臭い、あのたまねぎの腐ったような臭い、硫黄温泉の香りは外皮の内側が醗酵したものという。タイの水上マーケットでドリアンのにおいに驚いて大騒ぎになり、危うく小船が転覆しそうになったなどという話を聞くが、まさに噴飯もの。

新鮮なものは甘い蜜の芳香がする。売人はこの匂いをかぎ分けている。スイカを叩いて品定めするがごとくドリアンの売人は振って品定めをする。

中の身が完熟してしまっているか、熟れすぎて実が崩れてきていないか・「コトコト」と音がするかどうかを確かめていると言う…。



わがコンドミニウムF23のテラスの初期のドリアン

チェンマイのドリアンは綺麗にピラミッド状に積み上げ、窓を開けている。これを指で押しで品質を確かめると言う。

確かに未熟か熟しすぎていないか、ほどほどの弾力で見分けるのだろうと思う。カロリーが高く、中高年の健康食とは行かぬから、食事とのバランスをとることも必要、昼食代わりにビスケットなどと、軽食とする手もある。

水をしっかり摂ることも必要。お酒、特にビールは醗酵を促すから、飲むなら時間を置いたほうがいいのかも。かもしれない。

王様を、安く美味しく堪能できるところペナンに居ながら、そのチャンスを存分に享受しな

いと勿体など言う貧乏人根性が小生をドリアンフリークにする所いかも知れない。



数々の果物に囲まれて…ドリアン山荘にて

果物の王様・ドリアンが日本でも最近スーパーなどで比較のお買い求め安い価格(2~3000円?)で売られているという。

本場での経験からすると、多分、品種改良により日持ちのする、そして、異臭を放つことを極力抑えたものだろうと推察する。なぜなら、当地でも万人に愛されない理由の最大のものはあの異臭だから…。

ドリアンが日本人にポピュラーにならない理由は

1. いいものを選ぶ選び方が分からない。
2. 買い方が分からない。
3. ホテルなどに持ち込めない、どこで食べればイイの!

ハードルは高い。

実は道端で売っているのを割ってすぐその場でつまみ食いという手がある。日本人には街で食べ物をつまむというのは馴染みが薄いから、この方法はほぼ不可能。

ガ・ニードライブ沿いのコーヒーレストラン(開放型小食堂)で地元のグループが持ち込んでいるのを幾度かみかけている。オープンな小食堂などでは、ドリアンを持ち込んでも断われないところもある。

バスなども冷房を効かしているから、断られるという人も居るが、運転席の横に積み込んでいるのを見かけたことがある。もっとも冷房の効いた最近のラピッド・ペナンでなかったこと

は確か。

では旅行者はどうすればいいか…

先のつまみ食いスタイルか、逗留中の人の手引きに縋るしかない、たとえばお宅でのドリアンパーティ？にお招きいただくような幸運にめぐり合えるかどうかは、日ごろのお付き合いの大切なことの所以である。



いろいろな銘柄を揃えて食べ比べ、ドリアンを割るためのナイフと手袋も

また、朝粥会（来るものは拒まず）などに参加して、ぜひ試食したいから手引きして！と強く願望を前面に、さらば与えられん…ということになる。

閑話休題、

わがドリアン経験はというと：

十数年前マイレッジを活用しての東南アジアを旅行することを思いついた。タイ・HK方面は北京駐在時代に幾度か家内と旅行したことがある。シンガポールからKLそして東洋の真珠というペナンに旅行することにした。

下手がゴルフバッグを担いでの珍道中、シンガポールのセントサ島と当時の岡本綾子の人気ゴルフ番組のタラメラCC、そしてデサルでゴルフ場の孔雀と戯れ、KL・ロイヤルセランゴールG&CCを行脚した後、ペナンのラサヤンホテルで最高のリゾート気分を味わった。

そのときはジョージタウンなどという下町など眼中になく足を向けなかったことは痛恨のきわみ。

当時は今のような海岸に億ションが立ち並ぶこともなく、せいぜいエバーグリーンホテル

20階程度、もし当時との比較ができれば、わがペナンライフも一味感慨が違っていたかも。

さて、その数日の滞在（ラサヤンとエクエトリアル）の帰りの飛行場に向かうタクシーの中で、何気なくドリアンの話をしたら運ちゃんがドリアンを賞味できる場所に立ち寄ってくれると言う。街道筋から入ったところの茂みの中の台の上のドリアンを割って食べさせてくれたが、さして美味しいというものではなかった。なぜあのクリーミーな味わい、甘みを感じなかったのが、今にして思うと不思議。

時折、ぱっさぱっさと音がする。ドリアンの落ちてくる音という。（しっかりした農園ではありえないこと）

当方のあまり満足げでない様子を察したのかももっと美味しいところがあるというが案内を断った。ということは、美味しいドリアンがあるということを暗に教えてくれたことになる。

シンガポールに帰って、ホーカーセンターでドリアンの発砲スチロール入りを見かけ挑戦したが、さほどの印象なし。

その故もあり、また、身近にドリアンを話題にする人もなく、来檳一年目がなにごともなく？過ぎ去ったが、2年目、すなわち昨年になって美味しいドリアンとめぐり合った。当地の金持ちは青田買いならぬ青木買いをするという。

農園に行って、あの銘木？の実と特定して美味しいのを食しているという。美味しいドリアンは市場には出回らぬという話まで耳にした。

是非、美味しいドリアンを食したいと当地滞在の先輩氏に案内を頼んで、美味しいドリアンを食したことがあるというドリアン街道を目指した。

店の親父に特別にベストのものを出せと注文、紅蝦なる銘柄の一品。確かに今までの市中で出会ったものとは明らかに違う。

嫌な臭いなどよりむしろ甘い蜜を感じさせる。濃い黄色に紅を一筋、紅蝦なる名前もなるほどと頷づける色・姿。

お味はグー、舌触り、喉越しは最高、強い甘味の中にやや渋味を感じる、当地の人が好むビ

ター…というやつである。

振り返りみれば、これがドリアン行脚の第一歩となった。それ以来、馬鹿の一つ覚えは紅蝦（Red Prawn, AngHeh）！

山もと、いわゆるドリアン農場を捜し求める旅も始まった。友人から教わったドリアン農家を訪れてHorLoh胡呂なる逸品があることも知った年でもある。



ドリアン農場の低木のドリアンの下で記念撮影

ドリアンを説明するに…

その食感：歯ざわり、舌触り、喉越し、果ては歯にまとわりつく感触…

クリーミーと一言で言っても、その程度もいろいろいる、柔らかいチーズなど、喉越し爽やか…一口口に含んだ途端、柔らかいパンの感触のするもの。

甘味と言っても、あっさり味からやや渋みを伴う（当地玄人好み？）濃厚な甘み、ねっとり纏わり付くような濃厚な甘味のものもあり、後々までも口中に爽やかな甘味を残すものまで、千差万別。

外観は：

大きさは大人の頭大から拳のように小さなものまで。棘がバラのように太くて大きなものから針のように細手の棘のものまで。色は黄土色、茶色に近いものから、緑鮮やかなものまで、柄の長さも長短あり、長さが売り物？というようなものまであり、実にバラエティに富んでいる。

品種改良され、いろいろな名前がつけられて、銘柄登録されているものは枚挙に暇が無い。

2年目の昨年、ひよんなきっかけから地元長老氏のお宅に招かれ銘柄数種を試食させてもらった。

懇意な業者に持ってこさせるとかで、ドリアン専用の冷蔵庫までお持ちのようであった。賞味した中でもかすかにコーヒーの味・余韻を楽しむドリアンが強い印象に残った。

今年になってわがレパートリーも増え、ヤット数銘柄を覚えた。そしてその特徴もある程度説明できるようにはなったが、同じ銘柄でも個体差がある。

AngHeh(RedPrawnDurian)紅蝦

HorLoh胡呂

KhunPoh坤宝

GanZa(ChangDi)長蒂

YeZiMei葉子媚

などが知りえた銘柄、そのほかにD15,D16,D17,D600,D700 などと言われる、もう興ざめもイイところ。



生のドリアンの風味を逃さず、お値段も世界水準、お土産に最適なドリアン・チョコレート

なお、おりおりのドリアンの話題は下記ブログをご覧ください。

ペナンにロングステイ：

<http://blog.livedoor.jp/hirofulv/>

初心者ダイバー「器材購入」体験談

関東支部 No.304 関本 好則

体を丸め、バックで海中へ。ブルーな綿の上に着水した感じで衝撃はほとんどない。

体の周りを水泡が沸きあがってゆくと、水面に光の泡がきらめく。それは別世界旅行への序章にすぎない。

伊豆・沖縄・セブそれぞれの海に潜り、大満足から小満足までいろいろあったが、5月から始めて4ヶ月弱。ダイビングの魅力にすっかり取り付かれてしまった。9月24日座間味島で32ダイブ目。年間100ダイブのペース。連休をフルに使うほど夢中に！

何より、70を過ぎても楽しめそうなスポーツで、だんだん腕が落ちてゆくゴルフと違い、練習すれば今後一層技量が向上してゆく夢があるのがうれしい。

今回は、ダイビングの魅力よりも、「機材をお店の勧めのままに買うべきか否か」という実地的な報告を初心者立場・直近の経験で書くのが原稿依頼の趣旨だったので、ここからは簡潔にまとめてみる。

結論から先に書くと、始める年齢（運動能力年齢）、主なダイビング希望が国内か海外か、で絶対に買ったほうが良い機材と、レンタルで良い機材に分かれると思う。これはほとんどお店の勧めで買った私の経験（失敗も含め）と私の肉体的条件による結論なので、全ての人に当てはまるとは限らない。

絶対必要だったと思うもの・・・水中マスク・防水カメラ（目が悪く、老眼と乱視の調整されたレンズが絶対に必要だった）

買ってよかったと思うもの

(1)・・・BCD

(レンタル機材にはいろいろな会社の製品があり、ボタンの場所や様々な細かい違い

があり、60近くで始めた私にはマイBCDは不可欠)

(2)・・・レギュレーターセット・ダイブコンピューター

BCDにも同じ理由が言えるが、ダイビングで一番必要なのは、どんな時もパニックに陥らない事だと感じた。見慣れた計器類を持っていることは、安心を買う意味でも必要だと実感した（目が悪い性もあるとは思うが）

(3)その人の性格次第・・・ウェットスーツ・ブーツ・フィン

私は5mmのウェットスーツを買ったが、伊豆では7-9月位しか使えず、沖縄ならほぼ全季節（冬はインナーが必要）使え、セブでは3mmで十分な季節が多く、セブには嵩張るので持参しなかった。他人が着たものを直接着用する事に抵抗がなく、特に海外ダイブが多い人はレンタルのほうが良いかも。ブーツは普通サイズの足、普通の脚力ならレンタルで十分。

再度お断りをするが、(1)-(3)は私の感想。若くから始めた人、ロングスティでほぼ同じ場所で潜る人、条件次第で結論は違ってくるので、あとは南国会の合言葉「自己責任で」

写真1は、8月義理の娘とセブ島北部アグレヒからバンカーボートで1時間灯台だけがある珊瑚礁の島で、コックつき昼食をしている所。凄い量の食事に最初はたまげたが、二人がギブアップした時点でコック、インストラクター、船長の昼食に後は灯台守の家族の胃に全てが消え、納得！

写真2は、浅い珊瑚礁から、ある地点でまるで垂直な断崖（50m級ドロップオフ）が続く、丁度水深25m付近で撮ったカサゴ。水深が深

かったのと、カメラ操作が初めてで、泳ぐ魚はまともにとれずこの一作品だけ紹介。

続いては、9月後半の3連休を利用して行った沖縄・座間味島の写真。若者たちだけではなく、我々年代も結構いる日本の人気ポイント。写真3は、ツアー仲間と魚達が向かい合うシーン。このポイントの魚群の量は凄かった。座間味には、洞窟を潜り抜けるポイント、ドロップオフのポイントなど様々な形の違う海底地形が広がり、3日で9ダイブ全てに満足。

写真4は、隠れクマノミを何度も撮影したが、半分隠れているアップが上手く撮れず、外に出て泳いでいる写真を掲載。まだ技術が不足（カメラも水中でじっとしている技術も）海の透明度はセブ以上に素晴らしかった。

最後（写真5）はアオウミガメが珊瑚礁から飛び立つシーン。ゆっくり気づかれないようダイバー全員近づいたが、結局この距離で気づかれもって接近することが出来ず残念至極。

私にとってダイビングの最大の魅力は、仕事やプライベートの事を全く忘れ夢中になれること（他の事など悩んでいたら、命を落とす危険が一杯）。

出来れば、リタイアする一年半後までに、最低100ダイブ、出来れば150ダイブはこなし、ダイバー憧れのパラオを始め、海外の素晴らしいポイントに気軽に安く行ける様になる事。ゴルフとダイビングが手軽に出来るロングステイ地を探し出す事。

そして、一緒に出来る仲間を増やすことです。（妻が同行しそうもないので！）

皆さん、ダイビングに挑戦しましょう！世界観が変わります。

最初のカードをとるまでは、若干体力がいいりますが、ポートダイブになれば70歳までは絶対にできますし、特に女性向のスポーツです。



写真 1



写真 2



写真 3



写真 4



写真 5

ハワイで格安ゴルフ

ハワイ支部 No.959 皆本 茂夫

アロハ、

ハワイ支部の皆本茂夫です。

今年からスタートしたハワイ支部はまだまだ手探りですが訪ねてこられた人たちと何回となくサロン会も開いて交流を深めてきました。

ハワイは一番行きたいところだけど高くてね、という方に今回は多くの皆さんが興味を持っていますゴルフの話をしましょう。

ワイキキのあるオアフ島には6つの市営ゴルフ場があります。旅行社のパンフレットには載っていないので多くの方はそこでは出来ないと思っ

ワイキキから一番近いアラワイゴルフ場があります。歩いて15分くらいです。

予約しなくても行ってスタンドパイといって予約してない人でも空いたら入れる順番待ちにお名前を登録します。

そうするとたいてい30分から1時間待つ間に呼んでくれます。一番出来そうな時間帯は18ホールでしたら朝11時頃、午後は2時過ぎから行くのがいいでしょう。9ホールが出来

お値段ですが一般はグリーンフィーとカート代でお一人\$50です。旅行社で普通のゴルフ場を予約すると\$100-\$150かかりますから格安です。

さらにハワイ州の運転免許を取得するとカマアイナといって現地人価格でプレーできます。平日で\$20 祝日で\$24(いずれもカートつき)と安い

又さらに65歳以上のシニアになると平日で\$15(カートつき)で出来ます。

またまたさらにゴルフ好きな人には月間回数券が買えます。10回\$32(カート別)、すなわち一回\$3.20で出来るのです。400円です。又多くの人はゴルフは健康のためといって9ホールを歩いてプレーすればなんとその回数券が20回使えるのです。すると一回分が\$1.60(200円)ので出来るのです。200円で出来るゴルフ場があったら教えてほしいです。その回数券は6つのどのコースでも使えます。6つのゴルフ場とはアラワイ、パリ、エヴァヴィレッジ、テッドマカレナ、ウエストロック、そしてカフク

の皆様方も一度ゆっくりハワイに来て、運転免許を取って200円でプレーしてみませんか？

次にハワイは食事も高いからという人にお勧めはカパフル通りです。

ワイキキから歩いて20分くらいですが日本食ではサンライズレストランがお勧めです。お寿司と沖縄料理で\$15くらい、お酒は持参できるのでお酒飲みにはうれしい話です。又その先に DEE THAI というタイ料理がお勧めです。予算は\$15-20くらいです。

どうぞ常夏のハワイにも足を向けてください。お待ちしております。

E-mail: minaminohawaii@gmail.com

「バギオで暮らす」

バギオ支部 No.227 齋木 一

この原稿の作成時は9月中旬で、バギオもまだ雨季后半の頃でした。皆さんがこの会報を手にする頃は日本は秋本番の素晴らしい時期ですね。バギオも長かった雨季がようやく明けて、来年の5月まで続く乾季が到来しているでしょう。

バギオは南国にありながら海拔1500mの高地にあるので、暑さ知らずの町です。南国フィリピンですから、当然冬も無く雪も降りません。1年中毎月の最高気温の平均が23度から26度、最低気温の平均は13度から16度と殆ど変わりません。

雨季、乾季と分かれてはいますが、殆ど同じ様な気温です。その町づくりの最初からそうでしたが、バギオは「心地よく暮らすための町」なのです。

バギオは人口が30万以上の北部ルソン最大の都市です。その町づくりからまだ百年程で、その間に戦争被害と地震からの復興で近代的な都市でもあります。日本には海拔1000m以上の場所に大都市が無いので、比較出来ませんが、長野県の長野市や、松本市に近い感じです。

バギオは、19世紀末に起こった米西戦争によって、米国がフィリピンを統治した後に開発された町です。3月から5月に掛けてのマニラの暑く湿気の多い時期を避けて、夏の間行政機能を移転させた「夏の首都」として開発が進みました。

その気候の良さから夏の間だけでなく、1年中住む人達も増え、1905年の登山道路「ケノンロード」の開通後、たった4年後には市制も施行されました。来年は開市百年目の記念すべき年になります。

米国統治時代には、夏の間総督府が置かれ、フィリピンの独立後は夏の首都としての役割は終えましたが、大統領別邸「マンション・ハウス」は今でも使用されています。

多くのフィリピンの政財界人の豪壮な別荘が立ち並ぶばかりでなく、沢山の人がバギオで1年中生活を楽しんでいます。6つの総合大学を始め、多くの専門大学もあって数万人の学生達が学ぶ、学生の町でもあります。

米国が半世紀に亘ってフィリピンを統治し、その間に夏の首都として作った町なので、米国では良く知られています。米国の雑誌の「海外リゾート百選」にも選ばれた事があります。

バギオの良さは、何と言ってもその過し易さにあります。暑さ寒さ知らずの1年中同じ様な気温、新鮮で安価な生鮮食料品、安い物価、完備された近代的都市機能、そして簡単な英単語さえ知っていれば問題ない英語圏である事等日本人が海外で暮らそうと考えた場合の必要条件が沢山備わっています。

さらにプラスされる事として、バギオの町づくりの最初の登山道路の建設から日本人が関与し、登山道路の開通と共に始まったバギオの町づくりの中心的な存在が日本人移住者達だった事から、今尚バギオ及びその周辺には七千人を超える日系人が住んでいる事です。

もともとが、マレー系の人達が多い低地地帯とは違って、ルソン島北部山岳地帯は大陸から渡って来たと言われる山岳民族と、中国系の混血も古くから行われていて、更に日系人も加わり、同じ様な顔立ちの人達を町で多く見掛ける事も出来ます。

バギオにいと、何となく落ち着く気分になるのは、そんな事にも原因がありそうです。フィリピン人らしく、開放的で親近感にあふれ、笑顔が明るい人達です。

最初の町づくりが、米国人の別荘地帯として始められ、フィリピン独立後もフィリピンの富裕階級の別荘地帯として発展を続けていて、その為にフィリピンでは他にあまり例を見ない「豊かな感じがする町」でもあります。

そんなバギオですから、バギオの良さは「見る」事では無く、「バギオで暮らす」事で初めて体験出来ると思っています。

バギオは歴史の浅い都市で、市内や周辺にあまり観光する場所はありません。素晴らしい気候の中で毎日の生活をエンジョイする事がバギオの醍醐味です。

ゴルフに、テニスに、乗馬にと高原らしいスポーツに時を過し、松林を抜ける心地良い風の中で読書に耽る、家のテラスで何もせずただ時の流るるに任せる、そんなのんびり人生がここにはあります。

積極的な活動を、と考える向きの方には「バギオでのボランティア」をお薦めしています。カトリック教国フィリピンは、どこでもボランティアは盛んですが、バギオでは特に日系人対象のボランティアに意義が見出せます。

先の大戦中、一時フィリピン占領日本軍の総司令部がバギオに置かれた事から、3ヶ月に亘る攻防戦で廃墟となり、終戦で強制送還された日本軍人・民間人に代り、戦争被害による憎悪の対象にされ、20年以上も日系人である事を隠し、山中深く逃れ住んだ日系人達へのボランティアは、歴史の時を超えて今を生きる私達が取り組みたい問題です。

現在のフィリピンの対日感情は全く問題なく、東南アジアでは、台湾やタイと並び親密な関係にあります。バギオで日本人は、好まれる外国

人です。

今、バギオで暮らす日本人はまだ数十人を数える程度ですが、7千人を超える日系人がその代りに日本とフィリピンの掛け橋の役目を果たしてくれています。その日系人達の心のよりどころが、アボン（日系人会館）です。

アボンとは、山岳民族の言葉で、寄り集う家を意味します。戦後四半世紀を過ぎ、ようやく激しかった反日感情も好転の兆しが見えた1970年にバギオに来た、一人の修道女「シスター海野」の記念館でもあります。

シスター海野が立ち上げた日系人の組織「北ルソン比日友好協会」と学生への奨学金を目的とした「北ルソン比日基金」のオフィスも兼ねています。

シスター海野は大きな功績を残し、1989年にバギオでその生涯を閉じましたが、シスター海野の後を次いで何れの組織も現在は日系人を主体に運営されています。

バギオ在住の日本人達はそのボランティアの拠点としているのも、アボンです。アボンで日系人達を対象に「日本語講習」や「日本文化の紹介」が機会ある毎に行われています。

このアボンで、会の会員の方々も2月の「二世のホームカミングデー」に2年続けて参加され、日本舞踊の披露や日本の伝統の紹介等を通じ、日系人の方々から「また来年も」と待ち望まれる様にすらなっています。



昨年の9月に東京のホテルニューオータニで行われた「バギオ基金創設25周年記念式典」に招待された4人の奨学生達のスピーチの指導にも協力しましたが、ロータリアン達の大きな感動を呼んだと聞き、お手伝いした事への満足感に浸る事も出来ました。

バギオで暮らし、アボンでボランティアを通じて日系人達と親しくなる事で、充足した日々を過ごす事が出来ます。

アボンでのボランティアの特徴は、その企画から自分達で考え、実施する事です。アボン自体は奨学金支給を目的とした組織で、その他のボランティアを企画・実施する組織ではないので、日系人を対象にしたボランティアも、そのスタートから考え、アボンに持ち込み、実施します。

アボンは、会場を提供し、会員を集める役目です。7千人を超える日系人の中で、アボンが「比日友好協会」の名で組織化しているのは、2千人程ですが、それでも大きな団体で、いろいろと企画する事が出来ます。

新しく発足した北ルソン日本人会の活動予定を見ても、ボランティアに大きな力を入れているのがわかります。

バギオのランドマーク、SMシティの広場での日本文化の紹介、2月のフラワーフェスティバルへの参加、バギオ周辺にある慰霊碑の維持管理支援、新しく問題が具体化している「新日系人(日本の父親から遺棄された混血の子供達)」



への日本語などの教育支援、等々が活動の中心になっています。

慰霊碑の維持管理にしても、新日系人問題にしても、当然の事ながらアボンの協力がなくては先に進めません。

バギオに滞在中、アボンでのボランティアや、北ルソン日本人会への参加による活動は、きっと滞在中の生活を意義深いものにしてくれる筈です。

ボランティアを通じての、新しい出会いと、深い感動は、一仕事成し終えて充足の時を過そうと来られた方々にも、また新しい意欲や、目的を与えてくれる事でしょう。

最近出来たバギオのランドマーク「SMシティ・ショッピングモール」は、バギオの魅力をも更に倍加してくれています。心地よい気候とは言え、雨季の単調な生活からも解放してくれました。

このSMが出来て、雨季のバギオへの旅行者が大幅に増えたとも言われています。バギオの中心地バーナムパークを一望に見渡せる高台に聳え立つまるで不夜城の様なその威容はバギオの町の近代化に素晴らしい貢献をしてくれています。

SM内には、「来来軒」「テリヤキ・ボーイ」「キタロウ」「東京・東京」と4軒の日本食レストランが軒を揃え、会の会員のバギオでの集合場所になっている「フードコート」にも、弁当を主体とした「かみむら」が outlet しています。

併設されているスーパーには、日本食材もあり、生活に不便を感じなくなりました。雨の日



等1日SMでパラパラ(ウインドウ・ショッピング)をしていても飽きないと滞在するご婦人方からも好評です。

バギオで暮らしながら学ぶ、それもいいでしょう。今、バギオには1万2千人を超える韓国人が滞在していますが、その目的は英語研修です。多くの研修校があり、韓国人に混じって日本人の語学研修生の姿も見られるようになりました。

研修校での研修だけでなく、チューター(家庭教師)からの研修も盛んです。学園都市バギオならではの、数多くの教師や学生が教えています。研修校や家庭教師の授業料について詳しくは知りませんが、韓国人が多数滞在している最大の理由は、環境のよさと共に、授業料の安さにあるとも言われています。

バギオ在留の日本人の中には、日本人対象の英語研修校をバギオで立ち上げたいと準備をしている人もいて、今後が楽しみです。

バギオには観光スポットは余りありませんが、バギオで暮らしながら、足を伸ばそうと思えば北部ルソンには多くの観光地やリゾートもあります。

北部ルソン山岳地帯の「バナウエの棚田」、スペインの統治時代の面影を色濃く残す都市「ピガン」、北イロコス地方の「教会群」は、いずれも世界遺産にも登録されています。

南シナ海の沿岸沿いに点在するビーチ・リゾート「ポリナオ」、「ラプラドール」、「サンファビアン」、「パウアン」、「サンフェルナンド」等のリゾートは、有名ではありませんが、静かな佇まいの落ち着いたリゾートで、年配者向けとも言えます。

また、マルコスハイウエーでバギオを下って南シナ海にぶつかったところにある、戦国時代に既に日本からの移民で日本人町が形成されていた、趣のある教会のある「アゴー」や、パンガシナン州で一番有名な教会「マナワグ」等も教会に興味のある方には欠かせない場所です。

パンガシナン州には、フィリピンの国立公園



で、フィリピンの松島とも呼ばれる「ハンドレット・アイランド」もあり、周辺のリゾートとの組み合わせた小旅行にはもってこいです。

長期滞在をされる方々には、更に北の台湾海峡沿いの素晴らしい海岸線とダイブスポットも興味の対象になるでしょう。都会とは遠く離れた静かな町や村に住む、素朴で恥ずかしがり屋の人達との出会いも待っています。

バギオで暮らす、それはただ気候の素晴らしさだけでなく、人と人との付き合いの素晴らしさを、もう一度思い出す、そんな日々になる筈です。

友好団体紹介コーナー

財団法人ロングステイ財団

ホームページ <http://www.longstay.or.jp/>

E-mail: info@longstay.or.jp

チェンマイロングステイライフの会 (CLLクラブ)

ホームページ <http://c11.thai.jp.net/>

ワールドステイクラブ(WSC)

ホームページ:

<http://homepage3.nifty.com/worldstayclub/>

E-mail: worldstay@nifty.com

THE JAPAN CLUB OF KUALA LUMPUR KL (クアラルンプール)日本人会

ホームページ <http://www.jckl.org.my/>

バンコク日本人会 バギオ日本人会 西豪州日本クラブ

お役立ち情報

外国語学習編

甲信越支部長 No.465 橋本 慧

LSにおいては、現地の言葉がしゃべれるに越したことはありません。たどたどしくても、その国の言葉で簡単な会話ができるだけで、現地人との交流の機会はぐーんと増えるでしょうし、LSが一層意義深いものになります。ただ、一般的には高齢になってからの外国語学習は、記憶力と集中力の著しい減退で、砂漠に水を撒くがごとしのむなしい学習効果のために、途中で挫折することがほとんどであるというのがさびしい現実です。会員の多くは「英語なら何とか」とお考えの方も多いと思いますが、現役時代に英語でビジネスをされた方はともかく、われわれの世代は、ペーパーテストなら何とか対応できても「会話力」となると、その実力は??????

そこで今回は英語が準公用語である、マレーシアとフィリピンの英会話学習中心の語学情報の一部を紹介します。

セブの語学学校

1. CELI シテイキャンパス

場所：セブシティアップタウン中心部 米国資本
学生収容数：200名 日本人比率20～30%
学習プログラム：7コース、28h/week
1人部屋約17万円 2人部屋約12万円
部屋代・3食・清掃・洗濯・電気水道込み

CELIは世界各地で語学学校を運営するグローバルスクール。世界各国で展開されている体系的なカリキュラムや、新しく清潔な教室、ジム等の設備など、フィリピンで最高レベルの語学学校。

2. CELI マクタンキャンパス

シテイキャンパスの姉妹キャンパス。学生収容数は150名。他は上記とほぼ同じ内容。

3. UBEC Classic 2

場所：セブシティ アップタウン 韓国資本

学生収容数：90名 日本人比率5%未満
学習プログラム：7コース 31h/week
1人部屋のみ 約12万円

部屋代・3食・清掃・洗濯・電気水道込み
マンツーマン授業の比率が多いのが特徴。特別クラスにはワーキングホリデイ準備クラスなどユニークなコースがある。

4. CIA シーアイエー

場所：セブ ダウンタウン中心部 韓国資本
学生収容数：150名 日本人比率5%未満
学習プログラム：5コース 40h/week
1人部屋約12.6万円 2人部屋約11.4万円
部屋代・3食・清掃・洗濯・電気水道込み
セブ島でもっとも歴史のある英語学校。建物は古いですが、サウナルームや看護師のいる診療室もあり、医師による健康相談有り。

5. ALTA アルタ

場所：コルドバ自治区 フィリピン+米国資本
学生収容数：70名 日本人比率40～60%
学習プログラム：6コース 30h/week
1人部屋約17万円 2人部屋約11.5万円
部屋代、3食・清掃・洗濯・電気水道込み
アメリカ人の校長とフィリピン人の奥さんとで経営している。こじんまりしたリゾート風の語学学校。

バギオの語学学校

BECI

場所：市郊外グリーンバレー、韓国資本
学生収容数：200名 日本人比率5%
学習プログラム：7コース 30h/week
1人部屋約10.5万円 2人部屋約10万円
部屋代・3食・清掃・洗濯・電気水道込み
個人授業 3時間 グループ授業 3時間
放課後グラマークラス 1時間
メールアドレス info@beci-jp.com
TEL 090-4177-9494 (日本事務所)

ペナンの英語学校

ペナン支部長 No.1012 木村 まゆみ

ペナン島の英語学校の御案内です。入学受付は常時ではない学校もありますのでご注意ください。以下の内容はもう一度確認が必要です。

1) British Council (英国文化教会)

全ての先生はイギリスからの先生です。

<http://www.britishcouncil.org.my/>

毎年入学月日が決まっています。

A 外国人専用コース(非英語圏からの方)

月～金 毎日3時間 午後のみ

期間：10週間 Total 75時間

費用：RM20 (最初の英語テスト費)

RM1500 合計 1520RM

最初のテストの結果で 各人のクラスレベルを決めるとの事

B 普通コース

平日：2回週 1回1.5時間 タ6時～7時半

土曜日のみ：3時間/回 午前10時～13時

期間：10週間

費用：RM20 テスト費 RM470(平日クラス)、RM490(土曜日クラス)

両方とも開校は1月、4月、7月、10月です。

2) Dynamic Language Centre

コース内容：週2回、1回2時間、12週間

値段：RM300、登録料RM25、資料代RM50

講師：ネイティブまたはマレーシア人

開講予定：毎月

<http://www.dlcinfo.com/>

3) ELS Language Centre

*集中コース：月～金(毎日)9:00 - 15:20

1ヶ月で1レベル

費用：RM935、登録料RM50

資料代RM100

講師：ネイティブまたはマレーシア人

開講予定：毎月

*夜間コース：火曜、金曜日 19:30-21:30、

8レッスン

費用：RM450 登録料RM50

資料代RM50

講師：ネイティブ またはマレーシア人

開講予定：毎月

<http://www.els.edu.my/>

4) YMCA

*ベーシック コース：

週1回、1回1.5時間、12レッスン

料金：RM134(全て込み)但し女性のみ

*中級コース：

週1回、1回1.5時間、12レッスン

料金：RM237(全て込み)、男女可

開講予定：両コースとも3ヶ月おき

私達夫婦はゴールドコーストの英語学校とペナン島のBritish Councilの両方の学校に通っていましたが比較しますと、授業の内容も先生が白人であることもあまり替わりはありませんでしたが、違ったのは授業料の違いです。ペナンのそれはゴールドコーストの約半分でした。

尚、上記の資料は過去に調査したものですので、現在とはコース内容・諸費用等、今は違っているかもしれませんし、もう一度確認して下さい。あくまでも、ご参考にしていただければ幸いです。

ペナンの英語学校体験談

ペナン支部長 No.1012 木村 まゆみ

マレーシアの公用語はマレー語です。一般では英語が日常使われています。

私達はペナン島に移住する前に山梨でアメリカ人の英語の先生に週1回の割で1年くらい勉強してきましたが、日本では日常使いしませんから、ほとんど身につけませんでした。

ペナン島に来て、1日おきに家庭教師(オーストラリア国籍の女性)に家に来てもらって一時間半夫婦で英語を教えてもらっていました。1回が2人で2,100円でした。

主人は教えられた単語は中学生の時のように単語帳をつくって、車に乗っている時に助手席で勉強したり、暇を見つけては、暗記しようとしています。が、歳で硬くなった頭はなかなかそれを受け入れてはくれないようです。

それで主人はホテルへ飛び込んで、フロント

のひとと英語で会話をしたり、スーパーマーケットや市場で買い物の時、英語で挑戦したりして練習をします。まあ、努力していますよ…。

それでも、対面での英会話は兎も角、電話での会話や難しい会話は予めパソコンで翻訳コピーして、それを読んだり、見せたりしておぎなっているようです。

主人は今でも、毎朝5時に起きて、自分で日本語の文章を作って、それを英語に直したり、その逆の事をしたり、毎日、英語の勉強をしています。主人が、こんなに「努力型人間」だったとはビックリしています。

私の頭の中には元々「努力」とか「忍耐」という二文字が入っていませんので、主人のような「努力」は一切していません。従って、私の英語は全然、上達していません…。(笑)

やはり、身をもって、真面目に英語をもっと勉強しておけばよかったと思っています。

しかし、残念ながらその家庭教師の先生はご主人の仕事の関係でマレーシアを暫く離れることになってしまいました。

それで、毎週土曜日3時間英語学校「British Council」に夫婦で通ったのです。

「British Council」ですが、我が家を通っていた時は、最初にペーパー試験と面接をします。先生はもちろんオーストラリア人で100%英語でした。

それでクラス分けをされるのですが、もちろん我が家は二人とも初・初・初歩でした。クラスは12人くらい居たのかな???

我々のような日本人のおじさん・おばさんが我が家ともう一組。それから日本人の若者の男性は1回きりで来なくなっちゃった…。後はチャニーズのお姉ちゃん・インドネシアから来た中学生の女の子・マレー人の男性・女性が数名居ました。

私は当初、英語が話せないのは我々日本人だけかな? と思いましたが、とんでもない。クラスで一緒になった男の子も女の子も、ほとんど英語を話せませんでしたよ。

授業の様子はクラスの中で先生が適当に指名

してペアを作って、英会話をAさん・Bさんで話をさせたり、黒板に一人ずつ答を書かされたり、宿題もたっぶり出て、結構、和気あいあいとして楽しかったです。

ただ、我が家にとっての一番の問題点は先生が日本語が全く解からないので、我々も質問をしても理解してもらえず、先生が言っている事も80%理解できませんでした。

それと、教室が寒い・寒い…。冷房がガンガン効いていますので、長袖・長ズボンが必要でしたよ。それで、一回のコースで終わってしまいました。トホホホ…。

中でも印象に残っているのはインドネシアの中学生の女の子が、宿題を忘れてきてしまった時に、主人にノートを借りて一生懸命、答を写していました。

学校が終わってしばらくして、私達は「ワンストップ」というショッピングモールで買い物をしていたら、背後から誰かに背中を叩かれたと思ったら、そのインドネシアの中学生がご両親とお買い物に来ていました。

「British Council」に通っていたときは、彼女はいつも制服でしたが、ショッピングモールで会ったときは私服だったので、我々は全く気づかなかったのです。

我が家は平日はゴルフに明け暮れていたのですが、土曜のみ3時間のコースでしたけど、コースの種類は沢山ありました。平日月～金で3時間くらいのコースもあったかな??? 但し、1回のコースが10週間でした。授業と別に宿題もたっぶり出ますので、勉強が好きな方には最適ですよ。

それと、途中の入学もできないので興味がある方は一度確かめに行かれたら良いと思います。

この教室はペナンで権威のあるもので、マレーシア人にとっては就職に有利との事です。

せっかく英語が話せる国に住まわせて頂いているのですから、日本語だけでなく、たまには隣の奥さんとも、おしゃべりができたら嬉しいなあとと思います。

では、皆様。ペナンでお会いしましょう…。

支 部 便 り

九 州 支 部

九州支部長 No.851 稲田 聡

支部年度事業計画のコタキナバル（KK）下見ツアーの計画です。

1. 期間

9/27(木) - 10/5(金)

2. 便

大韓航空 9/27 福岡 10:30 仁川 11:50/18:20

コタキナバル（KK）22:30

10/5 KK00:10 仁川 06:10/08:10 福岡 09:30

3. 参加数

14名（2名は成田発着現地合流）

4. 日程等

9/28 全員でロングステイ用のコンドミウム3箇所などを回り、後は市場・ショッピングセンターなどを見て歩きます。

1名：期間を通じKK滞在

2名：9/29～30

東南アジア最高峰(4,095m) Mt.kinabalu 登山

他は9/29～10/1 ラナウ（KKから車で2時間強の山荘スラゴン・ホームステイ）滞在

全員：10/2～4 KK滞在

5. 御礼

当初から市東関東支部長にDVDを送っていたり現地旅行社やEPIトラベル（株）の987外山實さんをご紹介いただき実現に至りました。市東さんありがとうございました。1134亀山京子さんの春季号大変参考になっています。お礼を申し上げます。

KKツアーのため検索した、KHC（キナバル・ハイランド・クラブ）に入会し、会長、現地会員のお世話をいただきます。偶然にも市東

さんは、KHCの役員でした。

619鈴木幸男さんのメール、又スカイプで情報をいただきました。

帰国報告は、新年号ですね。

11月4日（日）定例の情報交換会を開催します。

関 西 支 部

関西支部長 No754 松本 都志重

2007年度総会&定例会を開催しました。

7月7日 新大阪駅近くの「ココブラザ」で今年度の総会&定例会を開催しました。

参加者は、会員23名、招待者6名でした。また本部から宮崎理事長に特別参加していただきました。

総会の主な決定事項ですが、決算、予算、活動報告の承認のあと新役員5名の就任が承認されました。

新しい関西支部の役員と担当業務を紹介します。

支部長 松本 都志重

副支部長 谷澤 誠一（催事）

副支部長 有元 義昌（催事）

大西 清（総務）

山本 嘉雄（会計）

（新）山下 克正（広報・通信）

（新）河南 裕子（広報・通信）

（新）奥田 保子（企画）

（新）木村 誠治（企画）

（新）小林 高明（四国地区担当）

*池田 正明～東京へ出向中のため役員活動を休止

以上11名の充実した陣容で関西支部の運営にあたり会の発展に尽くしていきたいと思えます。楽しい会とするために、会員の皆様のご協力をよろしく願います。

活動方針

今年の活動方針が承認されました。主な活動として、

四国担当の役員を新たに置き、四国在住会員との情報・連絡のスピードアップと一層の共有化を図る。同時に関西支部のエリアを5～6ブロックに分けてそれぞれ窓口担当者を置き、情報や連絡事項の一元化を図り、広域支部としての活動体制を確立する。

例会を従来の年3回から年6回（奇数月）に拡大し、テーマ、企画の充実を図って会員の参加意欲を高め、相互の親近感の醸成を図っていく。

新会員の勧誘キャンペーンとして、会員各自に南国名刺の作成をお願いし機会あるごとに配りまくってもらい、又、南国ホームページの更新を速やかに、頻繁に行って関西支部発のニュースを多く発出する。

広域支部の特長を生かして、毎年1回地方での巡回例会を開催する。来年5月ごろに中国地方か北陸地方、または京都での開催をめざす。

ことなどが承認されました。

例会&懇親会

総会に引き続き例会を開催しました。「私のお勧めロングステイ先」～宮寄理事長、「女人ロングステイ先石垣島編」～芝辻さん、「中国清蔵鉄道の旅」～谷澤さん、「タイ国の旅事情 ドライブ事情」～伊澤さん、からそれぞれのテーマの発表がありました。このあと参加者全員の自己紹介で予定時間があっという間に終了しました。

午後6時から会場を新大阪駅構内の居酒屋「トン兵衛」に移して懇親会を開催し、友好と懇親をさらに深めました。

会員外のお客様6名を含めて例会初参加の人が多数いましたが、皆様すぐに打ち解けて親しくなり、お客様の内4名から即座に入会の申し込みをいただきました。

例会に参加することで、ロングステイ先の貴重な体験情報を入手することはもとより、楽し

い仲間づくりも大いに進みます。例会未参加の皆さん、ぜひ一度関西支部の例会に参加してみてください。



（講演中の伊澤さん：前チェンマイ支部長）

11月例会の案内

11月10日（土） 午後1時～5時
大阪梅田駅前第二ビル 5F
「大阪市立総合生涯学習センター」
で開催予定です。

関西支部の活動

・ゴルフコンペを開催しました。

8月9日 三田カントリー 27で、関西支部主催のコンペを行いました。猛暑と急な案内で参加者は少なかったですが、会員多数から問い合わせの連絡があり、反響は大きかったようです。今後定期的開催案内を送りますので、ぜひご参加ください。

・六甲山ハイキングを実施しました。

6月10日 会員番号739の若原さんの呼びかけで、六甲山ハイキングを実施しました。参加者は若原さん夫妻と松本支部長夫妻の4人でしたが、うす曇りの天候の下、諏訪山公園～布引ハーブ園～布引の滝などを回って気持ちのよい汗を流したそうです。

訃報

会員番号 672 丸山 百合子さんのご主人健一さんが9月5日ご逝去されました。享年58歳。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

部 会 伝 言 板

総 務 部 会

担当理事 No.259 菊地 功

* 会報夏季号発行以降の総務部門の主な活動

07/09 裁判関連打合せ

07/13 裁判関連打合せ

07/19 裁判関連打合せ

08/02 裁判関連打合せ

08/11 裁判関連打合せ

08/23 裁判関連打合せ

09/11 裁判関連打合せ

09/21 裁判関連打合せ

09/26 裁判関連打合せ

09/29 南国暮らしの会第2回理事会

10/04 裁判関連打合せ

* 裁判及び調停の実施状況

07/26 東京地方裁判所にて第7回裁判

09/13 東京地方裁判所にて第8回裁判

10/18 東京地方裁判所にて第9回裁判の予定

経 理 部 会

担当理事 No.60 渡辺 義郎

4月から9月までの会計の状況です。

収入：3,838,985円（予算に対し73.5%）

支出：2,261,098円（予算に対し43.7%）

年度の半分がすぎましたが、新規会員の増加が見込みより少なく、このため今後の収入が予算に対し不足する恐れがあります。これに対し経費見直しにより支出を抑える事を検討しています。

会 報 部 会

担当理事 No.281 村松 幸子

1. 秋季号発行にあたりお世話になった東海支部の方々、南国メールで投稿して下さいました方に心からお礼申し上げます。

今号は南国メールでの投稿募集に原稿が沢山集まり部員一同喜びの声を上げました。

なぜか？と言うといつもは原稿が集まらず不

足を補う為、個人的に友人・知人に原稿をお願いしていたからです。これからも一人でも多くの方々の声を会員の皆様にお届けしたいと思っています。今後とも、皆様のご協力宜しくお願い致します。

2. 次回新年号の発行は08年1月を予定しております。原稿締め切りは12月20日です。新年号の担当は No.281 村松 幸子です。皆様からの沢山の投稿を期待しております。新年号原稿のメール宛先は下記村松宛にお願い致します。

skajimura@mtf.biglobe.ne.jp

3. 会報委員募集!!

会報づくりを一緒にしませんか！

現在の会報作りは、原稿の募集と集まった原稿を編集する作業に担当を分けて行っています。原稿募集作業は各号ごとに一人がメインで担当し、会報委員は年一回担当が回ってきます。会報委員の希望者は新年号原稿のメール宛先と同じ村松宛にお願い致します。

（おまけ）ワイワイ 会報部会 有り。今年は5月と10月の2回、1泊2日で山梨にてゴルフ、きのこ狩り&ほうとう鍋の会をしました。会報部会で楽しい事沢山したいと思っています。



会報部会番外編（10月、山梨）

編集後記

4. 会報電子版(pdfファイル)をグループメールである南国ML(メーリングリスト)のホームページからダウンロードできます。

従来、会報と内容が同一の電子版(pdfファイル)を試験的に希望者にメール添付でお送りしていました。希望者が前回の夏季号で60名近くになり、電子版が軌道に乗ったと思われるので、今後はML委員会のご協力を得て南国MLのホームページ内のブリーフケースに毎号アップロードいたします。

これにより会員の皆様は希望者のみでなく自由に電子版をダウンロードして、ご自分のパソコンで閲覧することが出来ます。

南国MLのホームページは、対外的に公開されている南国ホームページとは違い、会員だけが参加できます。ヤフーが提供するシステムを利用しており、URLは下記の通りです。

<http://groups.yahoo.co.jp/group/nangoku/>
Pdfファイル入手するには(1)南国MLのホームページに入るためにヤフーIDを取得する、(2)ブリーフケースからpdfファイルをダウンロードする、(3)Adobe Readerでpdfファイルを読む、の順番が必要です。詳細はNo.60 渡辺義郎までメール(yosi.watanabe@nifty.com)でお問い合わせください。

電子版は写真がカラーできれいです。インターネットさえ繋がれば海外でも閲覧できますので、特に海外在住の会員の皆様にお勧めです。

前回夏季号会報発送作業協力者(敬称略)

163 宮崎 哲郎、240 菊地 範夫、281 梶村 真一、462 小林 孝、660 平方 穰、712 高田 勝弘、999 中山 恒夫・和代 1125 佐々木 一信
会報部会員4名

海外会員宛持参協力者(敬称略)

1136 大野 999 中山 646 渡辺

(No.900 島林 健二)

写真ご提供有り難うございます

表紙: 本号のテーマは「秋の風景」です。

左上から時計回りに

No. 732 馬場章介さん「六義園」

No. 345 藤巻雄二さん「渋峠の秋」

No.1023 山下克正さん「京都 清水寺」

No.60 渡辺義郎さん「カナダ・ロッキーの秋」

本年5月に会報部会に所属し初めての秋季号の発行担当を打診され、未だ先の事、と請け合ったものの内心自分に勤まるか、原稿は集まるか、など不安でいっぱいでした。

例年秋季号は特集記事(今回は東海支部)と一般投稿の2本柱が主体となる構成だったのでとにかく会員の皆様の投稿をお願いするよりほか無かったわけです。

そうした状況で8月中旬にMLを通じて秋季号の発行案内と投稿のお願いをしました。

東海支部特集については5月の段階で秋季号の担当支部と決まっていたので高橋支部長に早くからお願いしていたこともあり、支部内でもサロン会等を通じて計画的にご準備いただき、また原稿の提出も早めにしていただき、なんと総数15名の方の投稿をいただきました。

また一般投稿の方も、MLでの原稿のお願いに対し予想以上の投稿を頂き、会員の会報への投稿の気運が高まってきた証拠と考えています。また従来とのLS関連に加え、最近会員間でも関心の高い各国での「ロングステイビザの取得」をテーマに取り上げ体験例、実態等の原稿を募集したところ、マレーシアとフィリピンについて貴重な投稿をいただきました。このテーマは不定期になりますが、体験者の取得例や実情を今後も掲載していきたいと思っています。

そんなわけで当初の不安をよそに会員の方から貴重なLS体験や紀行文、それに語学体験談、現地事情、写真などご投稿、ご提供頂き、担当者としては忙しいながらも、原稿を提供いただいた皆様方の、会員の参考になることなら、というお気持ちを感じ、秋季号という一冊の会報を作る喜びを感じました。ご協力いただいた皆様に心より感謝いたします。

中央は No.1023 山下克正さん「京都神護寺」

裏表紙:

1. 東海支部(1月、新年会)

2. バリ・ウブド(7月 バリの正装にて。

左から石川夫妻、田中夫妻、土井夫妻、国武夫妻。詳細は本文参照)

3. セブタ食会(9月、宮崎理事長を囲んで)

裁判関連のご報告

理事長 No.163 宮寄 哲郎

裁判に関しましては、訴訟中のため、訴訟を起こした側（原告）への情報洩れが無いように、情報管理をしております。そのため皆様には余り詳しい事もご報告が出来ず大変申し訳なく思っております。しかしすでに裁判が始まって1年が過ぎようとしておりますので、ある程度の公開をと検討した結果、当会担当弁護士の先生より下記の通りご報告することに致しました。ご一読の上ご理解賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

弁護士 鎌田 正 聡

私は、現在当南国暮らしの会が、被告として訴えられている事件を担当している弁護士です。訴訟の内容と進行状況の概要をご報告致します。

記

1 訴訟の内容

訴えてきているのは、当会より除名された2名の方で、除名無効と除名されたことが名誉棄損にあたるとして、それぞれに金500万円を支払えと、当会及び前理事長を訴えているものです。

2 事件の本質と進行状況

本件事件は、除名された者が主にT氏の平成15年頃の外国での行為が批判されるべきことがあったとし、その者の行為を当会が調査すべきだ・処分すべきだといったことを2～3年間にわたり、度々訴えてきたものです。それについて当会としては根拠が明白でなく、根拠がはっきりしない（T氏は否定）ことを調査又は、捜査する権限もなく、又、義務もない。また、個人的行為につき、まさにプライバシーに関する調査することは、正に人権侵害にもあたりかねず、できないとしてきた。それに対して、除名された方々が、それを調査・処分しないのは、理事長・理事・理事会の怠慢であり、自分らの意見を入れない理事長・理事会は横暴であり民主的でないと、平成18年の総会前に同年の総会添付資料のような書面を理事長・理事者らのほとんどに送付するなどして、当会を混乱させたものです。これに対して当会及び理事者らとしては、このようなことが長期間続くことは、会を混乱させてきていることであり、許されるべきものでないとして、やむなく平成18年の総会において除名したものです。

その除名は、当会としてはまさにやむを得ないもの、当然のことのように小生にも思われます。この件について、裁判所での期日はすでに9回目(10/18)が開かれ、双方の主張・書面が提出されておりますが、先方の主張には無理があると私には思われます。

3 この先証人尋問等がなされて、判決がなされることとなると思われ、当会が勝訴するものと思っております。原告は除名が不当との主張のようですが、民間の同好会的組織である南国暮らしの会が、皆で仲良く協力し合って南国での交友を深めようとする会であり、まさに任意団体であると思われ、個人攻撃や非難をすることは会の趣旨に反すると思われ、それらを行ってきた者は除名されることもやむなしと思われ、その意味で、原告の今回の訴訟は不当なものと思われ、

以上の通り訴訟の概要を報告いたします。今後とも、会が訴えられていることでもあり、皆様の御協力・御支援を下さいますようお願いいたします。

「南国暮らしの会」からのお勧め

*** 自己責任 * 納得の上 * 自己決定**

南国で不動産等の買い物をするときは、すぐ買わず、情報を幅広く集めて、自分の目で確かめて、しばらく試してみて納得してから、自分の責任において自己決定する。

南国暮らしの会ホームページに最新の情報が 있습니다。ご覧になって下さい。

<http://www.minaminokai.com/>

会員相互の情報交換には、南国ML（メーリングリスト）が便利です。

会員の方で新しく参加希望の方は下記へ参加申込を。

メールアドレス：home @ minaminokai.com

（メールには会員番号、氏名、ご自分のメールアドレスおよびウイルス防止のためご利用のウイルス防止ソフト名あるいはプロバイダのウイルスチェック契約の有無を明記して下さい）

【編集委員】 - 順不同 -

No.281	村松 幸子	skajimura@mtf.biglobe.ne.jp
No.465	橋本 慧	hashi176@ybb.ne.jp
No. 60	渡辺 義郎	yosi.watanabe@nifty.com
No.732	馬場 章介	shosuke7@nifty.com
No.900	島林 健二	kkshima_san@ybb.ne.jp

記事の無断転載・複製を禁じます。

発行者 特定非営利活動法人（NPO法人）

「南国暮らしの会」

©minaminokai

理事長 宮崎 哲郎

〒140-0002 東京都品川区東品川3-22-20-1208

TEL 03-3472-9916 FAX 03-3472-9954

<http://www.minaminokai.com/>



投稿写真コーナー



東海支部 (2007年1月 新年会)



バリ・ウブド (2007年7月 バリの正装にて)



セブタ食会 (2007年9月 宮崎理事長を囲んで)